

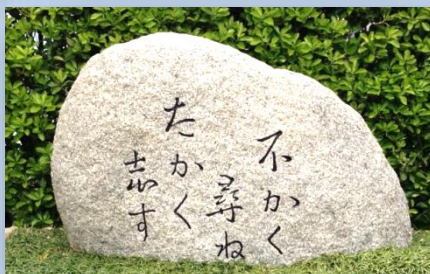


平成27～29年度「学びの革新」パイロット校事業指定校(広南中学校)  
平成28・29年度呉市小中一貫教育研究指定校



# 平成30年度 広南中教育資料集

## 不かく尋ね たかく志す



施設一体型小中一貫教育校 広南学園

### 呉市立広南中学校

〒737-0136 呉市広長浜4丁目1番9号

TEL: (0823) 71-7920 FAX: (0823) 74-3502

E-mail: hirmc@kure-city.jp

URL: <http://www.kure-city.jp/~hirmc/>



# 未来を創る君たちへ

呉市立広南学園

未来に、どんな困難に出会っても  
志を抱いて生きる人になりましょう。

志を抱くとは、決して人や世の中のせいにして逃げたりせず、自分の  
できることを考え、目標を定め、粘り強く、解決へ向けて努力し続けること  
のできる『こころの力』をもつことです。

夢や疑問やできないことに出合った時に、それを大切に  
粘り強く学び続けることのできる熱い**挑戦・探究**の心、

そして、自分の**責任・使命**を考え、それを果たそうとする強い心  
まわりの人に**感謝・貢献**しようとするあたたかい心

お互いを大切にするために**協力・協働**しようとするやさしい心

その4つの『こころの力』を育てることで、志はおおきな志となり、  
あなたの人生の道しるべとなります。

そして、その志を叶えることのできる力を手に入れましょう。この力  
は、決して他人が与えることはできません。この力は、あなた自身が、問  
題解決に必要な**準備**を考え、**整え**、**挑戦**する経験を繰り返す中でしか鍛え  
られない力です。先人から学んだ**知識・技能**を温め活用する力、調べた  
り、尋ねたり、試したりしながら必要なものを見つけ出す**情報収集・判断**  
の力、問題を解決するアイデアを見出し、人に伝える**思考・表現**の力、そ  
して互いの力を引き出し、あわせていく**協力・協働**の力、それらの力が鍛  
えられて志を『叶える力』となります

## 未来を創る7つの資質・能力

資質・能力	めざす学びの姿
<b>知識・技能</b>	学んだ知識や技能を活用することができる。
<b>情報収集・判断</b>	尋ねたり、調べたり、試したりして、必要なものを見付け、選び出すことができる。
<b>思考・表現</b>	しっかり考えて、学びを自分のものにして表現できる。
<b>挑戦・探究</b>	夢や疑問、できないことを大切に、見通しをもって粘り強く学び続けることができる。
<b>責任・使命</b>	自分の役割や使命を考え、すべきことを行うことができる。
<b>協力・協働</b>	他の人と協力し、いろいろな意見やそれぞれの力を生かすことができる。
<b>感謝・貢献</b>	感謝の心を持ち、自分なりに貢献することができる。

総合的な学習の時間(中)ポートフォリオ裏表紙より



# 目 次

## はじめに

### I 研究推進計画

- 平成30年度の研究推進へ向けて
- 研究主題および研究仮説
- 「資質・能力」を育てるための  
授業改善の視点・カリキュラムマネジメント・ルーブリックの活用について

### II 「学びがい」向上部会

- 教科・総合的な学習の時間における「課題発見・解決学習」の単元づくり
- 貫きカリキュラム
- Sルーブリックの活用
- 乗り入れ授業の価値・地域の人材活用・ICTの活用

### III 「指導力向上」部会

- 課題発見解決型指導力の向上を目指して
- 広南学園生活ルーブリックの活用について

### IV 付録 平成29年度開発単元等

- 開発した教科の単元
- 開発した総合的な学習の時間の単元
- 平成30年度「資質・能力」の育成に係る年間指導計画

研究同人

# 1 はじめに

## 未来を創る人 — 不かく尋ねたかく志す—

呉市立広南中学校長 若本 正

「未来を創る人」とはどんな資質・能力を持つ人か。「学びの変革」パイロット校の指定を受けた私たちは、常にそのことを問いかけながら研究を進めてきました。

その中で、私たちは、最終的に、「2つの力をもつ人」をイメージするようになりました。ひとつは、「志」という「こころの力」です。

課題を発見しても、アイデアを持っていても、それを口にするだけの人がいます。そして、人や世の中のせいにするだけで、何もしようとしません。その人に欠けているのは、「志」です。



郷土の偉人 宇都宮黙霖

広南には、郷土の誇る宇都宮黙霖という偉人がいます。不幸な生い立ちの中、教育の機会も奪われた黙霖は15歳になるまで文字を知りませんでした。そして22歳の時には病から耳と口が不自由になるという試練に出合います。けれども、彼は、「新しい時代への変革に貢献する」という大志を抱き、後世に、明治維新に貢献した人物のひとりとして名を残しました。本校の校訓「不かく尋ね、たかく志す」の由来はさだかではありませんが、「人生で、世の中の「不」に出合った時は、その「不」を覆すためにどうしたらよいか、自分の課題を見付け、それに立ち向かう高い志を持ちなさい」とは、まさに故里の先人である宇都宮黙霖の生き方に倣え、といっているように私には思えます。

では、その「志」はどのように育つのでしょうか。

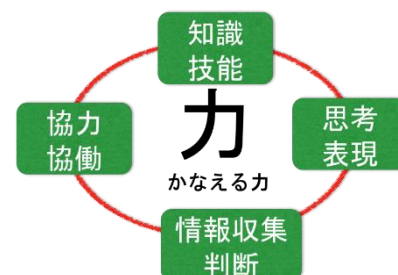
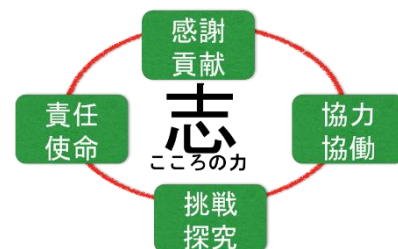
人はもともと「挑戦したい・探究したい」という資質・能力を持って生まれ、その資質・能力で「夢を抱く」ようになります。そして、人とかかわりの中で「人と協力・協働したい」という資質・能力が育つことで互いに「夢を語る」ようになり、やがて社会の中での自分を自覚することで、「責任・使命を果たしたい」、また「感謝・貢献したい」という資質・能力が育ってきます。

これらの4つの資質・能力は、人間に生きる価値を与えてくれるものです。そして、新学習指導要領に示された資質・能力の3つの柱のうち、「学びに向かう力・価値観」に対応するものです。

「自分の生きる価値」を学ぶことこそ、学びの中で1番大切な学びです。これらの価値を実感する経験を心の羅針盤にログしていく（記録する）経験を、発達段階に応じて積み重ねていく。そのことを通して、「人としてどう生きるか」という志（こころの力）は、育っていくのです。

もうひとつの力は「叶える力」です。「叶える力」とは、「不」を覆すアイデアを見出し、そのアイデアを実行して問題を解決する能力です。

問題解決能力を高めるには、まず INPUT 能力（情報収集と的確な判断を行う能力）、OUTPUT 能力（思考し表現する力）、STOCK 能力（有用な知識・技能を活用できる形で蓄積する力）、さ





らに WITH 能力（人と協力・協働する力）、この4つの資質・能力をそれぞれ高める教育活動の充実が重要と考えます。新学習指導要領で示された資質・能力の3つの柱のうち、「知識・技能」及び「思考力・判断力・表現力等」がこれらに対応するものです。

ところで、0から新しい価値を創り出す能力は特別の人間だけが持つ能力でしょうか？そうではないことを赤ん坊は教えてくれます。すべての赤ん坊が0からその世の中で生きるためのすべを「情報収集・判断」「思考・表現」という資質・能力を発揮して「知識・技能」という形で見事に獲得し、積み重ねていくではありませんか。しかも、その力はヘレン・ケラーなどの障害をもつ人々が教えてくれているように、たとえ視覚・聴覚という情報収集能力を奪われても、それを補うように高まるように見えます。人間はだれもが赤ん坊の時からその力のもととなる資質・能力を潜在的にすでに備えているのです。

では何が問題かと言えば、今の子供達が現代の教育制度の中で、効率的に「知識・技能」を与えられ続ける一方で、主体的にそれらの資質・能力を発揮しながら問題解決を行う機会が著しく奪われてきたことです。

「叶える」力は、他人が与えることはできないのです。生きていく中で、問題にぶち当たって、自ら課題を見つけ、探究的に問題解決へ向かう経験を積み重ねる中でのみ鍛えられ獲得していく力です。「知識・技能」も自ら引き出す経験を通してはじめて力となるのです。新学習指導要領で「何ができるようになるか」とともに「どのように学ぶか」が重要視されているのはそのためです。主体的・探究的な問題解決へ向かう経験となるような学び方の工夫が求められています。

本校では、これまで「挑戦問題」からはじまる課題発見・解決学習の単元開発を通して、学びがい（学びの価値）を高め、子供達の「主体的な学び」を引き出す取組をすすめてきました。

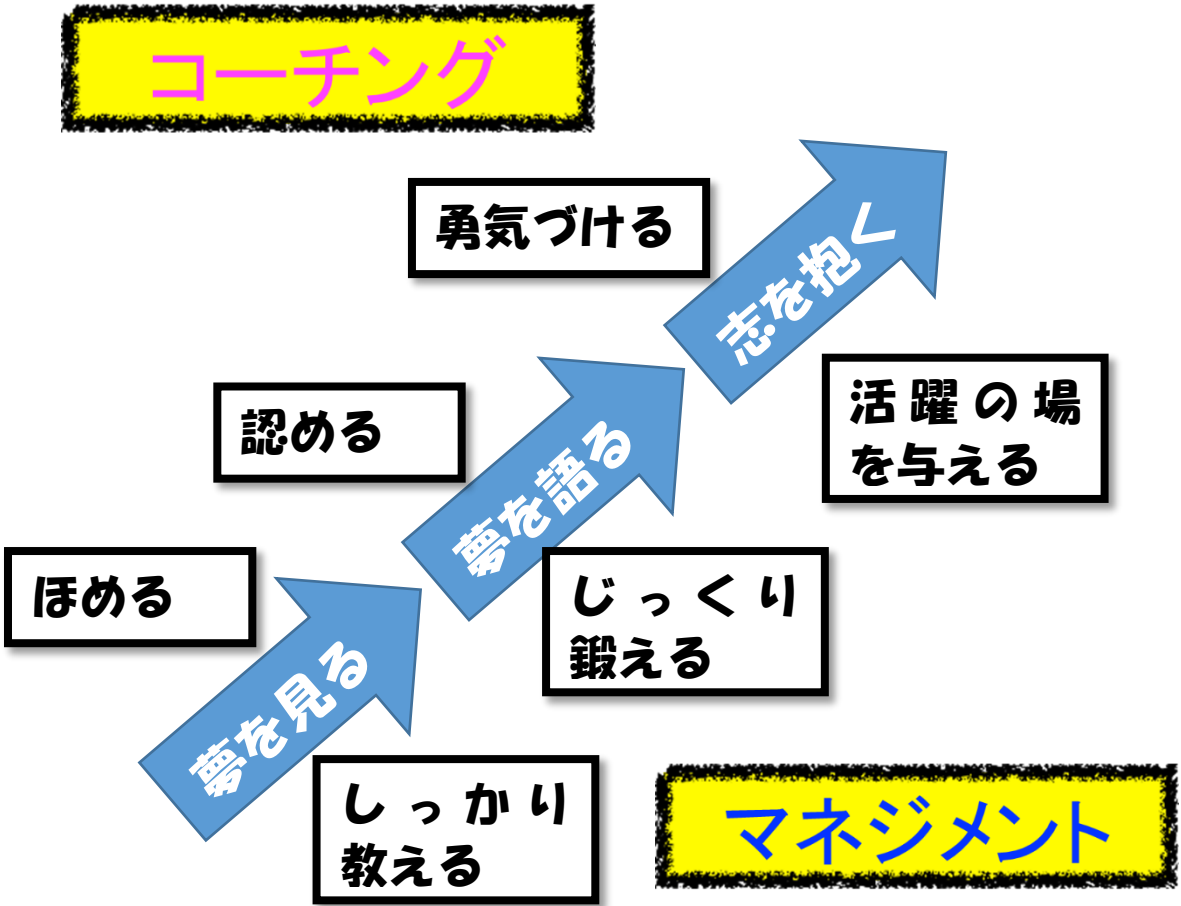
その中でわかってきたことは、このことは、教科においては、ひとつの単元の中で考えるより、単元を繋いだり教科横断的なマネジメントの中で探究的な学習の流れをつくったりすることの方が、より有効であるということです。

そこで、本校では、昨年度から、「志（目標（課題）を定める）」 「準備（課題解決に必要な力やもの、つながりを手に入れる）」 「挑戦（課題解決に挑む）」という3つのステップで挑戦を積み重ねる探究の過程を構想し指導計画を立てるカリキュラムデザインの手法を試すことにしました。野球選手のイチローをはじめ、実社会で成功を収めている様々な一流の探究人達がこのステップを大切に挑み続けていることに気づいたからです。

この考え方の利点は、教師も子供も教科や単元にしばられず、自然な発想で探究的な問題解決の手順や必要な学びの場面設定が考えられるようになることです。新学習指導要領の示す「学びの地図」の中で、問題の解決に必要な新しい価値（宝物）を手に入れることを志し、そのために必要な知識・技能、もの、人とのつながりを求めて、単元だけでなく時には教科や学校を飛び越えながら自在に「志を貫く学びの航路」を描くのです。このカリキュラムデザインの手法を本校では「貫きカリキュラム」と呼ぶことにしました。

また、「資質・能力の評価」の研究については、子供との価値の共有こそが重要と考え、A（めざす目標）のさらにひとつ上のS（資質・能力の価値がもっとも発揮された理想の状態）を具体的に示すアイデアを「S ループリック」と呼び、それらの評価活動を含め「生徒の主体性を育てる資質・能力を育てる指導方法」について研究を進めてきました。この冊子には、昨年度開発した単元の紹介に加え、共同研究を進めている広南小学校の先生方の実践レポートをまとめ、平成30年度に向け本学園の研究推進の方向性をまとめたものです。

# I 研究推進計画





## 目 次

### I 研究推進計画

平成30年度の研究推進へ向けて	I-1
研究主題 H30 および研究仮説	I-4
研究推進体制	I-4
平成30年度の教育目標 「未来を創る」	I-5
学びがい(学ぶ価値と質)を向上させる授業改善のポイント	I-5
カリキュラムマネジメント	I-5
資質・能カルーブリックの活用について	I-10
H30 広南学園カリキュラムマップ	I-12
平成30年度総合的な学習の時間の全体計画	I-13
授業観察シート (H30)	I-14

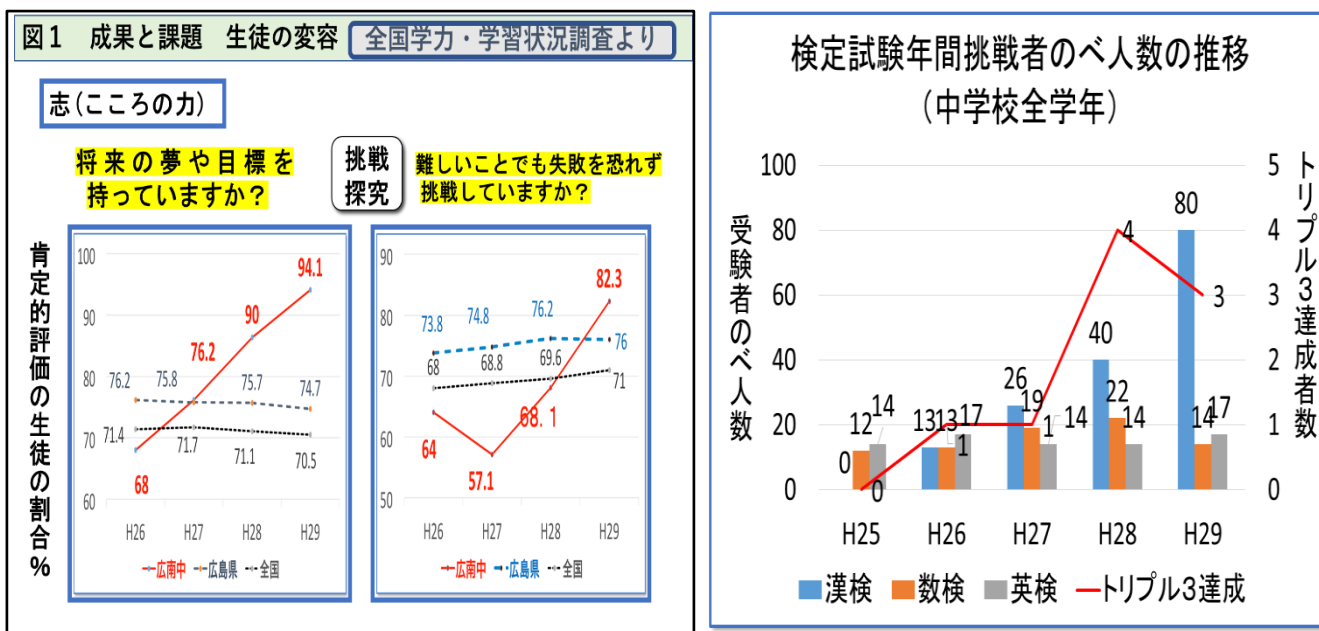
# 1 平成30年度の研究推進へむけて —平成29年度までの成果と課題を踏まえて—

本校では、「学びの変革」を進めるにあたって、挑戦問題を手がかりとした課題発見・解決学習の単元開発について研究推進を図ってきた。さらに昨年度は、新学習指導要領を見据え、資質・能力を「志（こころの力）」と「力（かなえる力）」の2つの柱をたて、教科横断的・総合的な探究学習として「貫きカリキュラム」というカリキュラムデザインの手法と、「Sルーブリック」を活用した評価方法のアイデアの有効性について実践的に研究を進めてきた。

その結果、課題・発見解決学習に関する生徒アンケートからも、目標とした80%を上回る肯定的評価を達成し（表1参照）、「主体的な学び」が進み、とりわけ読書活動については、総合的な学習の時間において読書活動と関連させる単元開発を行うことで大きな伸びにつながったものと考えられる。

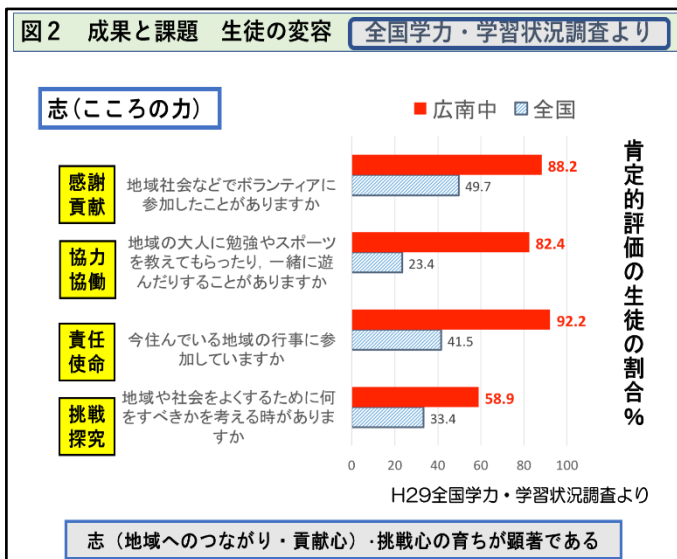
＜表1＞指標(学習と生活アンケートの項目アンケートのそれぞれの平均)	H28		H29	
	肯定的評価	県平均とのポイント差	肯定的評価	県平均とのポイント差
学習習慣・学習動機・学習意欲	85%	+22	85%	+20
課題発見・解決学習	88%	+28	89%	+26
読書活動	71%	+15	90%	+31

また、図1のように、全国学力・学習状況調査の結果から、本校で進めてきた単元開発および実践が「志（こころの力）」とりわけ「挑戦・探究」に関わる資質・能力を育てることに有効であったことがわかる。このことは、昨年度、落語や起業PROJECTなどの総合的な学習の時間における取組に加え、各種検定へ挑戦を行う「トリプル3」の取組を小学校にも広げるなど、児童生徒達に挑戦の機会を積極的に与えることで育ってきたものと考えている。



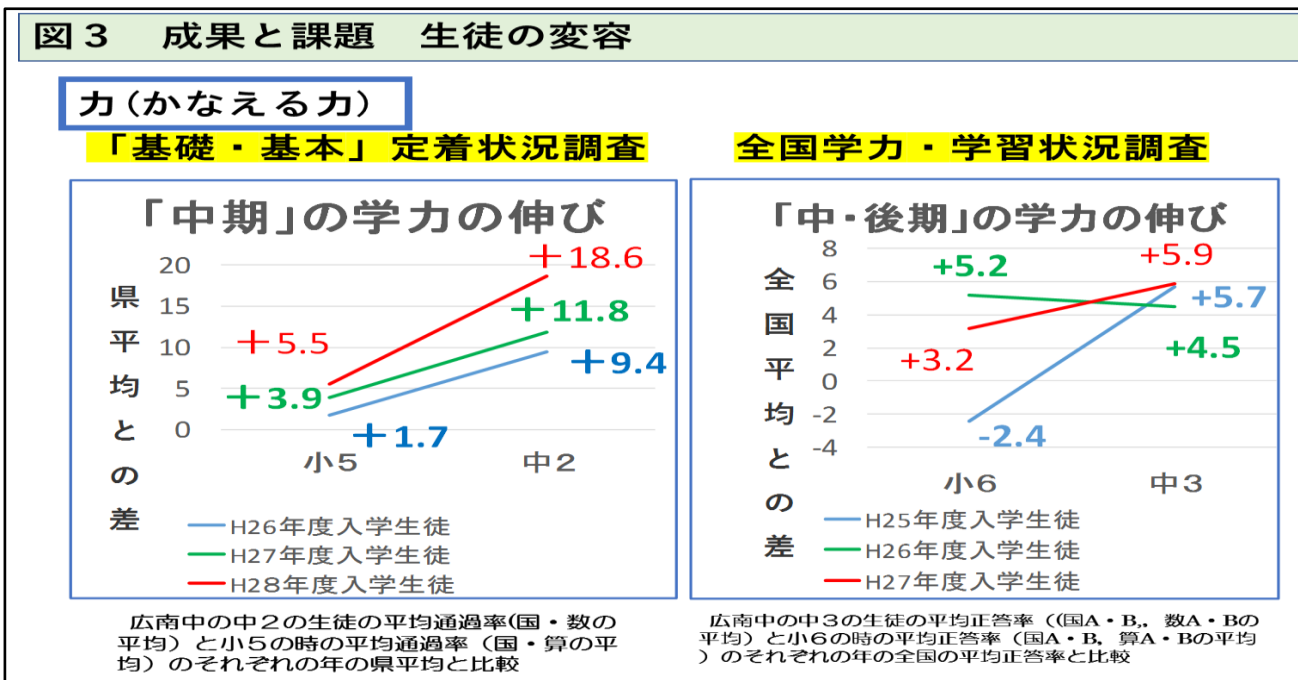
また、図2にあるように、地域社会とのかかわりの項目において、全国平均と比べて特に顕著な特徴があり、「地域社会」との深い関わりをもつ生徒が育っていることがわかる。実際に、総合的な学習の時間に学んだ「落語」や「箏」「尺八」などを、地域の花見等の行事にも、ボランティアで主体的に出向いて披露する生徒が育ってきている。





地域の花見会で、落語を披露する生徒

さらに、図3のように、中期・中後期における学力の高い伸びを実現することに成功しており、「力(かなえる力)」を柱とした「知識・技能」や「思考・判断・表現」の資質・能力が身に付いたと言える。これは教育内容の改善を小中一貫教育の中で進めてきた成果と考えられる。



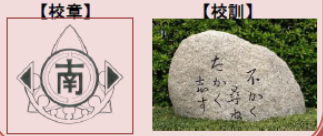
このような成果をあげることができたもう一つの要因として、本校の特色あるカリキュラムを創り、実践を積み重ねマネジメントサイクルによる見直しを図る中で指導力を向上させてきたことが挙げられる。今後も本校の特色ある様々な取組を持続可能なものとなるようにするためには、培ってきた指導方法をさらに「磨く」とともに、その蓄積を新しい教職員に「つなぐ」ことも重要な課題となる。

次年度の校内体制では、ベテランの教師が少なくなり、新採用等の若い教師が複数となり、より一層の人材育成と校内研修の充実が望まれる。また、タブレットの導入も2学期に予定されており、これらの状況を踏まえ、来年度は「TPOに応じた言葉磨きとICTの活用」を中心的な研究テーマとして、これからの時代を見据えた教師の指導力の向上を重点課題として取り組むこととした。

# 広南学園グランドデザイン

呉市立広南小学校  
〒737-0136  
広島県呉市広長浜四丁目1-26  
TEL0823(71)7965 FAX 0823(71)4112

呉市立広南中学校  
〒737-0136  
広島県呉市広長浜四丁目1-9  
TEL0823(71)7920 FAX 0823(74)3502



- 児童生徒実態**
- ・明るく素直
  - ・新しい学校をつくらうという機運
  - ・学習理解の二極化
  - ・切磋琢磨する気持ちが弱い
- 保護者・地域実態**
- ・地域の学習教材が豊富
  - ・新しい学校づくりに期待
  - ・保護者同士がそれぞれ親密
  - ・教育活動に協力的
  - ・地域にいる豊かな人材

**学校教育目標**

## 未来を創る

**ミッション**  
大きな夢と志をもち、社会に貢献する人材を育成する

- ビジョン**
- 深い学びの精神と感謝の気持ち、社会貢献への気概をもつ児童生徒を育て、地域から信頼される学校
  - 地域文化の拠点として地域の活性化に貢献する学校

- 目指す児童生徒像**
- ～ 挑戦 自律 真摯 ～
- 夢を持ち、夢を語り、志を抱き、その実現に向けて挑戦する児童生徒
  - 時を守り、場を清め、礼を正し、学びを求める児童生徒
  - 自ら課題を見つけ、その解決に向けて、常に努力し続ける児童生徒

- 目指す教師像**
- ～ 知識 見識 胆識 ～
- 広い知識と教養をもつ尊敬される教師
  - 義務教育9年間を見据え、常に自己研鑽に励む情熱ある教師
  - 率先垂範と徹底指導により、使命感をもって目指す児童生徒を育成する教師

### 「誇りを持って故里を語り、受け継ぎ、発展を担う志と力を育てる教育の創造」

**H30研究主題**

小中9年間を見通した児童生徒の指導体制の確立

## 「指導力」向上部会

○児童生徒の主体性(学びに向かう力・人間性)を育てる指導の工夫

〔指導技術・方法の改善〕

**TPOを意識した言葉磨きとICTの活用力の向上**

○授業改善

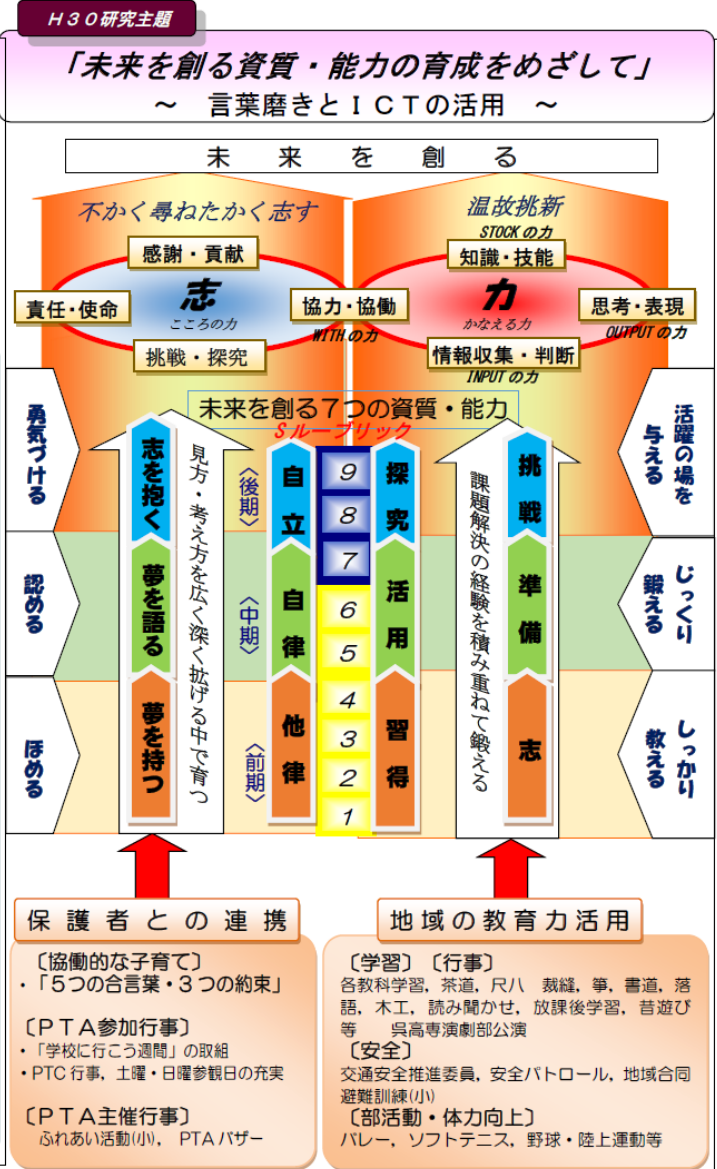
- ・「思考を促す」発問・指示
- ・「思考の流れの見える」板書
- 主体性を育てる学級づくり〔相手を大切にす礼節の校風づくり〕
- ・児童会・生徒会活動
- ・生活ルーブリック(Sルーブリックの活用)
- ・5つの合言葉・3つの約束
- ・いじめ撲滅プロジェクト

〔先輩後輩・地域との絆づくり〕

- 絆PROJECT(異年齢交流)
- 学園朝会
- 広南芸術鑑賞会・広南寄席
- 合同運動会
- 広南劇場(中) 広南寄席(中)
- 学習発表会(小)
- 二分の一成入式(小)
- せとうち海援隊活動
- 地域行事への参画 小俣神楽、祭り、広子ども祭り・ふれあいサロン(中)・敬老会(中)

〔健康・運動・生活づくり〕

- 業間体育(小) ○部活動(中)
- ロング屋休憩(小)
- 食育の充実
- 読書活動



小中9年間を見通したカリキュラムマネジメント

## 「学びがい」向上部会

○学習内容の学びがい(学ぶ価値・学びの質)を高める工夫

〔課題発見・解決学習の単元開発〕

**グローバル教育を見据えたカリキュラムデザイン**

- 挑戦課題の開発
- 貫きカリキュラム
- ・単元接続型
- ・教科横断型
- ・学校段階間接続型(乗り入れ授業)(カリキュラムマップの活用)
- 〔資質・能力ルーブリックの活用〕
- Sルーブリックで資質・能力の価値の共有

〔活躍・挑戦の場づくり〕

○授業での活躍の場

- ・予習課題・復習課題の活用(家庭学習の活用)
- ・ミニ発表会・班発表
- ・ミニ先生・教えあい

○校外への挑戦の場

- ・トリプル3(中) (漢検・数検・英検)
- (小) (漢検・統計グラフコンクール・百人一首大会)
- ・各種学力調査
- ・科学研究
- ・各種応募作品
- ・「くれ・チャレンジマッチ・スタジアム」
- ・水泳記録会・陸上記録会(小)
- ・部活動の大会(中)
- ・総合文化行事(中)
- ・英語暗唱、ロボコン、話し方大会
- 合唱コンクール
- フルタブ集め(小)
- エコキャップ集め(中)



## 2 平成30年度 研究主題および研究仮説

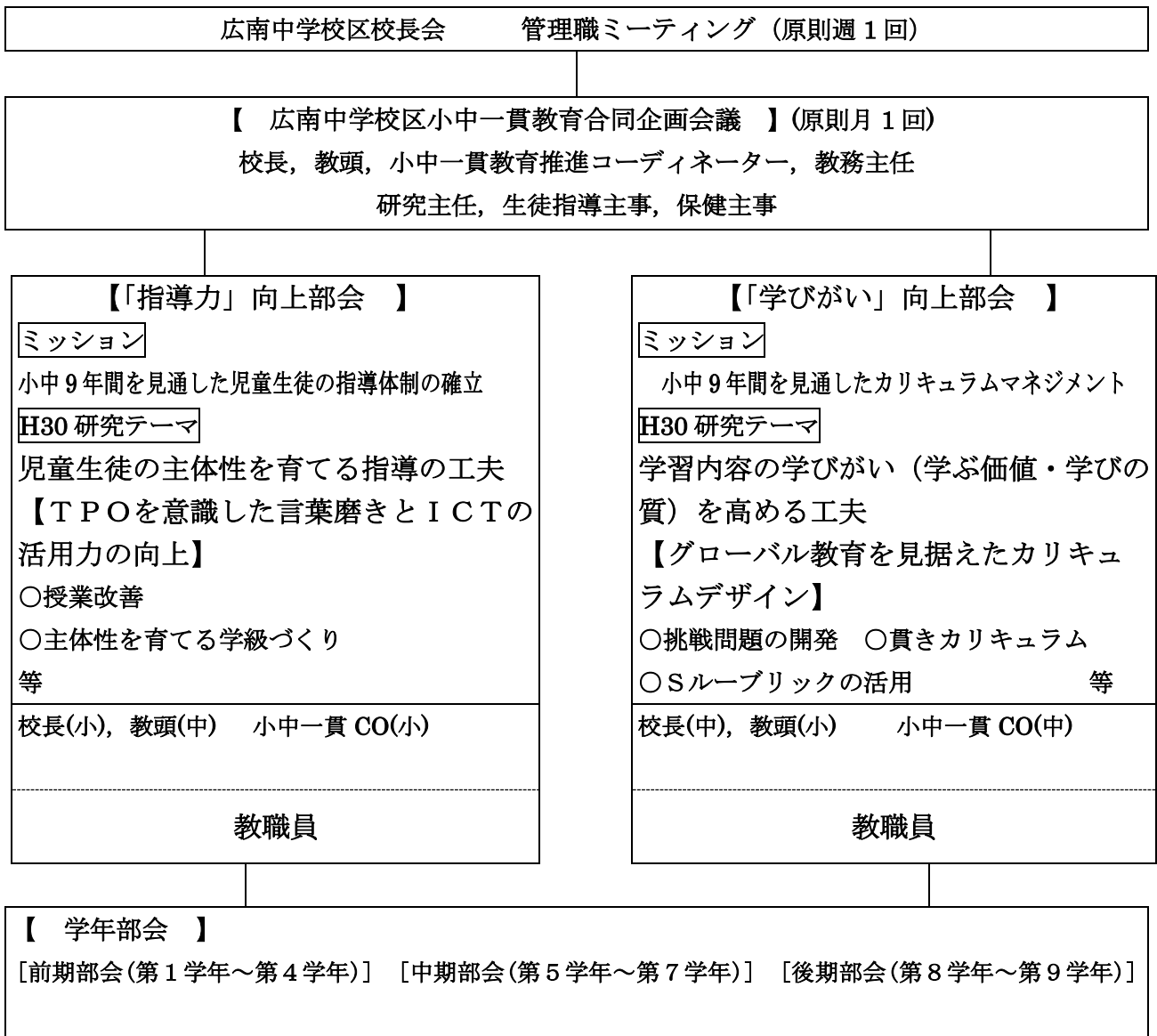
# 未来を創る資質・能力の育成をめざして

～言葉磨き, ICTの活用を手がかりとして～

### 研究仮説

教師と児童生徒が, TPOに応じてよりの確な言葉を選び, 伝えあう言語能力を高めるための言葉磨きを行うとともに, ICTを活用する情報活用能力を高めることは, あらゆる場面の学びの質を深め, 未来を創る資質・能力(「志(こころの力)」及び「力(叶える力)」)を育てることに有効であろう。

## 3 研究推進体制

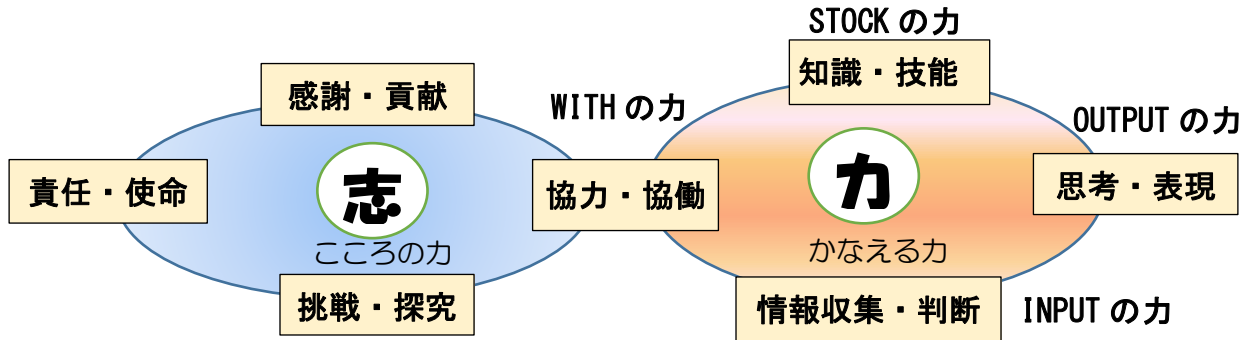


#### 4 本学園の教育目標を実現する資質・能力の設定

平成30年度の教育目標 「未来を創る」

「誇りを持って故里を語り，受け継ぎ，発展を担う志と力を育てる教育の創造」

<未来を創る志と力を育てる2つの柱と7つの資質・能力>



資質・能力		めざす学びの姿（評価規準）	
力	問題解決へ向かう探究の能力	知識・技能	課題解決に必要な知識や技能を習得し活用することができる。
		情報収集・判断	尋ねたり，調べたり，試したりして，必要なものを見付け，選び出すことができる。
		思考・表現	しっかり考えて，学びを自分のものにして表現できる。
志	主体的・協働的に地域社会に参画しようとする意欲と態度	協力・協働	他の人と協力し，いろいろな意見やそれぞれの力を生かすことができる。
		協力・協働	他の人と協力し，いろいろな意見やそれぞれの力を生かすことができる。
		感謝・貢献	自分感謝の気持ちを持って，自分なりに貢献することができる。
		責任・使命	自分の役割や使命を考え，するべきことを行うことができる。
		挑戦・探究	夢や疑問，できないことを大切に，見通しを持って粘り強く学び続けることができる。

## 5 学びがい（学ぶ価値と質）を向上させる授業改善のポイント

- (1) 教科横断的・総合的な問題解決の学習の流れを念頭に置いた**深い学びの過程**になっているか。  
**単元計画** <貫きカリキュラム・カリキュラム・マップの活用>
- (2) 他者との協働や外界との相互作用を通じて自分の考えを広げ深める**対話的な学びの過程**になっているか。  
**授業の展開** <TPO に応じた教師・児童生徒の言葉磨きおよび ICT の活用>
- (3) 意欲的に学びに向かい、見通しを持って粘り強く取り組み、自らの学習を振り返って次につなげる**主体的な学びの過程**になっているか。  
**授業の導入および終末** <ICT 等を活用した意欲づけ> <生徒の振り返りの活用>
- (4) どのような資質・能力が育つか学びの質を見取る**評価基準の共有**がなされているか。

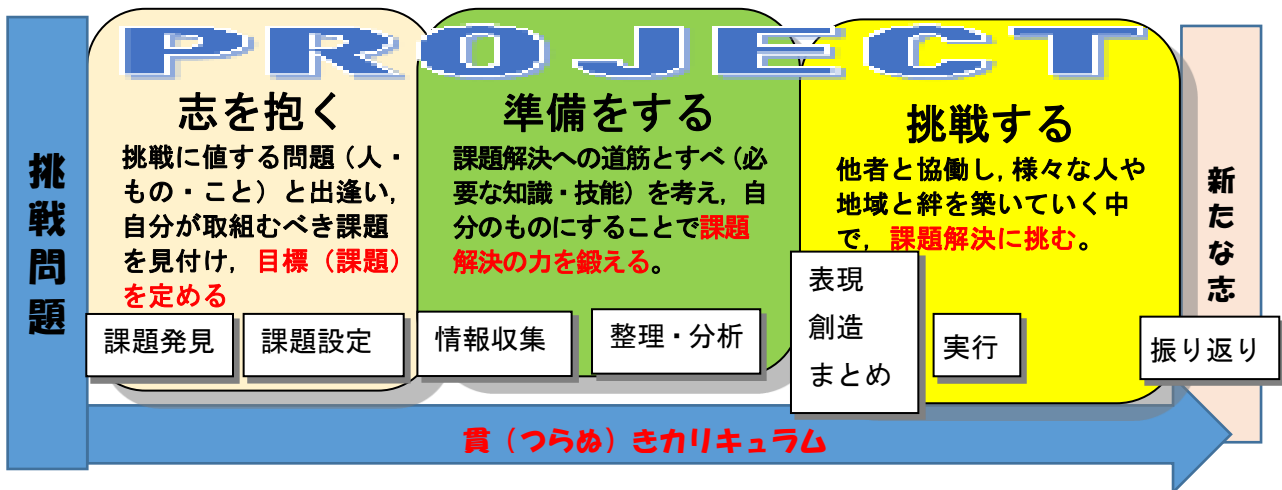
※ 今年度は、上記の4つの視点で**2STEP カンファレンス**で研究授業を行う。

## 6 カリキュラムマネジメント

### ① カリキュラムデザイン **貫きカリキュラム**

教師の願いを基盤として、一つの挑戦問題が始まる課題発見・解決学習の流れを、実社会における横断的・総合的な探究の過程に沿って様々な単元・題材等を関連付け一つの PROJECT として貫きを持たせることで、児童生徒の主体性を引き出し、実社会における問題解決に向かう志と探究的な能力(資質・能力)を育てるカリキュラムに高める。

**実社会における問題解決に向かう探究の過程**

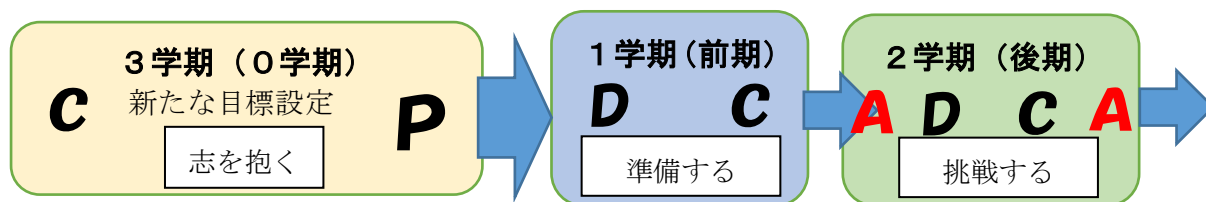


なお、本校では、「課題」と「問題」の用語については次のように整理している。

挑戦問題	解決すべき問題と出あわせるため教師から行う意図的な問題提起
課題発見	教師の問題提起を受けて児童・生徒が自ら見出す自分で取り組むべき課題 または、学習の結果、児童・生徒が自ら見出すさらなる取り組むべき課題
課題設定	課題解決へむけての見通しを示したもの
課題解決	課題解決により問題解決へむけてのすべ(知識・技能など)を得ること
問題解決	課題解決で得られたすべと協働的な営みの積み重ねにより挑戦問題の解決を図ること

- ② 子供の実態や地域の現状等に関する調査や各種データに基づく教育活動の編成・実施，改善サイクルの確立

ア「0学期からのカリキュラムマネジメント」(P13参照)



- イ **短期スパン**→資質・能力ルーブリックを活用して形成的評価に活用  
毎時間の授業，行事の目標を資質・能力のルーブリックを活用して設定

- ウ **短・中期スパン**→単元ごと総括的評価  
(総合的な学習の時間)

【単元始め】7つの資質・能力およびルーブリックの提示

【単元終わり】ポートフォリオを活用し，ルーブリックに基づく自己評価+他者評価

(各教科) ※ 次期学習指導要領の改定案で示される単元ごとの目標に準拠して作成予定

【単元始め】単元目標にそった資質・能力ルーブリックの提示

【単元終わり】パフォーマンス評価等を活用し，ルーブリックに基づく自己評価+他者評価

- エ **中期スパン**→学期ごとに総括的評価 (県のデータと比較することで客観性を確保)

【7月】1学期の振り返り (学習と生活のアンケート項目の活用)

【12月】1・2学期の振り返り (学習と生活のアンケート項目の活用) (次ページ参照)

- オ **長期スパン**(1年ごと)個人内総括的評価+総括的評価

【4月】未来を創る力の全体像の提示

【12月】個人内評価(7つの資質・能力の育ちの振り返り(自由記述))

総括的評価(学習と生活のアンケート項目の活用)

- ③ 教育内容と指導体制や **ICT活用などの諸条件の整備と活用**

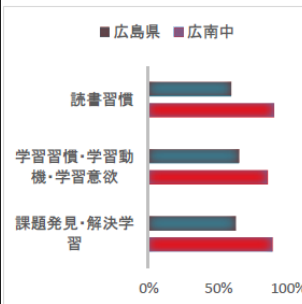
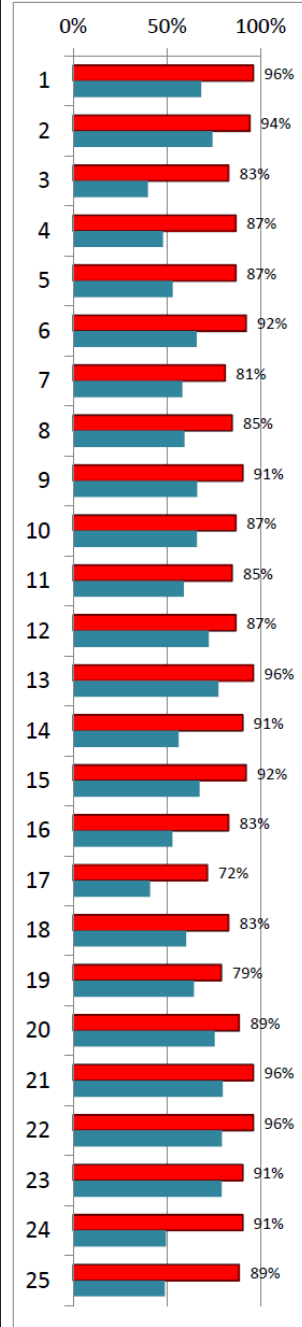
各教室 PCおよび実物投影装置 電子黒板整備

図書館活動の充実

中期スパンの資質能力の変容には、学習と生活のアンケート項目を活用

平成29年度 学校評価 生活と学習アンケート（第2回・12月実施）集計結果

		70%以上		肯定的評価の割合						70%未満			
		No.	質問項目	1年	2年	3年	広南中	広島県	1年	2年	3年	広南中	広島県
				H29	H29	H29	H28	H29	H29	H29	H28	H29	H29
課題発見・解決学習	課題の設定	挑・探	1	授業では、解決しようとする課題について、「なぜだろう」、「やってみよう」と思っています。	90%	100%	100%	91%	96%	68%			
		挑・探	2	授業では、解決しようとする課題について、「たぶんこうではないか」、「こうすればできるのではないか」と予想しています。	90%	100%	93%	91%	94%	74%			
	情報の収集	情・判	3	授業では、課題を解決するために、進んで、資料を集めたり取材をしたりしています。	67%	94%	93%	81%	83%	40%			
		情・判	4	授業では、課題を解決するための情報を集める前に、どのような方法だと必要な情報を集めることができるのかを考えています。	71%	100%	93%	84%	87%	48%			
	整理分析	思・表	5	授業では、調べたことなどを、図、グラフ、表などにまとめています。	71%	100%	93%	91%	87%	53%			
		思・表	6	授業では、情報を、比べたり（比較）、仲間分けしたり（分類）、関係を見付けたり（関係付け）して、何が分かるのかを考えています。	81%	100%	100%	90%	92%	66%			
	まとめ創造表現	思・表	7	授業では、自分の考えを積極的に伝えています。	71%	88%	87%	76%	81%	58%			
		思・表	8	授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝えるように発表を工夫しています。	81%	94%	80%	91%	85%	59%			
	実行	知・技	9	授業では、考えたり提案したりしたことについて、実際に取り組んでいます。	90%	88%	93%	91%	91%	66%			
		思・表	10	学習の振り返りをするときには、「どこまでできなかったか」、「学習の方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由」を考えています。	81%	88%	93%	86%	87%	66%			
	振り返り	挑・探	11	学習の振り返りをするときには、「もっと考えてみたいこと」、「もっと調べてみたいこと」、「もっと工夫してみたいこと」などを考えています。	76%	88%	93%	81%	85%	59%			
		知・技	12	ふだんの生活や学習の中で、これまでに学習した内容や学習の進め方を使っています。	76%	94%	93%	90%	87%	72%			
	その他	協・協	13	授業では、友だちと話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。	90%	100%	100%	93%	96%	78%			
			14	授業では、実際にものを使ってやってみたり、地域や自然の中で学習したりするなどの体験活動をしています。	86%	94%	93%	88%	91%	56%			
	総合		15	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます。	95%	94%	87%	95%	92%	68%			
		16	自分で勉強の計画を立てています。	76%	82%	93%	90%	83%	53%				
学習習慣		17	学校の授業の予習をするようにしています。	67%	71%	80%	66%	72%	41%				
		18	学校の授業の復習をするようにしています。	81%	88%	80%	83%	83%	60%				
		19	「やりなさい」と言われなくても、自分から進んで勉強をしています。	81%	82%	73%	83%	79%	65%				
学習意欲		20	わからないことはそのままにせず、わかるまで努力しています。	81%	100%	87%	90%	89%	76%				
		21	学習を最後までやりとげようとしたことがあります。	95%	100%	93%	86%	96%	80%				
		22	将来、仕事や生活の中で役に立つと思うから勉強しています。	95%	100%	93%	97%	96%	80%				
読書習慣		23	本を読むことが好きです。	100%	88%	80%	76%	91%	79%				
		24	読んだ本について友達や家族と話をします。	76%	100%	100%	59%	91%	50%				
		25	家で本や資料などを利用して学習しています。	86%	94%	87%	78%	89%	49%				
項目別平均	課題発見・解決学習			81%	95%	93%	88%	89%	63%				
	学習習慣・学習動機・学習意欲			82%	89%	86%	85%	85%	65%				
	読書習慣			87%	94%	89%	71%	90%	59%				



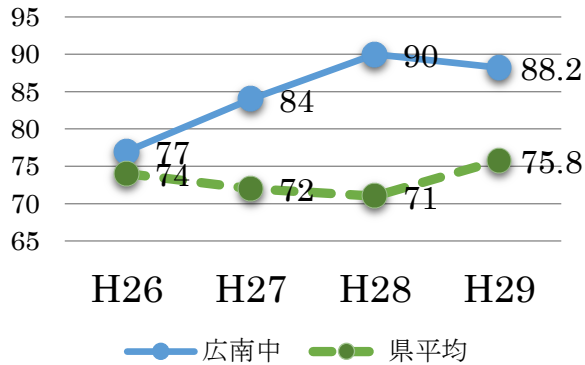
注)「感謝・貢献」の資質・能力については、全国学力テストの生徒アンケートの項目を活用する。



「基礎基本」定着状況調査から見た広南中学校の生徒の資質・能力の変容

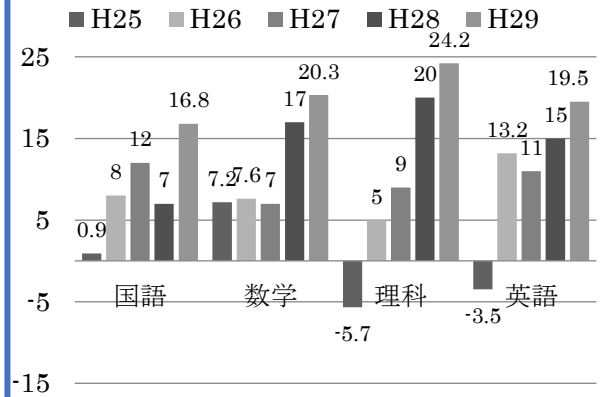
志

将来の夢や目標（志）を持っている

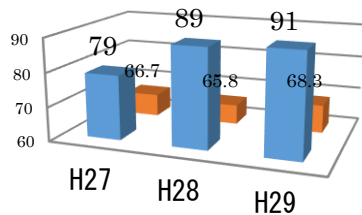


力

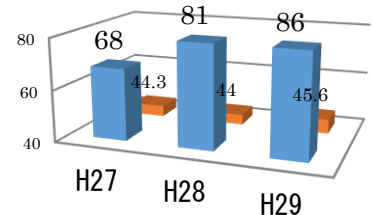
「基礎・基本」定着状況調査の県平均との差の推移



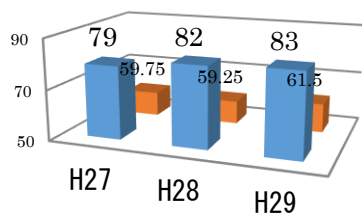
挑戦・探究



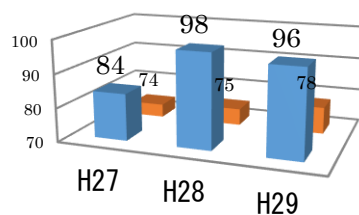
情報収集・判断



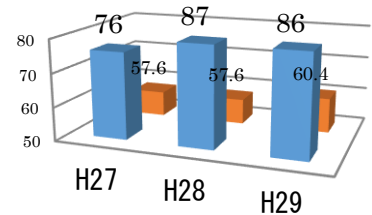
責任・使命



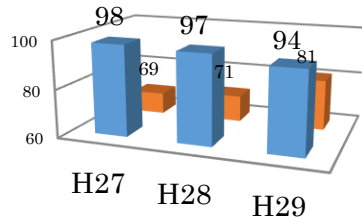
協力・協働



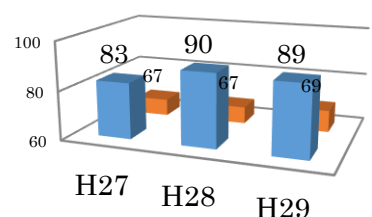
思考・表現



感謝・貢献



知識・技能



■ 広南中 ■ 県平均

※) 数字は「基礎・基本」定着状況調査の生徒アンケートの項目における肯定的評価の割合をそれぞれの資質・能力の県平均の項目の平均値と比較したもの

※) 「感謝・貢献」の項目は全国学力学習状況調査の質問項目からの値からの比較

## 未来を創る君たちへ

呉市立広南学園

未来に、どんな困難に出会っても  
志を抱いて生きる人になりましょう。

志を抱くとは、決して人や世の中のせいにして逃げたりせず、自分の  
できることを考え、目標を定め、粘り強く、解決へ向けて努力し続ける  
ことのできる『ごころの力』をもつことです。

夢や疑問やできないことに出合った時に、それを大切にしながら粘り強く  
学び続けることのできる熱い『挑戦・探究の心』

そして、自分の**責任・使命**を考え、それを果たそうとする強い心  
まわりの人に**感謝・貢献**しようとするあなたらしい心

お互いを大切にするために**協力・協働**しようとするやさしい心  
その4つの『ごころの力』を育てることで、志はおおきな志となって、  
あなたの人生の道しるべとなります。

そして、その志を叶えることのできる力を手に入れましょう。この力  
は、決して他人が与えることではできません。この力は、あなた自身が、  
問題解決に必要な準備を考え、整え、挑戦する経験を繰り返す中でしか  
鍛えられない力です。先人の**知識・技能**を温め学びとる力、調べたり、  
尋ねたり、試したりしながら必要なものを見つけて出す**情報収集・判断**の  
力、問題を解決するアイデアを見出し、人に伝える**思考・表現**の力、そ  
して互いの力を引き出し、あわせていく**協力・協働**の力、それらの力が  
鍛えられて志を『叶える力』となります

### 未来を創る7つの資質・能力

資質・能力	めざす学びの姿
知識・技能	学んだ知識や技能を活用することができる。
情報収集・判断	尋ねたり、調べたり、試したりして、必要なものを見出し、選り出すことができる。
思考・表現	しつかり考えて、学びを自分のものにして表現できる。
挑戦・探究	夢や疑問、できないことを大切に、見通しをもって粘り強く学び続けることができる。
責任・使命	自分の役割や使命を考え、するべきことを行うことができる。
協力・協働	他の人と協力し、いろいろな意見やそれその力を生かすことができる。
感謝・貢献	感謝の心を持ち、自分なりに貢献することができる。

総合的な学習の時間(中)ポスターオリオ表紙紙より

本校で設定した資質・能力の高まりを意識した昨年度の生徒の振り返り例

### (自分が成長したと思うこと、課題と思うこと など)

私はこの起業プロジェクトでは経理部長という大きな役割になることができました。初めは本当にとて不安だったけど、プレゼンでは小学校、中学校の先生、校長先生など、たくさんの方にすることでだんだん緊張をほぐしてきました。本番のプレゼンでは、少しかんじで、下校の時も通い、落ちついて話すことができました。これは③の挑戦バという力がついていたと思います。

な教育祭での販売のお願いに行きたときは、頭の中が真白になってしまい、全く話すことができませんでした。次の発表のときにも、また、頭の中が真白になたらどうしようと思ったりしたけど、挑戦バをもって失敗をせずにプレゼンを行うことができました。また、経理部長の大きな役割はお金の管理です。自分の役割に責任をもって行動することができました。でも、お金の出納簿にかいてあるお金が一致しなかったことがとても残りました。はじめはとて大変で、正直商品もつくりたくて、経理部長やらなからたらよかったと思っています。でも、プレゼンで緊張をほぐしたのは自分の中ではとてもすごいこと、自分では、成長したと思、ています。文化祭は終わりましたが、自分の仕事はまだまだたくさんあるのを最後まで頑張りたいです。

## 7 資質・能力ルーブリックの活用について

### Sルーブリック

さらに上質な学びのイメージをSとして生徒と共有することで、学びの価値や学びの質を高める

\_S: Super(期待する活動以上に、何かプラスαが見られる) 下線部がプラスアルファ

- A: 十分満足できる(期待する活動が十分見られる)  
 B: 概ね満足できる(期待する活動は見られるが、未到達な部分もある)  
 C: 努力を要する(期待する活動が見られない) ※到達目標をAとする。  
 S~Cの4段階評価は、黒川晴夫(関西大学総合情報学部)教授の考え

### <資質能力のルーブリック(基本)>

		資質・能力	評価	評価基準
問題解決へ向かう探究の能力	知識・技能	知識技能	S	学んだ知識や技能を習得・活用して人に教えることができる。
			A	学んだ知識や技能を習得し、活用することができる。
			B	学んだ知識や技能を習得することができる。
			C	学んだ知識や技能を習得することができない。
	思考力・判断力・表現力	情報収集判断	S	尋ねたり、調べたり、試したりして、ものの見方や考え方を広げ深めることができる。
			A	尋ねたり、調べたり、試したりして、必要なものを見付け、選び出すことができる。
			B	尋ねたり、調べたり、試したりして、関係ありそうなものを見付けることができる。
			C	尋ねたり、調べたり、試したりすることができない。
		思考表現	S	しっかり考えて、学びを自分のものにし、工夫や意見を加えて表現できる。
			A	しっかり考えて、学びを自分のものにして表現できる。
			B	学んだことを表現することができる。
			C	学んだことを表現できない。
主体的・協働的に地域社会に参画しようとする意欲と態度	学びに向かう力・人間性	協力協働	S	他の人と協力し、いろいろな意見やそれぞれの力を生かして課題を解決することができる。
			A	他の人と協力し、いろいろな意見やそれぞれの力を生かすことができる。
			B	他の人と協力しようとする努力することができる。
			C	他の人と協力しようとしていない。
		感謝貢献	S	感謝・貢献することを重ねることで絆を深めることができる。
			A	感謝の気持ちを持って、自分なりに貢献することができる。
			B	感謝の気持ちを持って、自分なりに貢献しようとする努力することができる。
			C	感謝の気持ちを持っていない。
		責任使命	S	自分の役割や使命を考え、生き方の目標を見付け出すことができる。
			A	自分の役割や使命を考え、すべきことを行うことができる。
			B	自分の役割や使命を理解し、果たそうと努力することができる。
			C	自分の役割や使命を理解していない。
	挑戦探究	S	夢や疑問、できないことを大切に、新しい自分やものを創り出すことができる。	
		A	夢や疑問、できないことを大切に、見通しを持って粘り強く学び続けることができる。	
		B	夢や疑問、できないことを大切に、学び続けようとする努力することができる。	
		C	できないことやわからないことをあきらめている。	

実際の授業では、発達段階・学習対象や内容に応じて児童生徒にもわかりやすいものに表現を変えて使用する。各 PRPJECT や単元のルーブリックはこれを規準に考えて定める。

※ Sの内容については、児童生徒自身に考えさせたり、授業の中で見付けたりすることも効果的である。

## 7 広南中学校授業観察シート (H30)

呉市立広南中学校

平成 年 月 日( )

### 授業評価カード (平成30年度版)

年 組 教科名( )

授業者( 教諭)

参観者( )

	評価項目	評 価
言語能力	●生徒の考えを広げたり深めたりするための的確な指示・質問・発問ができていたか。(深い学び)	4 3 2 1
	●生徒の主体性を引き出す共感的な評価活動(「ほめる」「認める」「勇気づける」声かけ)ができていたか。(主体的な学び)	4 3 2 1
	●生徒のことばの力(TPOを意識した言語能力)の育成につながる的確な指導ができていたか。(対話的な学び)	4 3 2 1
情報活用能力	●生徒の情報収集・判断・活用能力を引き出す指導ができていたか。	4 3 2 1
	●ICT等を活用して授業改善を行おうとする努力がみられるか。	4 3 2 1
カリキュラム・マネジメント能力	○めあて(課題)とつながる生徒のまとめ・振り返り(評価活動)を行わせることができたか。(主体的な学び)	4 3 2 1
	○Sループリック等を活用しながら、生徒の学習意欲を引き出す授業の導入ができたか。(主体的な学び)	4 3 2 1
	○授業の中で、前時の振り返りや、予習課題や復習課題を生かした指導ができていたか。(主体的・深い学び)	4 3 2 1
	○理解や思考を促すワークシートやノート指導・板書等の工夫を行っていたか。(深い学び)	4 3 2 1
	○問題解決の過程を踏まえた指導(「しっかり教える」「じっくり鍛える」「活躍の場面を与える)を意識した単元計画になっているか。(深い学び)	4 3 2 1
	○他の単元や教科、実社会とのつながりを見通した「貫きカリキュラム」を意識した単元計画の工夫はみられるか。(深い学び)	4 3 2 1
4 とてもあてはまる 3 あてはまる 2 あまりあてはまらない 1 ほとんどあてはまらない		
【気付き・感想】		



○「学びがい」向上部会の取組(課題発見・解決学習・カリキュラムマネジメント)

●「指導力」向上部会の取組(指導技術・方法の改善)



<参考> H30 広南学園カリキュラムマップ

誇りを持って故里を語り、受け継ぎ、発展を担う志と力をもつ児童生徒を育てるカリキュラムマップ								
呉市立広南学園		志と力			実践における横断的・総合的な探究の過程 (志+力+挑戦)			
<b>未来を創る志と力を育む7つの資質・能力</b> 後期の目標 実社会との接続を見据えた探究的な学習の過程において、学んだ知識・技能を活用し、協働的・創造的に行う志を叶える力を通して、よりよい未来を創るよう、志を叶える力を手に入れるために、つながりや学びを深めながら、生涯に渡って学び続けようとする生徒を育成する。		志 感謝 貢献 WITHの力 協力の協働 責任 使命 挑戦 探究 志 ころの力		力 知識 技能 STOCKの力 思考 表現 OUTPUTの力 情報 収集 判断 INPUTの力 かなえる		志を抱く 価値のある問題(ひと・もの・こと)に出会い、目標(課題)を定める。		
		準備をする 目標達成への道筋とすべ(必要な知識・技能)を考え、課題解決の力を鍛える。		挑戦する 他者と協働し、いろいろな人の意見や能力を全かし、絆を築いていく中で、課題解決に挑む。				
後期	中期	前期	教科等	総合的な学習の時間・生活科 生き方学習	ふるさと学習	特別活動その他	校外への挑戦	
<b>志を抱く</b> 後期 探究	<b>夢を語る</b> 中期 活用	<b>夢を持つ</b> 前期 習得	9年生	外国の人に日本の文化を伝えよう(英) 雅楽・能(音) 地域の課題の解決法を考えよう(社) 俳句(国) 保育実習(普通びを伝えよう)(家) 宇都宮黙霖の志を学ぶ(道) 南中ソーラン(踊り)指導(体) 日本建築の技(技) 落語の秘密(国) 算額を作ろう!(数)	自己PR大作戦 オープンスクールへの参加 進路説明会 進路先の情報収集	自己実現の志を抱く 未来貢献PROJECT 社会貢献の志を抱く	小学校への読み聞かせボランティア参加 広南劇場 広南寄席	漢検 数検 英検 ロボコン
			8年生	外国の人に地域の文化を伝えよう(英) 武道(体) 日本チーム銀メダルの誇り(体) 平家物語(国) 身近な地域を見直そう(社) 采谷選手の生き方に学ぶ(道) 南中ソーラン(踊り)習熟(体) 浮世絵(美)	職業的自らの志を抱く 職場体験 仕事の魅力探し	広南起業PROJECT 起業家に学ぶ	漢検 数検 英検 科学研究	
<b>夢を語る</b> 中期 活用	<b>夢を持つ</b> 前期 習得	<b>夢を持つ</b> 前期 習得	7年生	外国の人に学校の文化を伝えよう(英) 武道(体) 南中ソーラン(踊り)習得(体) 尺八・箏に挑戦(音) 広南の大地の生い立ちを探究2(理)	夢を語る 魅力的な生き方探し	落語貢献PROJECT 蚊がO研究PROJECT	出前落語 科学研究 数検 英検 漢検	
			6年生	広南の大地の生い立ちを探究1(理) 地域の伝統料理うどんどうふづくり(家) 将来の夢や生き方について考えよう(国) 平成源平応援合戦(踊り)指導(体) 町の未来をえがこう(国)	夢を語る 輝け 自分の未来 いろいろな人の生き方に触れる	歴史探訪 ~広南の宝~ 宇都宮黙霖・石泉文庫・小坪神楽 石泉文庫由千しのお手伝い 煎茶のもてなし	長浜龍神太鼓・小坪神楽の習得 考える農業にチャレンジ! せとうち海援隊(地域清掃ボランティア)	漢検 統計グラフコンクール 百人一首大会 科学研究
<b>夢を持つ</b> 前期 習得	<b>夢を持つ</b> 前期 習得	<b>夢を持つ</b> 前期 習得	5年生	和の文化について調べよう(国) 環境を守るわたしたち(社) 平成源平応援合戦(踊り)習熟(体)	和の心との出会い 茶道・書道 自然を守ろう わたしたちの町海の生き物に学ぶ 広南地区の防災対策について考えよう	自然を守る わたしたちの町海の生き物に学ぶ	広南芸術鑑賞会 広南合同運動会 せとうち海援隊(地域清掃ボランティア)	漢検 統計グラフコンクール 百人一首大会 科学研究
			4年生	「言葉のタイムカプセル」を残そう(国) ごみのしよりと利用(社) 郷土の発展につくす(社) 広町の人々のために~大林源蔵と大新聞の工事~(道) 平成源平応援合戦(踊り)習熟(体)	二分の一人入式に向けて 夢を持つ	エコで元気なまちづくり	保護者による読み聞かせ 学習発表会 ふれあい参観日	漢検 百人一首大会 科学研究
<b>夢を持つ</b> 前期 習得	<b>夢を持つ</b> 前期 習得	<b>夢を持つ</b> 前期 習得	3年生	わたしのまち みんなのまち(社) 小坪神楽をもう一度(道) 町について調べてしようかいしよう(国) かわってきた人々のくらしのこしたいもの、つたえたいもの(社) 平成源平応援合戦(踊り)習熟(体)	もっと知ろうよわたしたちの町 ・地域のよさをさがそう ・地域の伝統行事を知ろう ・地域の人・文化について知ろう	漢検 百人一首大会 科学研究		
			2年生	「ことばのアルバム」をつくろう(国) かんげい会のごちそう(道) 平成源平応援合戦(踊り)習得(体)	どきどき わくわく まちたんけん もっとなかよし まちたんけん まちのすてきを伝え合おう まちの人となかよくなる(生)	あしたへジャンプ 大きくなった自分(生)	漢検 百人一首大会 科学研究	
<b>夢を持つ</b> 前期 習得	<b>夢を持つ</b> 前期 習得	<b>夢を持つ</b> 前期 習得	1年生	「おもいでブック」をつくろう(国) 平成源平応援合戦(踊り)習得(体)	がっこう だいすき みんな みんな だいすきだよ 学校たんけん こうえんで秋をさがそう(生)	むかしからつたわる あそびをたのしもう ふゆのこうえんへいこう(生)	漢検 百人一首大会 科学研究	
			1年生	「おもいでブック」をつくろう(国) 平成源平応援合戦(踊り)習得(体)	家族を笑顔にする! おてつだいレンジャーに変身!(生)	漢検 百人一首大会 科学研究		



平成30年度総合的な学習の時間の全体計画

<p><b>生徒の実態</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小規模校であり、素直で学習や特別活動などに意欲的に取り組んでいる生徒が多い。礼節を大切にしようとする校風も育ってきた。</li> <li>● 読書の習慣や思考力、主体的に行動する態度が課題である。</li> </ul>	<p>&lt;学校教育目標&gt;</p> <h2 style="margin: 0;">未来を創る</h2> <p>～誇りを持って故里を語り、受け継ぎ、発展を担う志と力を育てる教育の創造～</p> <p>&lt;研究主題&gt;</p> <h2 style="margin: 0;">未来を創る資質・能力の育成</h2> <p>一言葉磨きとICTの活用一</p>	<p><b>保護者・地域の実態</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 厳しい家庭環境にある生徒が増加している。一方で、学校に協力的な人材は多い。</li> <li>・ 過疎化が進み、少子・高齢化が急激に進んでいる。</li> <li>・ 海と山の豊かな自然環境に囲まれている。</li> </ul>
--	--	---

**本校の総合的な学習の時間の目標**

探究的な見方・考え方を働かせ、生き方について広く深く視野を広げるとともに、故里を知り、つながり、貢献する生き方と方策について横断的・総合的な学習を行うことを通して、主体的・協働的に地域社会に関わろうとする意欲と態度（志）と、課題の解決に必要な知識や技能を身に付け、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力（力）を育成する。

**実社会における問題解決に向かう探究の過程（志+力→挑戦）**

感謝  
貢献

WITHの力

**志**  
こころの力

責任  
使命

挑戦  
探究

知識  
技能

STOCKの力

**力**  
かなえる力

情報収集  
判断

INPUTの力

思考  
表現

OUTPUTの力

志を抱く

価値のある問題（ひと・もの・こと）に会い、目標（課題）を定める。

準備をする

目標達成への道筋とすべ（必要な知識・技能）を考え、課題解決の力を鍛える。

挑戦する

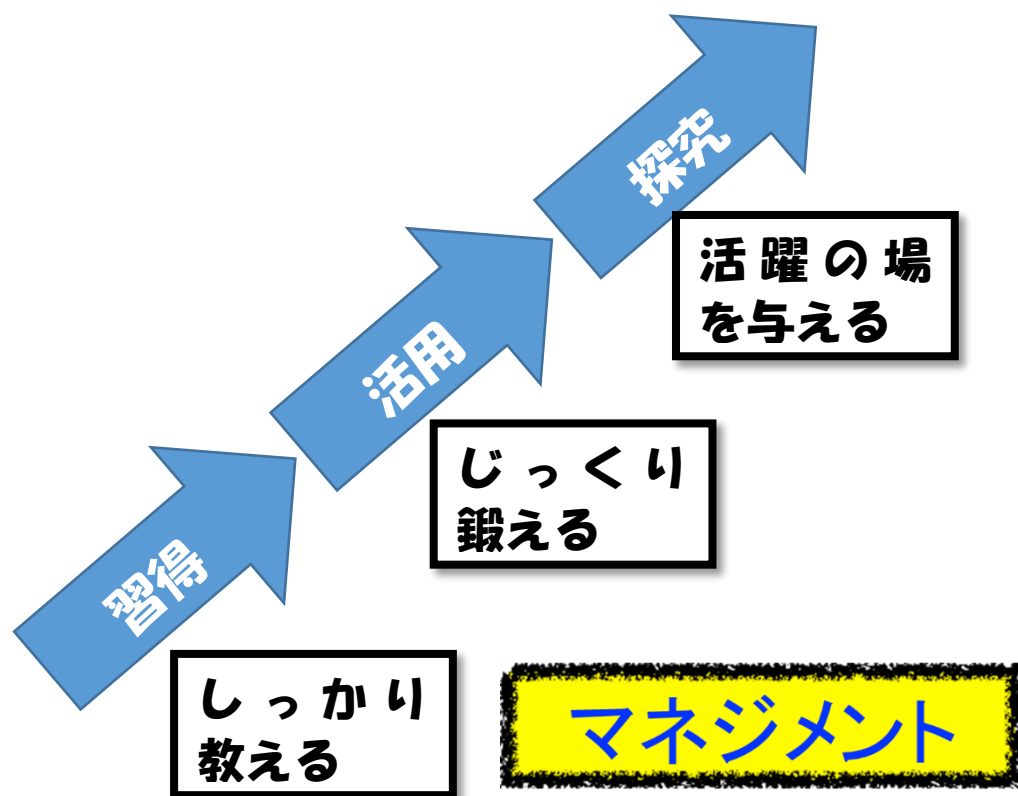
他者と協働し、いろいろな人の意見や能力を生かし、絆を築いていく中で、課題解決に挑む。

育てようとする資質・能力		目指す学びの姿（評価規準）	
力	問題解決に向かう探究の能力	知識・技能	学んだ知識や技能を習得し、活用することができる。
		情報収集・判断	尋ねたり、調べたり、試したりして、必要なものを見つけ、選ぶことができる。
		思考・表現	しっかりと考えて、学びを自分のものにして表現することができる。
志	主体的・協働的に地域社会に参画しようとする意欲と態度	協力・協働	他の人と協力し、いろいろな意見やそれぞれの力を生かすことができる。
		感謝・貢献	感謝の気持ちを持って、自分なりに貢献することができる。
		責任・使命	自分の役割や使命を考え、すべきことを行うことができる。
	挑戦・探究	夢や疑問、できないことを大切に、見通しを持って粘り強く学び続けることができる。	

単元	生き方学習	ふるさと学習
探究課題	<p style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px;"><b>不かく尋ね たかく志す</b></p> <p style="text-align: center;">広く深く視野を広げ、不を覆す高き志を胸に</p>	<p style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px;"><b>温故挑新</b></p> <p style="text-align: center;">故里を温め、新しきに挑戦しよう</p>
中期	<p style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px;"><b>魅力的な生き方さがし</b></p> <p>「運命の本ヒプリオトーク」を通して、地域に貢献した志とそれぞれの先人の生き方の魅力を知るとともに、人間の生き方について広く深く視野を広げ、主体的な自分の生き方を模索する。</p> <p style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px; margin-top: 5px;">自分を創る</p>	<p style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px;"><b>落語貢献 PROJECT</b></p> <p>「人を楽しませることのできる新しい自分づくり」という目標に向けて古典芸能（落語）の習得に協働的に取り組み、出前落語等で地域の方に楽しんでもらえる貢献活動に挑戦することを通して、地域に貢献する志と課題解決の力を高める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: small; margin-top: 5px;"> <p>研究する。改善の方案を科学的に探究する。</p> <p>地域への先人・先輩とつながり、協働して環境衛生の</p> <p>数か所研究PROJECT</p> </div>
後期	<p style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px;"><b>運命の仕事に出会うために</b></p> <p>「運命の本ヒプリオトーク」を通して起業家や、いろいろな職業で活躍する先人の生き方や考え方を知るとともに、広く深く職業的視野を広げ、主体的な自分の職業的自立へ向けての考え方を模索する。</p> <p style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px; margin-top: 5px;">I 「FOR THE NEXT STEP」</p> <p>様々な進路先について広く深く視野を広げることを通して、よりよい進路選択へむけて自立の態度と支援的環境づくりを実現する。</p> <p style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px; margin-top: 5px;">II 「自己PR大作戦」</p> <p>将来に向けて自分の良さや志を伝える表現力を磨くことを通して、社会的自立にむけて、主体的な自分の生き方について考えを深める。</p>	<p style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px;"><b>広南起業 PROJECT</b></p> <p>「起業による社会貢献」という目標へ向けて、職場体験と故里を題材にした起業による社会貢献活動を通して、地域社会に貢献する志と課題解決の力を高める。</p> <p style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px; margin-top: 5px;"><b>未来貢献 PROJECT</b></p> <p>故里の未来に貢献するための課題を設定し、課題解決へむけたメッセージを創作劇という総合的な表現活動を通して地域に発信するPROJECTの取組を通して、各教科で学んだ知識・技能を総合的に発揮しながら、主体的に地域社会に参画する志と協働的に課題解決に向かう力を高める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: small; margin-top: 5px;"> <p>地域の匠に学ぼう</p> <p>日本の優れた伝統文化を地域の方から学び、伝えることのできる力を身に付ける。</p> </div>

指導方法	学習の評価	指導体制
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教師はファシリテーターとして、生徒の主体性と協働的な態度を高める支援を見通しを持って行う。</li> <li>・ 地域ボランティアや地域の人材を有効に活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒の課題や学習計画、探究の過程を振り返るポートフォリオ評価</li> <li>・ ルーブリックによる自己評価・他者評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全教職員が協働し、学年組織を中心に指導を進める。</li> <li>・ 地域の人材や外部団体と連携し、協働指導体制を構築していく。</li> </ul>

## II 「学びがい」向上部会



### ミッション

小中9年間を見通したカリキュラムマネジメント

### H30 研究テーマ

学習内容の学びがい(学ぶ価値・学ぶの質)を高める工夫

## 目 次

### Ⅱ 「学びがい」向上部会

#### 〔挑戦問題から始まる課題発見・解決学習〕

教科における課題発見・解決学習の単元づくり	Ⅱ－ 2
総合的な学習の時間における課題発見・解決学習の単元づくり	Ⅱ－ 4
貫きカリキュラム	Ⅱ－ 8

#### 〔Sループリック〕

Sループリックの活用	Ⅱ－19
------------	------

#### 〔活躍・挑戦の場づくり〕

乗り入れ授業の価値	Ⅱ－30
地域の人材活用	Ⅱ－32
I C Tの活用	Ⅱ－33

今回の挑戦問題は「灰ヶ峰は噴火するか？」です。あなたはどう思いますか？

あの山が噴火したらたいへんですね！  
でも、今の自分には、それを考える知識も技能もないからわかりません

そうですね。この単元では、火山についての知識や岩石がどのようにしてつくられるかを学びます。この単元がおわることには、みなさんは、もう灰ヶ峰ばかりでなくどんな山もそれが火山かどうか判断することができるようになりますよ。

そんなことができるようになるのか。よしがんばるぞ！

## 挑戦問題から始まる課題発見解決学習

挑戦問題の提示によって

「解決すべき価値のある問題だけど、今の自分には解決できない、解くことができない」現状を自覚させるとともに、「この学習をすれば、この問題が解決できるようになる」見通しを示すことで、児童・生徒は学びへの意欲を高め、志を抱く（目標を定める）ことができる。

また、問題解決へ向かう準備（自分が取り組むべき課題を発見し、それらのひとつひとつを解決しながら問題解決に必要なすべ《知識・技能》を習得していく課題解決の）過程を通して、問題解決の力が鍛えられ、その解決への見通しは生徒にとって確かなものになっていく。

そして、必要に応じて他者とも協働し、いろいろな人の意見や能力を生かし、絆を深めたりしながら問題解決へ向かう挑戦の経験を積み重ねることで、児童生徒は、実社会における問題解決に向かう態度と能力を身に付けることができる。

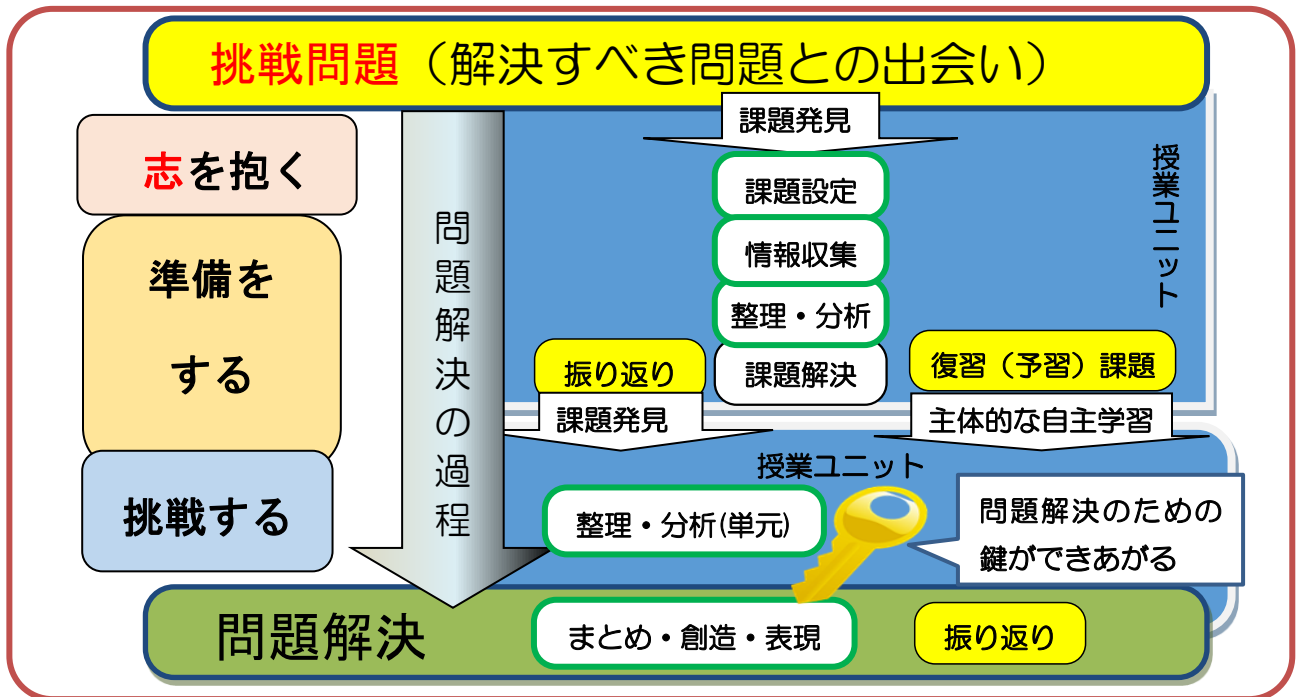
岩石の組織や色をみて、その岩石がどうやってできたか鑑定できるようになった。そうか！もし火山岩だとわかれば…。そうか！この知識と技能を極めれば、灰ヶ峰が火山かどうかわかるかもしれない！

最初は、こんな問題わかるはずはないと思っていたけど、学習内容を活用すれば、灰ヶ峰が火山かどうか、自分なりに推論できるようになった。また、みんなと議論することで考えが深まってよりよい推論に修正することができた。

こうやっていろいろなことを学んでいくことで、いろいろな問題を自分が解けるようになっていける。これからも、学ぶことを大切にしていこう！

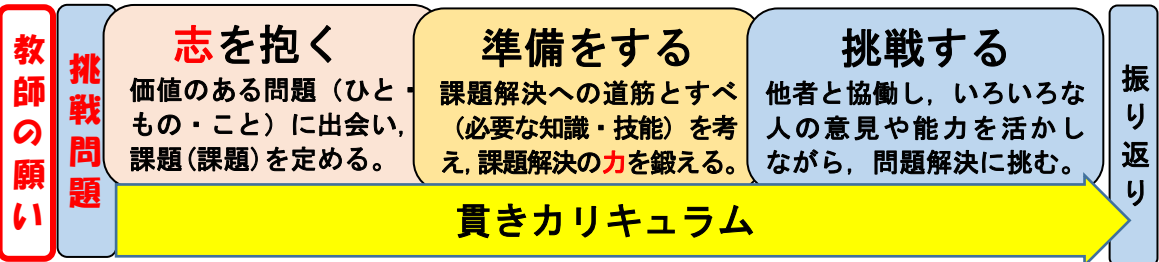
# (1) 教科学習における課題発見・解決学習の単元づくり

## 単元モデル図



### 1 学びがいのある挑戦問題から始まる課題発見解決学習の流れの設定

取組の5つのポイント (H30)



#### 2 振り返り時間(5分)の充実

- ・ 自分自身で学んだことを整理させることで学習の定着状況の把握
- ・ 学習から生まれるさらなる問い(課題発見)(以降の授業の課題設定に生かす)

#### 3 自学自習への意欲を引き出す予習課題・復習課題の設定

- ・ 予習課題(次の時間で活躍させるための準備) 個人思考・情報収集
- ・ 復習課題及び単元末課題(学んだことを定着・活用・発展させる課題)

#### 4 ワークシート・ノート指導の工夫

- ・ 指導方法(問題解決の過程を踏まえた指導)の共有及び改善

#### 5 評価の工夫

- ・ 広南学園の資質・能力のSルーブリックを活用した教科の目標に準拠した評価活動

実践例 理科 第1学年

単元名

「火山活動と火成岩」

挑戦問題 「灰ヶ峰は火山か？」

本単元で育成するおもな資質・能力

知識・技能

思考・表現

協力・協働

挑戦・探究

単元の目標

火山の形や活動の様子及びその噴出物を調べ、それらを地下のマグマの性質と関連付けてとらえるとともに、火山岩と深成岩の観察を行い、それらの組織の違いを成因と関連付けて捉えることができる。



# 挑戦問題「灰ヶ峰は火山か？」

志を抱く

課題設定

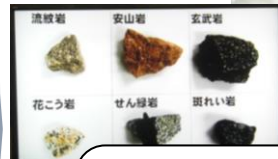
火山の特徴	爆発的な噴火	比較的おやかな噴火
もともなるマグマ	つりがね型	富士山
岩石の色あい	ついで	流紋岩
黒っぽい鉱物の割合		
無色鉱物	セキエイ	
有色鉱物	黒っぽい鉱物	

新しい知識・考えを習得した喜び

(生徒の声)  
ほんとうに火山だったらどうしよう？  
(予想) 火山だと思う 4人  
火山だと思わない 15人  
火山かどうかを見分けることが自分のできるようになるのだろうか？

準備をする

情報収集



(生徒の声)  
火成岩を鑑定することであるいろいろなことが推理できるようになった！

喜び  
活用できた

整理・分析

(生徒の声) 火山のことがいろいろとわかった！！

問題解決の鍵

## 前時の振り返り(課題解決に必要なものは何?)

課題発見

課題発見

課題発見

灰ヶ峰の頂上の石 A

ふもとの石 B

周囲の様子が分かるもの



鑑定結果

岩石A 流紋岩

鑑定理由 白、ほく、女王状組織だったから。

鑑定結果

岩石B 花こう岩

鑑定理由 岩石の組織が花こう岩の組織と一致していたから。

(生徒の声)  
問題解決できたかも！？

思考・表現

推論

振り返り

学んだことを役立てることができた喜び

協働して問題解決

個人レポートの作成

振り返り

(生徒の声) 火成岩の知識で小学校の時に解けなかった謎が解けるか

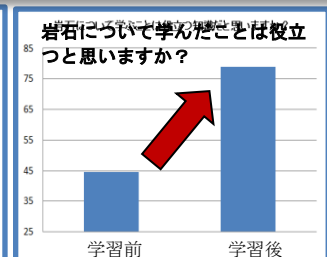
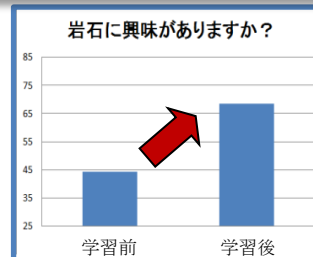
課題発見

# 挑戦問題「マロンストーンズの謎に挑戦Ⅱ」

成果と課題  
本単元の

地学領域タイプⅡ	H26	H27
県平均通過率(%)	44.7	45.5
本校生徒の通過率	28.6	59.1
県平均との差	-16.1	+13.6

広島県「基礎・基本」定着状況調査より



学習前後の生徒の「主体的な学び」の変容(生徒アンケート H27 より)

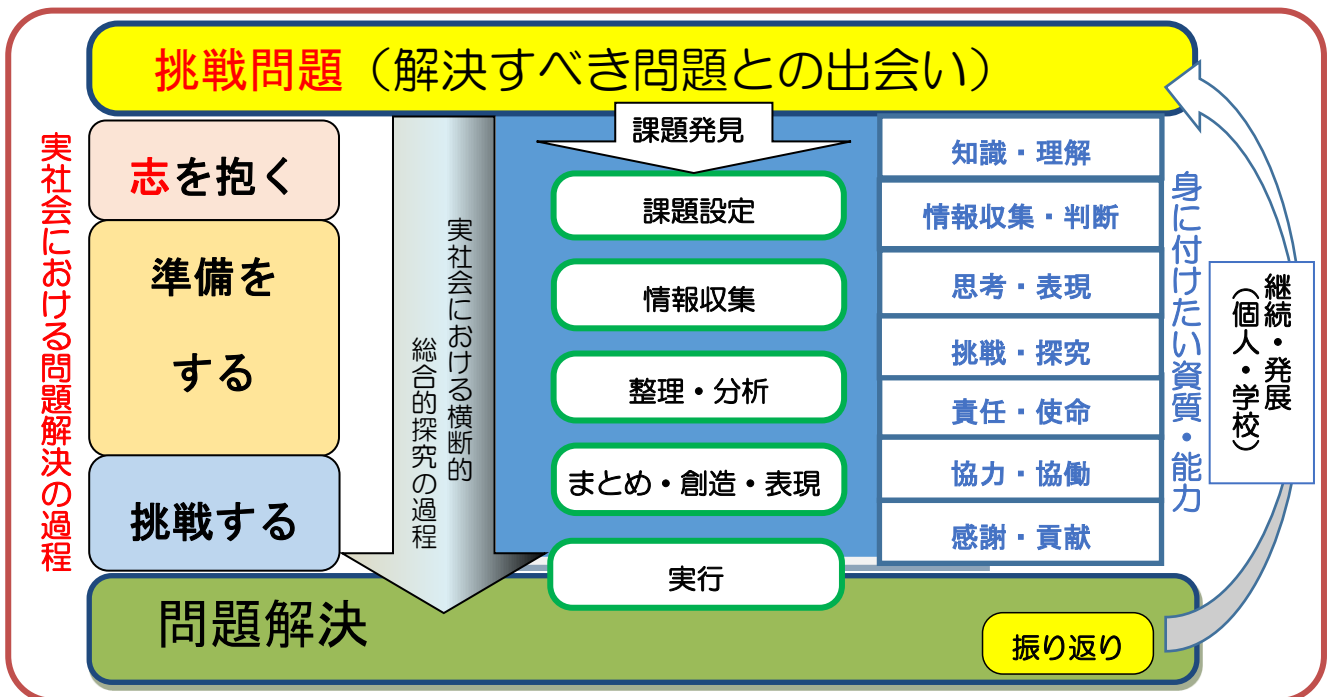
## (2) 総合的な学習の時間における課題発見・解決学習の単元づくり

### 広南中学校の総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、生き方について広く深く視野を広げるとともに、故里を知り、つながり、貢献する生き方と方策について横断的・総合的な学習を行うことを通して、主体的・協働的に地域社会に関わろうとする意欲と態度（志）と、課題の解決に必要な知識や技能を身に付け、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力（力）を育成する。

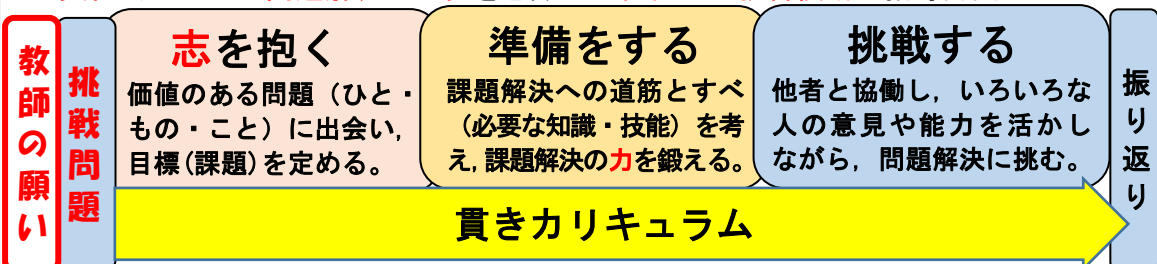
単元	生き方学習	ふるさと学習
探究課題	<b>不かく尋ね たかく志す</b> 広く深く視野を広げ、不を覆す高き志を胸に	<b>温故挑新</b> 故里を温め、新しきに挑戦しよう <地域との交流>

### 単元モデル図



### 取組の5つのポイント (H30)

- 1 **学びがいのある挑戦問題の設定**  
 <生き方学習> 「不かく尋ね高く志す」  
 ・人間の生き方について広く深く視野を開くきっかけとなるもの  
 <ふるさと学習> 「温故挑新」（故里を温め、新しきに挑戦）  
 ・体験を通して故里に感謝の気持ち・貢献する喜びを育てることができるもの
- 2 **実社会における問題解決の過程**を意識した**総合的・教科横断的**指導計画



- 3 より深い継続的な取組にするための工夫  
 <生き方学習> 学んだことを実践していけるもの  
 <ふるさと学習> 学校の伝統として先輩の取組をベースに継続・発展していけるもの
- 4 ワークシートづくり  
 ・指導方法（探究の過程を踏まえた指導）の共有及び改善
- 5 評価の工夫  
 ・ポートフォリオ 広南学園の資質能力ルーブリックの活用

# 総合

ふるさと  
学習

## 「蚊が〇研究PROJECT season2」

挑戦問題 「蚊の被害を〇にする」

### 単元の目標

- ・地域の先人の取組を基盤とした学校の伝統的研究活動に関わる。
- ・先輩の研究成果をもとに、蚊の撲滅に向けての科学研究に協働的に関わる。
- ・郷土をより暮らしやすくするために自分が何をすべきか考え、挑戦しようとする。

## 挑戦問題 「蚊の被害を〇にする」

(生徒の声)  
「蚊の被害は〇にできると思いますか？」  
(予想) 可能だと思う 2人  
不可能だと思う 16人  
どちらともいえない 2人

SEASON 3へ 継続・発展  
科学者として新しい価値を生み出す体験



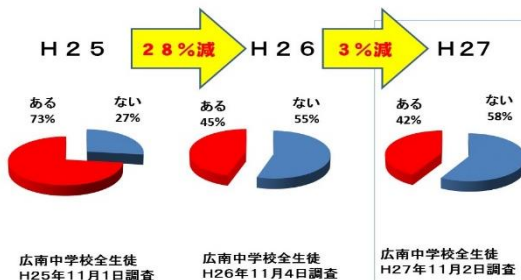
実行(有志で科学部として地域の方と協働して研究を深める)

問題解決へ向けて一步前進する

振り返り



Q あなたは今年、学内で蚊にさされたことはありますか？





# 「伝統文化を受け継ごう」落語に挑戦！

**挑戦問題** 「たくさんの人を笑顔にできる新しい自分づくりに挑戦しよう！」

実社会における横断的・総合的な探究の過程（志+力→挑戦）

## 志を抱く

価値のある問題（ひと・もの・こと）に出会い、目標（課題）を定める

## 準備をする

課題解決への道筋とすべ（必要な知識・技能）を考え、課題解決の力を鍛える。

## 挑戦する

他者と協働し、いろいろな人の意見や能力を生かし、絆を深めていく中で、問題解決に挑む。

## 振り返り

成果と課題を踏まえ、新たな志を抱く

### 単元目標

「人を楽しませることのできる新しい自分づくり」という問題解決へ向けて古典芸能（落語）の習得に協働的に取り組み、出前落語等で地域の方に楽しんでもらえる貢献活動に挑戦することを通して、地域に貢献する志と課題解決能力の資質・能力を高める。

### 挑戦問題の提示

## たくさんの人を笑顔にできる新しい自分づくりに挑戦しよう！

### STEP 1 「落語の魅力を知ろう！」

落語は一人のできる芸なので、自分の特技にできるのではないかなと思いました。練習して完成させるのがとても楽しみです。（生徒感想より）

衣笠さんは、銀行員時代から落語で社会貢献されていた。2年生の先輩もそれに習い、出前落語で地域貢献された。その伝統を引き継いで自分もがんばりたい。

### 課題発見

今の自分にはあんな表現力もないし、人前でたった一人で演じる度胸もない。

### 課題の設定

落語の表現の技を学び、表情豊かに相手を楽しませることのできる表現力を身に付ける。

## 志を抱く

## 準備をする

課題の設定

情報収集

整理・分析

### STEP 2 「落語の技を学ぼう！」

### 他教科との関連

国語科における古典の世界や古典作品についての学び

教えてもらうのではなく「技を盗む」という気持ちで情報収集している

### 知識・技能

### STEP 3 「落語の技を磨きあおう！」

### 情報収集・判断

彼のように目線を大切にすると確かにちがった人間がしゃべっているように伝わる。僕も取り入れてみよう。

### 思考・表現

どうしたら、ソバをますように食べているようすが伝わるだろう？

### 協力・協働

僕の落語を見ていて気付いたことを教えて！

表情が硬いよ。もっと表情を豊かに！

### まとめ・創造・表現 I

広南劇場落語発表者選考会





挑  
戦  
す  
る

まとめ・創造・表現Ⅱ

STEP 4 「落語の学びを生かして広南劇場で貢献しよう！」

落語発表者

幕間発表者

さらに技をきわめて、クラスの代表として頑張るぞ。

協力・協働

落語で身につけた力を活用して幕間の出し物や応援の工夫をして会場をあたためるぞ。



いよっ！  
広南亭こたつ！



実行

一芸グループ

ダンスグループ

手品グループ

STEP 5 「出前落語に挑戦しよう！」

小学生は楽しいと思うポイントがちがう。不思議だ。

地域のおいちゃん、おばあちゃんに笑ってもらい、長生きしてもらおうぞ！

呉市中の人を楽しませるぞ！



広南中1年、期待の星！  
広南亭 あたりだ

小学校全学級へ

感謝・貢献

ふれあいサロンへ

呉市文化ホールへ

小学校とのつながり

地域とのつながり

振り返り

この単元で身に付ける資質・能力ルーブリック

H28 広南中総合学習の時間ポートフォリオ

未来を創る

温故知新

不かく尋ねたかく志す

不かく尋ねたかく志す

不かく尋ねたかく志す

学年教師による評価

自己評価

自分が成長したと思うところは、はずかしがらずに堂々と演じることができたということです。最初は落語をするのがはずかしくて、はずかしそうに落語をしていました。でも、練習をするうちにはずかしさも次第にとけてゆき、文化祭では堂々と落語を演じ、たくさんの方々の笑顔をみることができました。

資質・能力及び態度	評価基準	評価
① 情報収集力	A 落語の細かい動作や話し方のコツを覚えることができた。 B 落語を覚えることができた。 C 落語の内容を理解することができた。	A
② 思考力・表現力	A 落語の技を自分のものにして、上手に演じることができた。 B 落語の技を取り入れて大きな声ではっきりと演じることができた。落語の技を理解することができた。	A
③ 挑戦心	A 落語を覚え、どうせなら文化ホールで演じてみたいと思う。 B 落語を覚え、人前で演じることにも挑戦したいと思う。 C 落語を頑張って覚えたいと思う。	B
④ 協働性	A 友だちだけでなく、先生や落語家からの助言を求め、よりよい落語にしようとしている。 B 友だちの演技を参考にしたり、アドバイスをし合うことで、よりよい落語に高めあおうとしている。 C 友だちと教え合うことで、落語を覚えようとしている。	A
⑤ 感謝・貢献	A 落語を通して、大勢の人を笑顔にできた。 B 落語を通して、大勢の人を笑顔にしようとした。 C 落語を通して、大勢の人を笑顔にしたいと思っている。	A
⑥ 責任感・使命感	A 落語の良さを大切にしようとしている。 B 落語の良さを大切にしていきたいと思っている。 C 落語の良さを理解している。	A

※Aのうち、特に優れている場合はSとする。Cに満たないものはDとする。  
(生徒の「自己評価」および「振り返り」例)

自己評価

私は「はずかしい」とも、その意味がある人だ」と最初は思...  
文化祭で落語をやる。落語は人を笑顔にさせる。という意味があること...  
を通して、自分も落語は日本の伝統なので、これを大事にしたい。  
日本の伝統の力をしっかりと理解できたといい、堂々と演じることができた。

成果と課題

「資質・能力」の姿容

	知識 技能	挑戦 探究	情報収集 判断	思考 表現	協力 協働	感謝 貢献	責任 使命
広南小 (小6時)	+21	+11	+28	+12	+17	-	+22
広南中 (中1時)	+18	+27	+46	+38	+25	+29	+22

(単位:ポイント)

「基礎・基本」定着状況調査および全国学力・学習状況調査の児童・生徒の学習生活アンケートの項目を活用し県平均および全国平均との差で姿容を見取った。ただし「感謝・貢献」の指標はH27 全国学力・学習状況調査(小学校)に無いので非表示である。

(生徒の「自己評価」及び「振り返り」より)



今回、みなさんは、これまでに習った知識を活用して、ほんの少しこのマロンストーンの謎を解明しました。残った謎は中学校に行って解明してください

小学校から中学校へつなぐ(学校段階間接続型)

さて、なぜ聖徳太子がさしがねを持っているのでしょうか？

教科横断型

この挑戦問題は技術の時間で解決してください



技術科へつなぐ

## 貫きカリキュラム

貫くことで学びが深まり広がる

英語落語に挑戦!



英語(中1)



くれしん笑芸会(地域行事)

自治会お花見会(地域行事)



ふれあいサロン(地域行事)



総合的な学習の時間(中1)



広南劇場(学校行事)



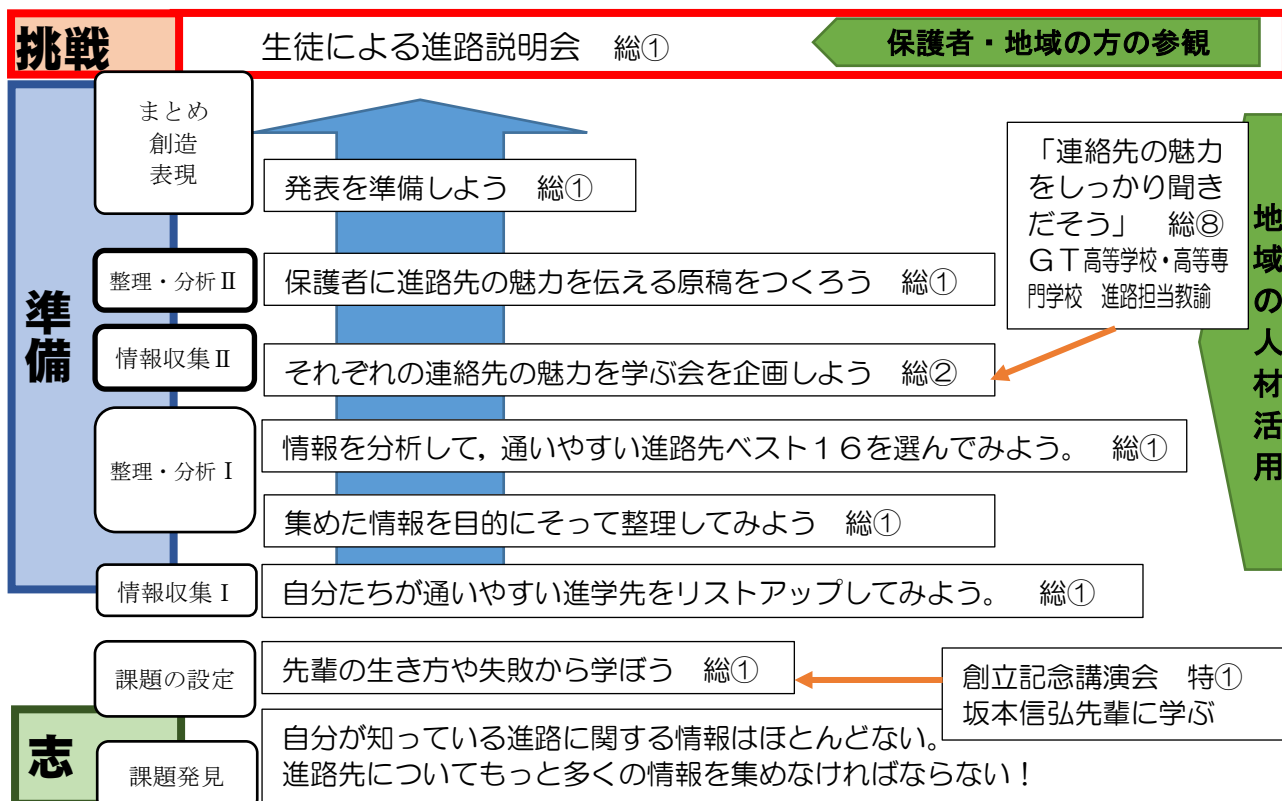
教科横断・実社会接続型



小学校(学活)

教科横断・社会接続型  
 (総合的な学習の時間を出発点に(中3))

先輩の経験を参考にして、よりよい生き方探しに向け仲間と協働して情報収集、整理・分析することを通して、進路に対する視野を広げるとともに、得られた情報を保護者やクラスメートへ発信するためのプレゼンテーションやスピーチを通して、各自の進路選択に向けての自立的な態度と支援環境を向上させる活動をマネジメントした。



**挑戦問題** みんなによるみんなのための道探し

**教師の願い** 仲間と協働して情報収集し、それを保護者とも共有することで進路先に対する負の先入観を無くし、よりよい生き方探しをしてほしい。



単元接続型

(中1国語+中2国語+中3国語)

挑戦問題「説得力のある意見を伝えるための『虎の巻』をつくろう」を提示し、中学校3年間を通した書く力、話す力を身に付け、思考力・表現力を完成させる一つの冊子を作成する。1年から3年まで「書くこと」の項目で、それぞれ問題解決に必要な知識や技能を習得し、課題を解決するために、分析した情報を解釈して、論理の展開を工夫し、説得力を高める活動をマネジメントした。

志

挑戦問題 「目的や相手、時間を意識してスピーチしよう。」(国語 中3)

虎の巻 第3弾の作成

挑戦

振り返り

社会には、他にどのようなグリーゼーンの問題があるか知って、考えたい。立場の違う人とも意見交換をして、少しでもよりよい社会になるように考えていきたい。

まとめ・創造・表現

交流しながら、説得力のあるよりよい表現を用いたポスターを作成し、相手の意見を変えるポスターセッションに挑戦する。(1・2年合同国語)

準備

整理・分析

社会にあるグリーゼーンの問題について、自分の意見を持ち、反対意見を想定して、説得力のある資料を集め、効果的な表現方法を練る。

情報収集

「哲学的思考のすすめ」、「フロン規制の物語」から、深く物事を考える方法と、反対意見の人の考えを変える効果的な表現方法を見つけ、「虎の巻第2弾」としてまとめる。

課題の設定

虎の巻 第2弾の作成

志

課題発見

社会にある「グリーゼーン」の問題について、相手の意見を変えるためには、どのような意見文を書けばいいだろうか。

挑戦問題 「相手の意見を変える、ポスターセッションをしよう。」

挑戦

振り返り

もっと良い意見文を書くために、「意見文虎の巻」の足りない部分を見つけ、さらに充実させて、よい意見文を書きたい。

まとめ・創造・表現

レポートを読み合い、友達の良い点、分かりにくい点を指摘し、改善点をまとめよう。

準備

整理・分析

集めた資料を整理・分析し、段落を組み立てて、図表を用いてレポートを作成する。

情報収集

良い意見文とは何かの条件を見付け、「虎の巻第1弾」としてまとめる。説得するための資料を、書籍、インターネットのサイトから収集する。

課題の設定

虎の巻 第1弾の作成

志

課題発見

「地球温暖化はでっちあげだ。」という某国某大統領を説得するための意見文を書きたい。説得力のある意見文とはどういう文章だろう。

挑戦問題 「某国某大統領を説得するための意見文を書こう。」

教師の願い

社会生活に関わる疑問や課題について、目的に応じたさまざまな方法を用いて必要な情報を分析し、読み取る能力を高めてほしい。また、課題を解決するために、分析した情報を解釈して、論理の展開を工夫し、説得力を高める方法を「虎の巻」にまとめ、さらに友だちとの意見交流で、互いの考えを評価し、自分の考えを深めたり広げたりしようとする生徒を育てたい。

教科横断・社会接続型  
(各教科の学習を通して)

社会科の学習を通して、現代の日本の特色や社会の見方や考え方を学習した。これらの学習を生かして、持続可能な社会の観点からより良い社会をつくって行くためにはどうすればよいかを、「もし自分が総理大臣になったら」というテーマでどのような政策に取り組みばよいかをレポートにしてまとめる。

**挑戦**

社会(中3) 「もし自分が総理大臣になったら、どんな日本にしたいか。」をレポートにまとめよう。

**準備**

総合(中3) 未来貢献プロジェクト

家庭(中3) 私たちの成長と家族や周囲の人々

国語(中2) 意見文の書き方2

家庭(中2) より良い消費生活をめざして

家庭(中2) 持続可能な社会をつくる

理科(中2) 地球と私たちの未来のために

国語(中1) 意見文の書き方1

**挑戦**

社会(小6) 「世界の平和と発展のためにこれからの日本、自分ができることを意見文にまとめよう」

**準備**

社会(小6) 新しい日本 平和な日本へ

社会(小6) 世界の未来と日本の役割

**志**

挑戦問題 もし自分が総理大臣になったら、どんな政策を行うか。

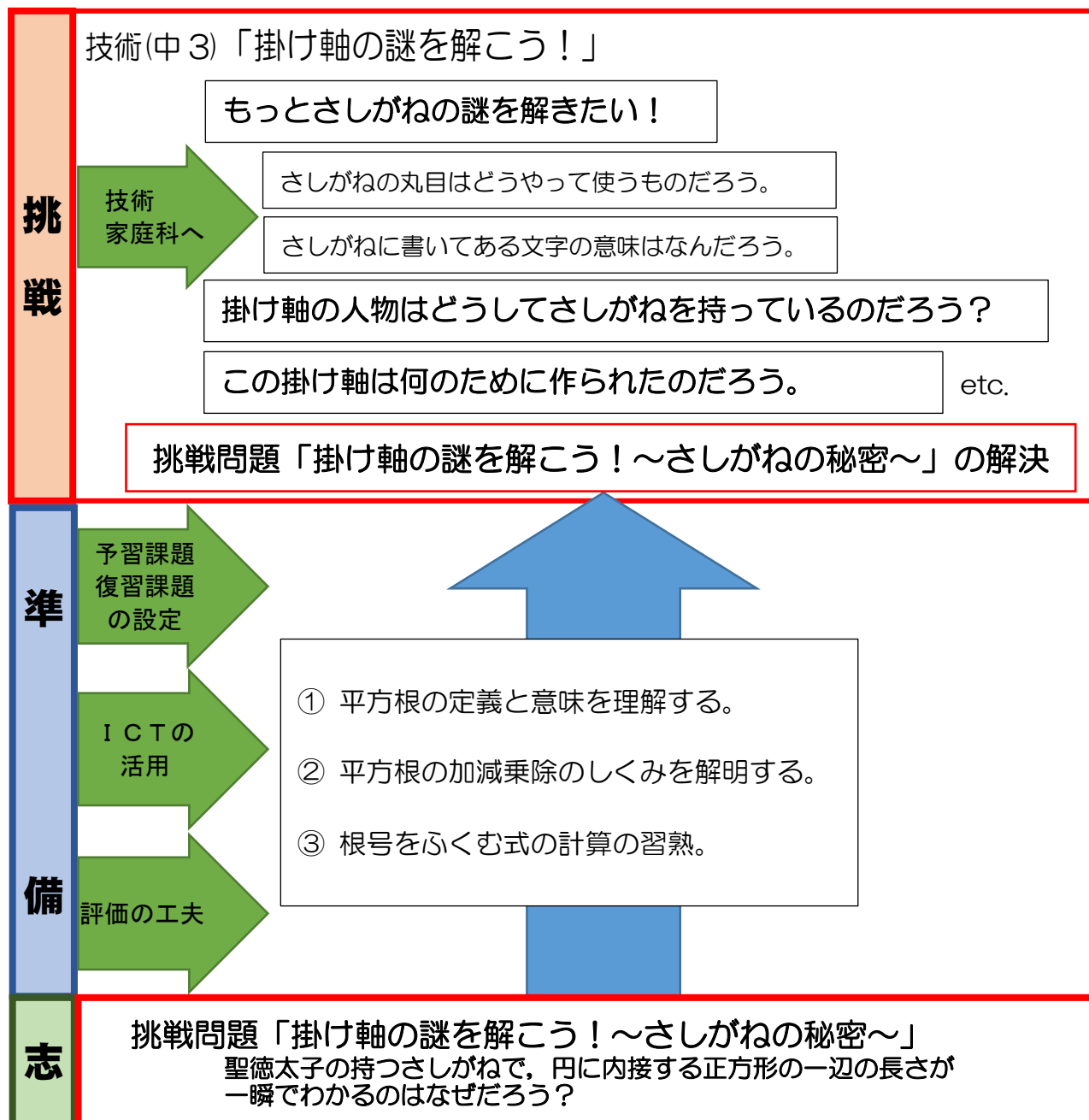
教師の願い

自分たちの住む国をより良くするための方策を考えることができる



教科横断型  
(数学+技術家庭科)

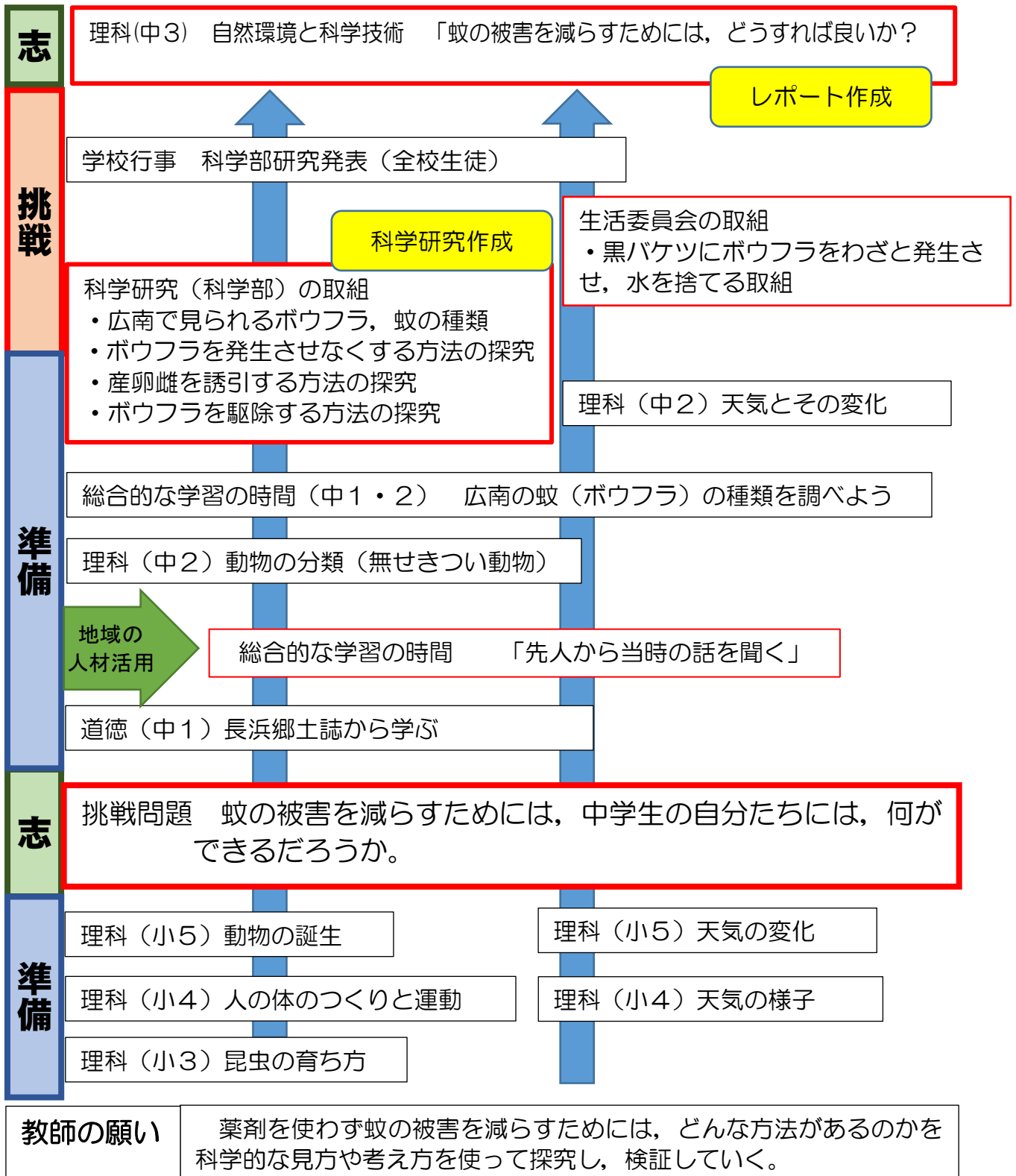
挑戦問題「掛け軸の謎を解こう！」で抱いた志を叶えるために、「平方根」の単元で知識・技能をしっかりと身につけ、具体的な場面での数量やその関係について数の平方根の有用性を実感する経験をさせ、掛け軸のさしがねの角目の仕組みを協働して解明することを通して、さらにさしがねの謎や掛け軸の人物（聖徳太子）とさしがねの関係（日本古来の建築技術）の探求への意欲を高めることができるカリキュラムにマネージメントした。



教師の願い	平方根に関する知識や技能を身につけ、掛け軸の中のさしがねの角目の仕組みを協働して解明し、具体的な場面での数の平方根を用いることの必要性を実感し、さらに先人の知恵を深く探求する姿勢を育成していく。
-------	---

教科横断・学校間接続型  
(小中理科・総合的な学習の時間)

広南中学校のある広南地区は、かつて戦後の環境衛生改善運動の中、全国から注目される大きな成果をあげ、「蚊とハエのいない町」として厚生大臣賞を受賞した歴史をもつ。先人たちの偉業をヒントに再び、「蚊のいない町をつくる」という挑戦を、全校で行い、その中で、課題を発見し、その解決に向けての探究活動をマネジメントした。



単元接続型  
(理科小6+理科中2)

最初に、燃焼しているマグネシウムが二酸化炭素で充満させた集気瓶中でも継続して燃焼する事実に向き合わせ、その謎を解きたいという志を抱かせる。そこで「なぜ、酸素が無い状況下で燃焼を続けるのか」等、いろいろな疑問を発見させながら、挑戦問題「二酸化炭素中でもものが燃えるしくみを解明しよう！」を提示する。挑戦問題を受け、この問題を解決するためには、物質が燃えるときにどのような化学変化が生じているかを見出し、それらの変化を原子や分子の見方、考え方で予測することができるようになる力が、問題解決に必要な準備であることに気付かせる(課題発見)。そして、金属の酸化物から酸素をとって純粋な金属を取り出すには、その金属よりも酸素と結びつきやすい別の物質と酸素を反応させ、酸化物を還元することを見出させる。さらに、このときの化学変化では「酸化」と「還元」が同時に行われていることを見出させ、問題解決の力を育てる。最後に、挑戦問題を解かせることで問題解決を図り、発展問題として、生活に結びついた問題などの解明へもつなげたいと考える。

志

もっと難しい化学変化の解明についても、原子・分子の見方、考え方をを使って挑戦したい！

挑戦問題 アルミニウムを使って酸化鉄を還元する化学反応式に挑戦しよう！

単元の  
振り返り

原子モデル移動させて考えると、単元の内容がとても分かりやすい。いろいろな化学変化を、根拠を持って予測できるようになったので、楽しい！

挑戦

二酸化炭素中でもものが燃えるしくみの解明に、原子・分子の見方、考え方を生かして挑戦してみよう！ 理①

準備

思考ツールの活用

炭素以外の物質で酸化物を還元するには 理①

思考ツールの活用

金属の酸化物から純粋な金属を取り出す 理②

燃焼のしくみを原子・分子レベルで解明する 理①

ICTの活用

鉄が燃えるときの变化 理①

物質が燃えるときの变化 理①

ろうそくや木が燃えるときの变化 理科小6

化学反応式  
理科中2

志

二酸化炭素の中で、物質Xが燃えている?! 二酸化炭素中でも燃える物質があるんだ! 物質Xから酸素が発生しているのだろうか?

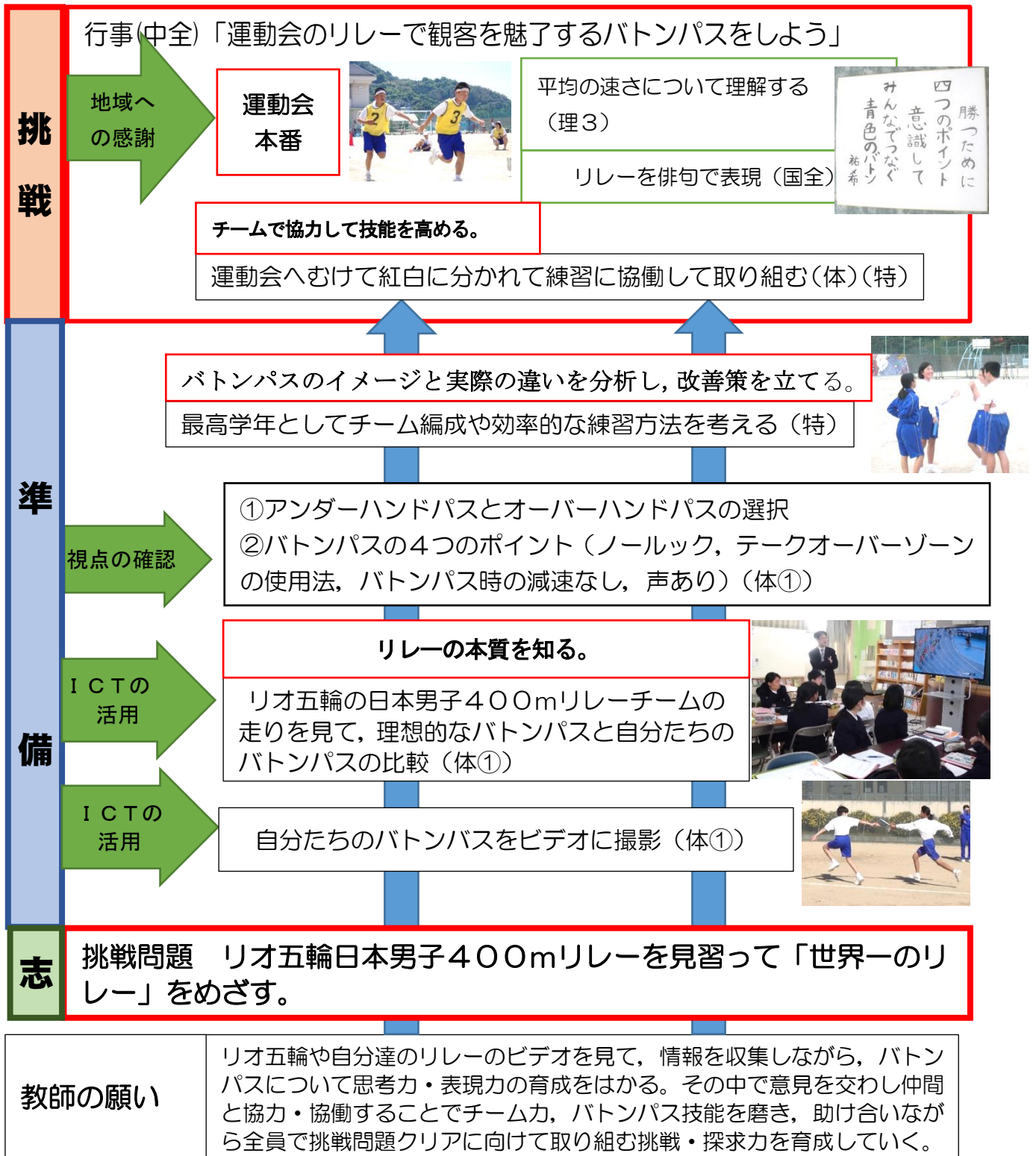
挑戦問題 二酸化炭素中でもものが燃えるしくみを解明しよう！

教師の  
願い

未知の化学反応でも、実験結果や原子や分子の見方、考え方を活用して、化学反応式を根拠を持って推論できるようになってほしい。

教科横断型  
(保健体育+理科+国語)

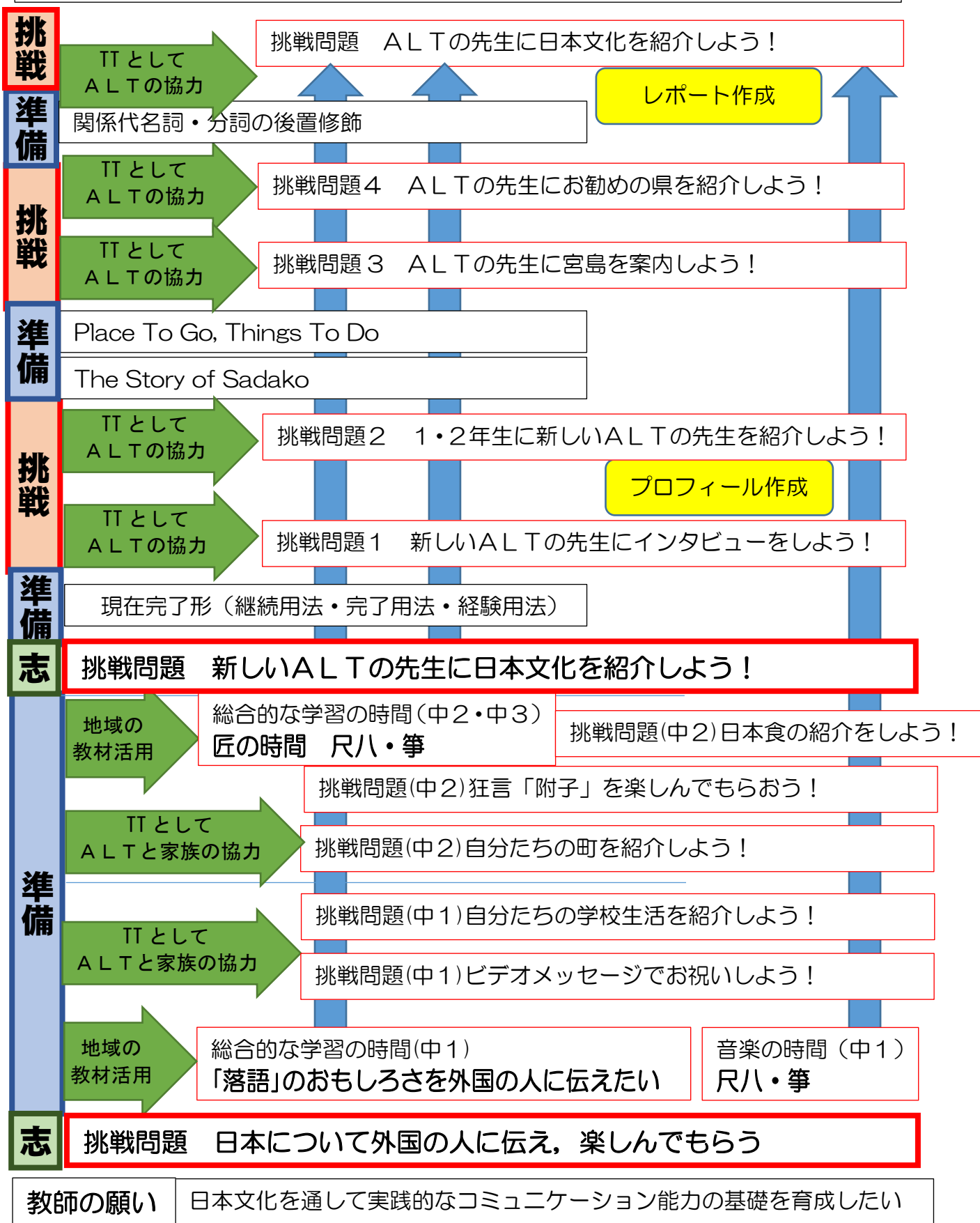
挑戦問題「学園リーダーとして、運動会のリレーで自分のチームを勝利に導こう」で抱いた志を叶えるために、ICTを活用し、リオ五輪男子400mリレーチームと自分達のリレーのバトンパスを比較し、どうすれば、スムーズにバトンパスができるか考え、実践した。運動会という場を利用することで、発表する場をもって、モチベーション高めることができるカリキュラムにマネジメントした。





教科横断型  
(英語+総合的な学習の時間)

ALTの先生や外国の人に日本文化について紹介する挑戦問題を1年生次から系統的に設定し、実践的なコミュニケーションの場面で習得した知識・技能を活用する喜びを、次の探究活動への意欲・関心につなげるようにした。



単元接続・学年段階間接続型  
 (総合的な学習の時間 (3年) + (4年))

前学年の3年生終了時に4年生から、「生ごみリサイクルでエコで元気な町づくり」のプレゼンテーションしてもらった。野菜作りや肥料についていろいろと教わったが、確かなことなのか確かめたいという思いをもっていた。前学年からの課題提示を受け、よりおいしい野菜作りに臨み、さらによりよい活動を行っていくことを通して、課題を見付け、追究していく資質や能力を育て、自分たちができることを考え実行していく活動に取り組んでいけるカリキュラムをマネジメントした。

**志**

最高の土には肥料が必要なことが分かった。家庭や給食室から出る生ゴミも肥料となることから、これを活用すればゴミが減らせるのではないかと確かめたい。

**挑戦問題 『生ゴミリサイクルでエコで元気な町づくりをしよう！』**

ゲストティーチャーの助言を受けながら、学習した知識を基に、友達と協働して最高の野菜作りに挑戦し、みんなを満足させたい。

**挑戦**

まとめ・  
創造・  
表現

最高の野菜で料理をする。③

実行

最高の土に野菜を植える。②

最高の野菜を作るための土作りを学ぶ。②

整理・分析  
情報収集

最高の野菜を作るための作戦会議をする。①

比べたことをまとめる。②

**準備**

情報収集

育ち方を観察し、気付きを記録する。②

グループごとに実験を始め比べる。①

おいしい野菜を作るための条件を確かめるための実験の計画を立てる。①

おいしい野菜を作るための条件を調べる。①

地域の  
人材活用

**志**

課題の設定

昨年の4年生から提示された野菜作りを知ることから、自分たちもよりおいしい野菜作りをしていきたい。①

**挑戦問題 『最高の野菜を作ろう！』**

**教師の  
願い**

野菜作りに必要な条件を考え実際に確かめる探究的な活動を通して、さらに課題発見・解決学習の力を育み、様々な学習活動において友達とより協力・協働できる児童を育てたい。

学校段階間接続型  
(外国語活動(小5)～英語科(中2))

身近な事柄について、英語で友達と会話する楽しさを味わわせたい。慣れ親しんだ表現を使い、自分の思いを表現することに挑戦し、達成感を得ることができるようなカリキュラムをマネジメントした。

**挑戦**

英語(中2) Lesson5 自分の好きな国について英語でエッセイを書いて紹介し合おう。

**準備**

英語(中1) Lesson3 I like soccer.好きものは何?

**志**

**挑戦問題** 英語で自分の思いが伝わるように文章に書いたり、友達の文章を読んだりしよう

**挑戦**

「友達を旅行にさそおうクイズ大会 ～広南6年バージョン～」で、英語を使って紹介し合おう。

**準備**

社会(小6) 日本とつながりの深い国々

まとめ・創造・表現

自分の思いが伝わるようにおすすめの国について紹介したり、友達の紹介を聞いたりする

情報収集

見たいもの、食べたいものを伝える表現に慣れ親しむ。

行きたい国について尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。

自分の行きたい国の見たいもの、食べたいものについて調べまとめる。

国の言い方を知り、世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付く。

外国語活動(小6) Lesson5 Let's go to Italy.友達を旅行にさそおう

**志**

**挑戦問題** 『自分の行きたい国を紹介して、友達を旅行にさそおう』

**挑戦**

英語で好きなものを尋ねながら、ランチメニューを作ろう。

**準備**

外国語活動(小5) Lesson9 What would you like?ランチメニューを作ろう

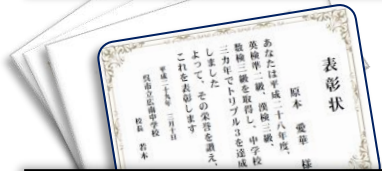
**志**

**挑戦問題** 『友達に好きなものをインタビューしよう』

教師の願い

身近な事柄について、簡単な語句や基本的な表現に慣れ親しむ活動を通して、主体的にコミュニケーションを図ろうとする児童を育てたい。

選抜 I ・呉高专特別推薦合格



トリプル3（検定試験3種3級以上）達成者H28年度4名

検定試験挑戦者のべ人数  
H28年度 76名（全校生徒65名）

自主学習



くれしん爆笑芸会出演  
（呉市文化ホールH29.1.14）



科学研究 県科学賞・学校賞  
全国学生科学賞入選 1等（H28）

総合的な学習の時間（中）

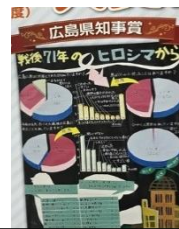
## S ルーブリック

達成目標の上にあるさらに「上質な学び」のイメージや「資質・能力の価値」を共有することで、教師も、児童・生徒も高い志を抱くことが期待できる



五色百人一首広島県大会  
橙の部 優勝（H28）

広南学園「百人一首大会」



統計コンクール「広島県知事賞」  
「学校賞」（H28）

総合的な学習の時間（小）

教師や学校は、子供たちに上質イメージを持たせることや、子供たち自身が上質イメージを持つことができるように、日々の教育活動の中で子供たちと真剣に向き合い「～って面白い」「～ができるようになるとこんなに良いことがある」「自分でも努力すればできるようになる」ということを体感させ、それを認める。こういった経験を積み重ねることにより、子供たちは自信を回復し、「こうなりたい」「こうありたい」とさらに上質なイメージをもつことができる。（「広島県教育資料より」）



## (4) S ルーブリック

### 資質・能力のルーブリックの活用例 1

資格・検定への挑戦

知識・技能

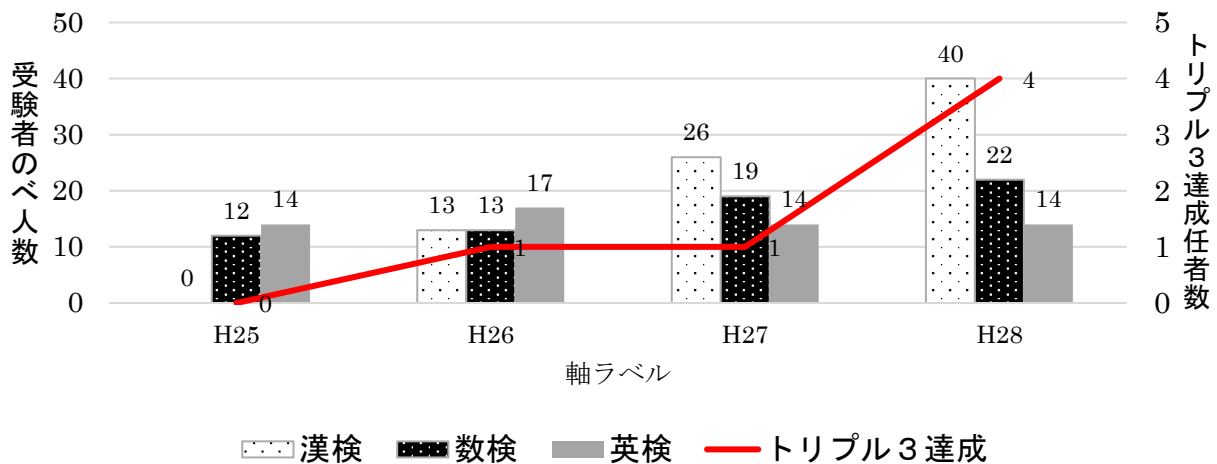
挑戦・探究

(ねらい) 実社会において、資格を持つことは、重要なキャリアアップの手段となる。また、資格習得に向けての挑戦心や主体的な学びを育てる機会となる。

そこで、本学園では、トリプル3（3教科で3級合格）を目標として、その資格習得への意欲付けと機会の提供を継続するとともに、達成者には、卒業式の前日に特別表彰を行っている。

その結果、下のグラフのように、検定試験の受験者は年々増加し、特に中学一年生からの受験者数が増えてきている。そしてトリプル3達成者は、平成25年度は0名だったものが、平成26年度1名、平成27年度1名、平成28年度は4名も達成し、そのことを自信に高校入試に臨むことができた。今年度は、資格検定においてもS評価を活用し、資格習得へ積極的に挑戦する校風を小学生高学年にも広げていきたい。

検定試験年間挑戦者のべ人数の推移（中学校全学年）



注) H25年度は漢字検定挑戦者0だったため模擬試験を行い、その結果で実際は4名を達成者として表彰を行った。H27年度は、理科検定を自主的に挑戦した生徒がいたが、このグラフにカウントからは削除している。また塾等で個人的な受験者数はカウントしていない。

資格習得への挑戦ルーブリック（中学生用）	
S	英検・数検・漢字検定など3級以上の資格を3つ習得した。（トリプル3）
A	資格を今年もひとつ以上習得することができた。
B	資格検定試験に今年もひとつは挑戦した。
C	資格の習得数はまだ0である。

資格習得への挑戦ルーブリック（小学校高学年用）	
S	英検・数検・漢字検定など6級以上の資格を3つ習得した。（トリプル5）
A	資格を今年もひとつ以上習得することができた。
B	資格検定試験に今年もひとつは挑戦した。
C	資格の習得数はまだ0である。

## (4) S ルーブリック

資質・能力のルーブリックの活用例2

数学 全領域

挑戦・探究

感謝・貢献

(ねらい)

数学という教科の学びがいは、身近なところで役に立つという実感を与えることも大切であるが、一方で、先人が切り開いてきた学問を学び、それを受け継ぎ、発展させることに貢献するという学問の持つ本質的な喜びも味わわせたいと考えている。

古来、日本では、先人が積み上げてきた知識・技能に対し、感謝するとともに、そこから、学んだことをもとに、新しい良い問題を創ることができた時、その感謝と喜びを「算額」という形で神仏に捧げる伝統があった。この伝統を再生し、中学校第3学年に生徒にも、これまで学んだ知識や技能を活用し、新しい価値をもつ問題をつくることに挑戦させることに取り組んでみた。

この意識付けに「感謝・貢献」の資質能力のSを活用して目標設定を行った。

この挑戦問題には多くの生徒が真剣にまた楽しんで取り組む姿が見られた。今後は、このことを他の領域にも広げていきたいと考えている。

### 三平方の定理 挑戦問題

- ① 問題を解いて算額を修復しよう！
- ② オリジナル算額を作ろう！  
感謝と決意を形にしよう！
- ③ 聖徳太子の掛図の謎を解こう！ → 技術の時間に解決



### 「三平方の定理」を学ぶことによってめざす姿は…

**S**

感謝と決意の心を持って算額を修復し、みんなが意欲的に取り組めるようなオリジナル算額を作成し、数学を通してみんなとの絆を深めることができる！

**A**

感謝と決意の心を持って算額を修復し、オリジナル算額を作成することができる！

学習を進める過程で、NPO 和算主催の「算額をつくろうコンクール」入賞作品を時折紹介しながら、問題作成への意欲を高めていった。その成果か問題作成の際には「こんな問題を作りたい。」という思いを持って取り組めた生徒も多かった。

「三平方の定理」は義務教育9年間で最後に学ぶ図形領域の単元である。数学が苦手な生徒もこれまで9年間で学んだ図形の様々な内容を組み合わせ、仲間と協働し、楽しみながら問題を作成することができた。作成した問題をお互いに確認し合う場面では「この解き方でもできるよ。」「この方がもっと面白くなるね。」など高め合ったり深め合ったりする様子も見られた。最終的に出来上がった作品を掲示

し、相互評価を行った際、どの作品も仲間から「解いてみたい」「面白そう」という評価をもらい「問題を作ってよかった。」「もっと作りたい。」という感想がみられた。

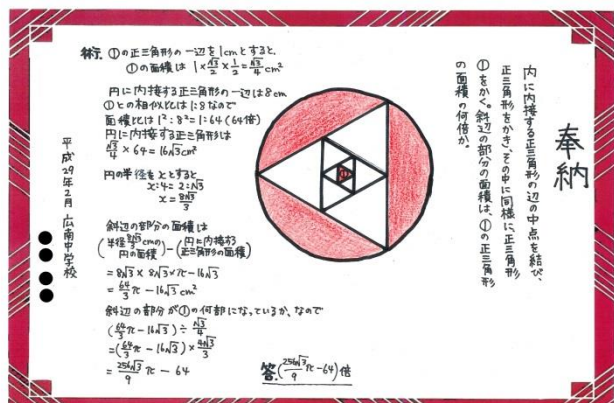
また、出来上がった算額に後輩へのメッセージも書いた。このことで算額を残すことで自分たちが広南中学校の数学に貢献することができたという誇らしい思いを持つことができた。



班で協働して算額を修復する様子



協働して問題作成に取り組む様子



完成した算額の例



掲示された算額を見て盛り上がる様子

### <生徒の振り返りより>

- ・僕はみんなと協働して作りあげることができた。みんなと一緒に問題を解けたのでよかった。みんなの問題を見て興味がわいてきた。オリジナルの問題ができたのがすごく楽しかったしうれしかった。
- ・算額づくりでみんなの問題を解いてみたいなと思いました。一人で考えるのではなく、みんなで考えることによって良い問題を作ることができたと思いました。後輩にも解いてほしい問題がたくさんあるので是非チャレンジしてほしいです。
- ・単元の最初は算額なんか作れないと思っていたけれど、最初の問題から改良を重ねて、自分の中ではとても満足できる問題を作ることができました。この問題が役立ってくれたら本望です。
- ・算額を工夫して作ることができました。友達の作った問題を考えたり、自分の問題を解説したり、みんなで共有することができました。
- ・最初、算額を作るのがすごく嫌でした。いつも良いアイデアが出ず、センスもないし、数学が苦手だからです。でもみんなから良い問題だ、解きたいと言ってもらえてすごくうれしかったし、算額を作ってよかったと思いました。



## (4) S ルーブリック

### 資質・能力のルーブリックの活用例3 感謝・貢献 総合的な学習の時間（中学校1年生「和菓子体験」）

（ねらい） 呉市教育委員会の企画で「和菓子体験」が実現することとなった。ゲストティーチャーを迎えての授業では、生徒も、教師もややもすると受け身になりやすい。授業そのものに対しては「情報収集・判断力」の資質・能力を鍛える場としての目標を示す必要があるが、ゲストティーチャーとの一期一会ともいえる場では、「感謝・貢献」の資質・能力を育てる場としても重要である。この場合、「感謝・貢献」の価値に気づかせるために、授業の導入場面で、次のようなSの目標設定を試みてみ

（教師）今日は、呉市で有名な和菓子のお店「博美屋」さんが、みなさんに日本の誇る伝統文化「和菓子」をつくる体験をさせていただきます。今日の授業のめあては何にしたらいいと思いますか？

（生徒1）「はい、和菓子を一生涯つくって、おいしく食べるのだと思います」（笑）



（教師）なるほど、しかし、それでは、評価はBですね。ところで、なぜ「和菓子」というのでしょうか。それに対して「洋菓子」ということばがありますね。この2つの違いはなんでしょう。今日は、ぜひ、そのことを頭において、「和菓子の良さってなんだろう？」を考えながら体験してください。今日のめあては、「日本の伝統文化である和菓子のすばらしさを発見する」です。資質・能力で言えば情報収集・判断力になりますね。したがって、授業の終わりに「日本の伝統文化のひとつである和菓子の良さは〇〇であることを発見した。」それが書いていけば評価はAです。ちなみに「おいしかった」だけしか書けなかった人はCです（笑）

（教師）けれども、みなさんには、Sをめざしてほしいと思います。何ができればSだと思いますか？

（生徒2）「はい、和菓子の良さをひとつではなく、たくさん発見することだと思います。」

（教師）そうですね。情報収集・判断力でいえばそうですね。けれども、今日はわざわざ、博美屋さんは、こうしてボランティアでみなさんのために貴重な時間をさいてきてくださっています。その気持ちにどう応えますか？

（生徒3）「はい、感謝の気持ちをもって、一生涯教わることが大切だと思います。」

（教師）「そうですね。それは教わる側のみなさんの使命でもありますね。「わざわざ、今日、みなさんに教えに来てよかった」と思っていたらAですね。そして、みなさんは来年、先輩のように起業企画に取組まなければなりませんね。「こんなすばらしい生徒達なら、ぜひ、協力したいと思います」というだけでたらSですね。（笑）ひよっとしたらみなさんならできるかもしれない。ぜひ、それを目標に、よい学びの時間を過ごしてください。」



## 授業後の生徒の振り返り

- ・和菓子作りを初めて体験してみて、講師の先生が作っているのを見ると、難しそうに思わなかったけど、実際にやってみるとすごく難しかった。技術があるのはすごいと思いました。日本の文化を肌で味わえてとてもよかったです。
- ・良いものを作るための作業の大切が分かりました。素材からこだわっておられて、私のいろんな活動にこだわりを持ってやりたいと思いました。呉にこんなにすごい技術があったなんてとても驚いた。
- ・職人さんが作るの簡単そうに見えたけど、実際やってみると、量の配分、形を整えるなどとても難しかったです。職人さんの技も見せていただきました。はさみで形を作っているものはさすがという感じでした。これからはもらったりするときは形をじっくり見てみたいと思いました。
- ・和菓子は人を笑顔にしたいと思います。持って帰って、お母さんがすごく興奮して嬉しそうな顔になりました。見た目も味も人を笑顔にできるからすごいと思いました。
- ・きれいに作るために1つずつ丁寧にすることと素手でさわるからいつも手をきれいにしておくことが大切だと分かりました。もっと技術や伝統を大切にしていけないと思いました。
- ・私は呉市の素晴らしい技術をもっと知り、広めていき、自分自身もすごい技術を持ちたいと思うようになりました。



授業後に、博美屋さんから「ほんとうにいい子供達ですね。文化発表会などで、ぜひ協力できることがあったら言ってください」と言っていただけた。このことを生徒に伝えると、生徒もたいへん喜んでいました。事後指導として、お礼の手紙を書き、改めて感謝の気持ちを伝える取組を行った。

「感謝・貢献」の資質・能力のS評価では「感謝・貢献を積み重ねて絆をつくる」ことが評価基準になっているが、まさに、その価値を実感することができた。ぜひ、この取組みを、来年度の起業企画につなげたいと考えている。



## (4) S ルーブリック

### 資質・能力のルーブリックの活用例4

合同理科（教え合い）

思考・表現

知識・技能

（ねらい） 昨年度の広島県「基礎・基本」定着状況調査（理科）の問題を2年生が解き、分からないところを3年生が教えるという取組を行った。2年生については、1年生の学習内容の定着（知識・技能）のために行い、3年生については、後輩に教える（思考・表現）という使命を与えるとともに、人に教えることでの確実な定着（知識・技能）を図ることを目的としている。また、2年生については、先輩から教えてもらったことで、感謝の気持ちを持たせ、来年は、自分たちが後輩に教えるという意識（貢献）を持たせたい。このように、それぞれに違った目的とルーブリックで合同授業を行った。

	3年生のルーブリック	思考・表現
S	図やグラフ、実験器具等を使ったり、質問に答えたり、2年生の理解度を把握しながら説明したりすることができた。	
A	図やグラフ、実験器具等を使って分かりやすく説明したり、質問に答えたりすることができた。	
B	図やグラフ、実験器具等を使って分かりやすく説明することができた。	
C	分かりやすく説明することができた。	

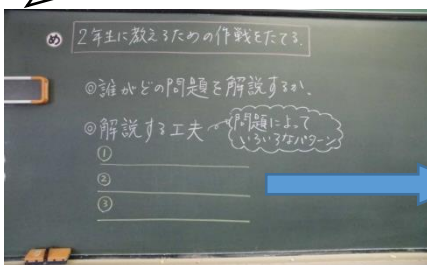
	2年生のルーブリック	知識・技能
S	すべての問題を人に説明できるくらい理解することができた。	
A	すべての問題を理解することができた。	
B	ほとんどの問題を理解することができた。	
C	1問は理解することができた。	

### 3年生の授業

（教師）今回は、2年生に勉強を教える挑戦をします。

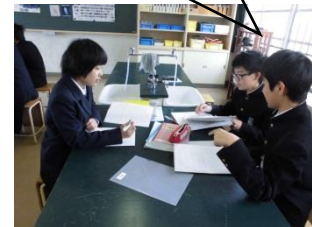
（教師）説明の工夫にはどんなことがありますか？

（生徒）どうすれば分かりやすい説明になるかなあ。



生徒が考えた工夫

- ① 図をかきグラフ
- ② ものを見せる(実験など)
- ③ 別なことにたとえる



### 2・3年生の合同授業

めあて

3年 工夫して分かりやすく説明する。

2年 分からない問題が解けるようになる。(理解したふりはしないで質問する)

事前に準備していた方法で説明しています。簡単な実験もしました。



3年生の振り返りより

今日は2年生と合同授業をしました。2年生の解答を見ていると、かなりミスが多くて、私も2年生の時と同じように思っていました。その為、同じミスをした時に先生に教えてもらった方法を思い出しながら、2年生に解説をすることで出来ました。先生の解説はとても印象に残っていたので、2年生に考えながら自分で復習することが出来、とても良い授業だったと思います。

今日は、2年生と合同授業を行い、2年生が分からない問題や、解けない問題を分かるまで、解けるようになるまで説明し、解き方も教えました。実際に実験をしながら説明すると2年生はよく分かってくれました。人に教えるのは少し難しかったけど、分かってくれた時は説明したがいがあったなと思います。嬉しかったです。

昨日の5時間目の合同授業で、理科で、2年生が分からなかった所をたくさん質問してくれました。とてもうれしかったので、光の屈折の説明をするのがとても難しかったです。実際に実験をやり、紙に図を描いたりして説明をしたけど、なかなか理解して貰えなくてとても大変でした。でも、あまりにも手を動かさないとはいえないのでとても楽しかったです。またやりたかったです。

私は今日2年生に分からない問題や、間違えた所を竹内さんと2人で教えてあげました。スポンジや顕微鏡を使って説明をしました。説明をするのがこんなに面白いんだなと思いました。理解してもらえなかったところは不安でいっぱいでしたが、最後の直したときは、ほっとしたので安心です。おれ2年生と合同授業をしたいと思います。

2年生の感想（生活ノートより）

**今日の記録**  
 今日は、5時間目の理科で、**せん**さんに家庭教師じやうたいで教えていただきました。私がい分かるまで色々な方法で教えて下さいました。時間になり、できなりました問題を、明日紙にまとめてくれる、といわれて  
 pm 5 6 7 8 9 10 11 0 am 1  
 P言語書1ト 国1トつが王をかく すごく偉しくていい  
 56漢字1トP89とテスト 先生は丁寧な  
 思いました。

**今日の記録**  
 今日の5時間目で3年生と合同理科でした。**せん**さんは、とてもわかりやすくおしえてくれました。なので、わからなかったところもわかりました。また、3年生と合同理科でした。いいです!!

本校は、1学年1学級で生徒数も20人程度と少ない。他学年との交流も普段の行事等でかなり多く、生徒同士の関係も良好である。その利を生かして今回の合同授業を行った。3年生にとっては後輩に教えるということで、同学年に教える以上に責任や使命感を感じながら準備を進めていた。筋道を立てて分かりやすく説明するだけでなく、図やグラフの工夫や実験も行いながら、どうすれば2年生が理解できるかを考えていた。また、Sレベルの説明については、先生たちは、生徒が理解したかどうかについて表情を見ながら進めているのだと伝え、これができたら「先生レベル」ということでS評価とした。数名の生徒はSをめざして準備を進めていた。2年生にとっては、3年生に1対1で教わることで、理解しやすかったし、3年生にとっても感謝していた。また、3年生になったら自分たちが後輩に教えたいという意欲を持つ生徒もいた。



# (4) S ルーブリック

資質・能力のルーブリックの活用例5  
 社会科 予習課題 **情報収集・判断**

(ねらい) 予習課題として、社会科では、情報収集・判断力を鍛える取組として、毎日の新聞を読み、興味をもった記事を切り抜き、それについてのコメントを記入した予習課題に順番に(生徒一人一月に2回程度)取組ませている。しかしながら、授業内容と必ずしもつながらないことが多く、生徒の作成したものを授業で十分に活用できていない。来年度は、それをストックし、授業で紹介したり、活用する場面をつくることで生徒に役立ち感を感じさせるようにしたい。

( ) 月 ( ) 日 ( ) 【 ( ) 頁 】新聞 < 4 > 面  
 【 ( ) 頁 】新聞 < 2 > 面 朝日

中国

「菅官房長官が天皇陛下の生前退位についての法案提出を通常国会に行う考えもしている」というニュースを朝日新聞と中国新聞と比べてみました。ピンクの線は両方に共通して書かれていること、緑の線はその新聞にのみ書かれていないこと、青の線はこれを見れば分かるにも、菅長官が法案提出の時期や段取りを明言したのは初めてだということ、特別立法案に検討する方針であることが書かれています。一方で、通いといふ記事のメインで、朝日新聞では各党の立場についてまとめ、表に押し付けられた記者の考えを入れるスペース、中国新聞では事実と関係者の発言のみ書いていることが挙げられます。

( ) 年 ( ) 番 名前 ( )

	予習課題のルーブリック (中学生3年用)	「情報収集・判断」
S	2種類の新新聞記事を切り抜き、比較して扱いの違いを発見することができる。	
A	新聞記事を切り抜き、その内容を正確に理解したコメントが書くことができる。	
B	新聞記事を切り抜き、簡単なコメントを書くことができる。	
C	予習課題を出すことができなかった。	



# (4) S ルーブリック


## 資質・能力のルーブリックの活用例6

社会科 復習課題 **情報収集・判断** **思考・表現**

(ねらい) 社会科では、自分で抱いた疑問に対し、仮説をたて、その仮説を検証するための調査を行い、仮説を検証する問題解決学習に取り組んでいる。授業時数の関係で、そのまとめの段階では復習課題として提出させる。来年度はSルーブリックを活用し、基準を明示することで、より生徒の意欲を高めると共に、回覧することで、お互いの良さを発見する機会を充実させたい。

地理ワークシート NO26

【世界のさまざまな地域の調査】

課題	なぜ日本とモンゴルの仲が良いのか。
仮説	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ すもうが強い国だから、日本は、モンゴルの、オファーする。</li> <li>○ モンゴルと日本は昔からの関係があるから。</li> <li>○ 宗教も同じで、植民地にならずに、日本と同じだから。</li> </ul>
調査内容	<p>～日本とモンゴルの関係～</p> <p>日本とモンゴルの、13世紀に起きた、<b>蒙古襲来</b>により、交流が始まったが、両国は、<u>20世紀半まで正式な国交を結ぶことはなかった。</u></p> <p>～貿易～</p> <p>日本は、モンゴルにとって、中国・ロシア・アメリカ合衆国につぐ、<u>4番目の主要輸入相手国</u>となっている。<b>経済協力協定</b>が1977年に、貿易協定が1990年に、<b>投資保護協定</b>が2001年に結ばれたものの、日本企業の支店開設数は、2012年4月時点で0社、駐在出張所が<u>24社</u>と少ない。しかし投資をはじめとする経済協力を容易にするための、日本・モンゴル <b>経済連携協定 (EPA)</b> が、2016年6月と12月に連続して明渡さ本、2015年7月15日署名、2016年6月7日に、協定発効となった。</p> <p>～交流～</p> <p>2011年時点で在日モンゴル人は、約<u>400人</u>、在モンゴル人は<u>450人</u>となっている。文化面では、日本の<b>国技</b>とされる<b>相撲</b>分野において、元横綱の、<b>南青龍明徳</b>をはじめとして、<b>自鵬翔</b>、<b>日馬富士</b>、<b>鶴音</b>など、モンゴル人が<b>多数</b>活躍しています。</p> <div style="text-align: right;">  </div>
結論まとめ	<p>日本と、モンゴルの仲の良さは、<b>蒙古襲来</b>・<b>相撲</b>・<b>日本は、モンゴルの、</b> 主要輸入相手国となつて、ここから、関係がある。</p> <p>☆貿易 ☆交流 ☆蒙古襲来</p>

2年A組 ( ) 番 名前 ( )

復習課題のルーブリック (中学生用) 「情報収集・判断」 「思考・表現」	
S	仮説の検証に必要な調査を行い、調査を根拠に誰もが納得する結論を導くことができる。
A	仮説の検証に必要な調査を行い、調査を根拠に自分なりの考えをまとめることができる。
B	仮説の検証に必要な調査を行うことができている。
C	仮説の検証に必要な調査を行うことができていない。

# (4) S ルーブリック

## 資質・能力のルーブリックの活用例7

音楽 復習課題 情報収集・判断

(ねらい) 復習課題として、授業で情報収集したことを、自分でまとめるパフォーマンス課題は、情報収集力・判断力をより一層向上させるとともに、楽曲を深く味わうための重要な基礎知識となる。作品を見ると、自分なりに工夫して作成していくことが伝わってくることから主体的な学びとなっていると考えられる。昨年度までは、A の中で、さらにすぐれた作品をA+と評価し、教室の後に掲示することで、他の生徒の目標とさせることをしてきた。今年度は、A+ではなく、Sと評価するとともに、Sの基準をしっかりと伝えることで、生徒の潜在的な資質・能力をさらに引き出していきたい。

能は音楽・舞踊・演劇の要素が  
つまっている、世界最古の歌舞劇です

### 能【羽衣】の魅力を伝えよう!

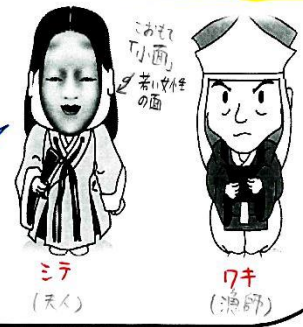
能のはじまり…中国から伝わった芸能が「能」と「狂言」に分かれ、室町時代に観阿弥・世阿弥の父子によって基本的な能の形が作られた。

#### 能の基本情報

- ・能の舞台…舞台には背景がなく、「鏡板」と呼ばれる松の絵が描かれています。  
屋内でも屋根が川にいたり、小石がしまめられており、これは昔、能は屋外でされたのでその名残です。
- ・能では主人公のことを「シテ」といい、「シテ」の相手役のことを「ワキ」といいます。(脇役の由来はここから来ます)  
「シテ」…現実離れした存在(神、幽霊など)。舞を舞う。「シテ」には神が宿るといわれ、なにより「面」をつけて舞う。  
「ワキ」…シテに問いかけ、話を引き出す。舞は舞わない。  
→見る角度によって表情が違う
- ・能で使われる楽器…能管、大鼓、小鼓、太鼓 →演奏する人「はやし」謡吟「せせし」。

面をかけて演じるシテはとても大変です。面は目の部分にあり、穴が小さく、大変視野が狭いのです。更に、面は見る角度によって表情が違いため、微かに角度を変えながら、感情を表現しなければいけません。逆に言うと、あまり顔を動かしてはいけません。それは、この「羽衣」でも同じこと。よく見ると、ワキの漁師に比べ、「シテ」の天人は、やたらと頭を動かしています。これは、天人の絶妙な感情を表現するための、せむし注目してみたい。

最後に…能の美しさとは、少ない動きで演じることです。極限まで動きを少なくすることは、日本ならではの美しさなので、せむし能を見て日本の美に感動してみてください。



3A ( ) 番 名前 ( )

A+

	復習 (パフォーマンス) 課題のルーブリック	「情報収集・判断」
S	能の基礎知識や歴史について視聴し、価値ある情報を判断し、工夫してまとめることができる。	
A	能の基礎知識や歴史について視聴し、価値ある情報を判断し、まとめることができる。	
B	能の基礎知識や歴史について視聴し、情報収集し、まとめることができる。	
C	能の基礎知識や歴史について視聴し、情報収集し、まとめることができない。	

## (5) 乗り入れ授業の価値

知る・つながる・貢献する

協力・協働

感謝・貢献

本学園では、「知る つながる 貢献する」を合い言葉に中学校の教職員は基本的に全員、小学校（特に中期）へ週1時間、特定の学級・教科へTT教諭として参加している。（音楽は専科として小3学年、小5学年を指導している）。「1学期は、お互いを知り合うことを目標に、2学期は、関係を深め、3学期には、どこかで貢献する場面をつくる」ゆるやかな目標です。ゆるやかな乗り入れ授業の中で、なによりの収穫は、教師通しの間に「つながり」が生まれることである。このことによって、乗り入れ授業場面以外でも、つながりの中で様々な場面で気軽に「貢献し合う」場面が生まれているところである。

乗り入れ授業の効果は、以下の教師達の声からもわかるが、基礎基本学習状況調査や全国学力テスト等に現れている中期・中後期の学力の伸びをささえている一因と考える。

### (小学校の教師の振り返りより)

- ・ 中学校の先生の専門性が高く、児童のやる気につながっていた。教師もとても勉強になっている。
- ・ 歴史など、児童にも分かりやすく話をしてくださり、児童も自分も興味深く聞くことができた。
- ・ 技術面について、個別に声をかけてくださり、児童も意欲的に取り組むことができた。
- ・ 英語では、ケリー先生と英会話で模範を示してくださり、児童の理解につながった。
- ・ 授業に向かう態度について、中学校目線で厳しく指導してくださり、6年生にとって効果的だった。
- ・ 体育科では、まず態度面の指導をしてくださったので助かった。
- ・ 時に厳しく指導して下さるので、よい姿を見せようと子どもたちも頑張ることができたと思います。
- ・ 国語科で学習をインタビュー形式を進めていく時に、モデリングを示してくださり学習のイメージを持たせることができました。
- ・ 今の学習が、中学校の学習につながっていることを話していただいたことで、子どもも「しっかり覚えておかなければ。」という言葉も聞こえてくるようになった。自分も小学校から中学校への系統性を意識することができた。
- ・ 児童の実態を知っていただくことで、指導や指導の仕方について連携を図ることができた。

### 中学校の先生方の「ソプラノリコーダー器楽発表会(小3)」への協力

お客さんがいると、子供は張り切るもの。ソプラノリコーダーの学習意欲を高めるため、ミニ発表会を企画。中学校の先生に招待状を持って行き、震えながら渡したり、取組みをすすめました。当日は、たくさんの小中学校の先生を前に、緊張しながらも、それぞれの役割を果たし、大きな達成感を得たようにみえました。中学校の先生が専科としてきていただくだけでなく、それをきっかけにこのような活躍の場ができたことに感謝です。





## (中学校の教師の振り返りより)

- ・指導が聞けない児童や低学力の児童を把握し、はじめは優しく近づき、話しかけてかかわりをつくった。
- ・小学生へ向けての声かけや対応についてどういう声かけがふさわしいかを考え実践するようになった。また、話し合いの話形や話し合い学習について発達段階に応じた仕掛けが必要だという事を学びました。
- ・中学で学習する内容との関連が小学校の授業に出ることで分かった。
- ・小学校高学年の授業の進め方がわかった。
- ・担任の一貫した指導が大切。チームとしての取組。教室整備の大切さ。より丁寧な指導の大切さを感じた。
- ・中学生とは違う、教え方、伝え方の難しさに気づいた。繰り返し行うこと、中学生になるまでに、身に付けておいてほしい力など、小学生の段階がどれだけ大切な時期なのか改めて実感した。
- ・態度が悪かったり、私語をしたりしている児童に対しては、そばについて指導したり、学級全体に対して学習規律や児童の責任についての話をしたりした。また、低学力児童に対しては、個別に指導した。
- ・担任だけの指導では難しい児童の実態があるように思った。学習障害が疑われる児童は早い段階で一緒に考えていいと思う。
- ・小6の社会に参加させてもらっています。来年に向けて生徒の様子がよく分かった。
- ・小学校で学習する内容がわかり、中学校に繋げることができると思った。小学校の学習スタイルを取り入れたら大変だろうなと思いました。
- ・年齢に合わせてことばや説明を工夫することと中学校卒業までに身に付けさせたい力を、小学校の先生に授業を通して伝えていくことができると考えています。授業規律については中学校に合わせて5, 6年生では行うようにしている。

### 小学校の先生方の「8年生(中2) 起業企画への協力」

出資金の依頼に職員室にプレゼンに来た(かつての教え子である)生徒に、あえて、厳しい質問をいろいろとしてくださいと、甘く考えていた生徒達を本気に導いてくださいました。

#### <生徒の振り返りより>

小学校の先生に出資のお願いのプレゼンを行った時に、先生方から厳しい質問をされました。その質問のいくつかには答えられることができず、出直すことになりました。その時はとまどいましたが、それもいざ社会に出ると実際に、このような厳しい質問はたくさんあり、それを乗り越えることが社長の自分の使命と考え、がんばりました。2回目は、きちんと質問に答えることができ、たくさんのお出資金をしていただくことができ、ほっとしました。何回かプレゼンや出資のお願いに行き、大きな声をこころがけていると、いつのまにか笑顔で自然と大きな声を出している自分に成長していました。この起業プロジェクトを通して私は、社会に出てとても役立つ経験をしたと思います。





## (6)地域の人材活用(中)

知る・つながる・貢献する

協力・協働

感謝・貢献

本校区においては、「蚊が0研究プロジェクト」でも言及したように、戦後、ハエや蚊が蔓延し不衛生であった長浜地区を、町民が協働し、お互いの知恵を振り絞って駆除し、その功績が認められ「厚生大臣賞」を受賞したという輝かしい歴史があり、学校教育に対しても協力的な町民の方が多い。また、「公務員ランナー」として著名で、ボストンマラソン優勝やミュンヘンオリンピック出場という輝かしい職歴を残した采谷義秋さんや、ジャズプレーヤーとして著名な坂田明さんを輩出した土地でもある。さらに、日本の伝統文化等においても、優れた能力や指導力を持つ人材も多く、教育的に大変恵まれた地域環境である。

### 1 地域の人材活用(中)

これまで、第2・3学年の「総合的な学習の時間」を活用して、日本の伝統文化の継承に主眼を置いた「日本文化講座」を開設してきたが、平成28年度は、その名称を「匠の時間」と改名し、「箏講座」、「尺八講座」、「書道講座」、「大和撫子(着物の着付け)講座」を開設し、地域の匠をゲストティチャーとして招き、各講座の知識・技能の習得を図った。さらに、その集大成として、「第5回広南劇場」で、演奏や展示を行うとともに、第3学年が小学校第5学年に「匠の技」を伝授するという「小中交流」を実施した。限られた時間の中で、いかに効果的に伝授できるかがポイントであったが、どの講座も中学3年生が手分けをし、児童一人ひとりに丁寧に優しく教え、音を出すのが難しい尺八も音が出たり、手がかかる着物の着付けもできたりするようになった。5年生の嬉しそうな顔と中学3年生の指導後の達成感に満ちた表情が大変印象的であった。



【大好評を博した初の箏と尺八の共演】

【受講者全員での書道パフォーマンス】

【采谷GTを招聘しての道徳授業】

また、道徳の時間においては、第2学年の「目標に向かう意志：『ランナー』」実施時に、上述した地元の著名なマラソンランナー采谷義秋さんを招聘し、輝かしい職歴の陰にあった挫折の日々を語っていただき、目標に向けて、困難に負けぬ強い意志を持つこと等、豊かな心の育成の一助となった。

### 2 成果と課題

- 学習指導要領にも謳われているように、グローバル人材の育成に向けては、まず、地域や我が国の伝統文化についての知識や理解が重要である。その意味で、地域の人材を活用し、日本の伝統文化の理解を図る取組は、郷土愛の育成や日本の伝統文化の継承に大いに意義ある企画・実践である。
- 本校の音楽科においては、第1学年で箏・尺八曲の鑑賞とともに器楽を取り入れ、実際に箏や尺八(塩ビ製)に触れる題材の設定を行ったり、国語科の書写の時間では行書まで習得したりする。それらの知識や技能を第2・3学年の「匠の時間」を活用し、より一層の習熟を図ることができ、「教科横断型課題解決学習」としても大きな意義がある。
- 「匠の時間」の集大成として、文化活動発表会での発表・展示を通して、地域への貢献心や自尊感情の高揚が図れる。さらに、「小中交流」において、小学生に「匠の技」を伝授する取組を通して知識・技能の定着や自己効力感の高揚が図れる。
- 昨年、講師の高齢化に伴い、「茶道講座」の閉講を余儀なくされた。同様に、長期的な展望において高齢化が進み、地域の人材確保が懸念される。

## (7) ICT の活用

「学びの変革」をすすめるにあたって、ICT の活用を推進することも重要なポイントと考え、整備および活用にとりくんできた。今後は小学校でも活用をすすめていく。

### 1 ICT の有効活用のための人材育成と授業実践での成果・実績

平成27年度は、ICT の有効活用のための基盤づくりとして、第一に、「ICT 活用のための環境整備」、第二に、「ICT 活用に向けた人材育成」に主眼を置いて福田教頭先生を中心に取り組んだ。

平成28年度は、その検証として音楽科と数学科の授業改善を広く他校に問うべく、6月30日(木)開催の「教育研究会」で公開授業を行った。以下、参加者の「授業アンケート」の一部を掲載する。

数 学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT を活用した挑戦問題など、とても参考になりました。</li> <li>・生徒達とルーブリックを共有するために提示する手法は、生徒の評価や学びへの意欲を高め、効果的であったと考えます。ただ、活用する力がすぐには付かないことが分かり、時間があれば討議をさせたかったです。ICT も普通に活用されており、日常的に使われていることがよくわかりました。素晴らしいです。</li> <li>・パソコンで、単元を通して、生徒の意欲が続く工夫がしてあり、すごいと思いました。また、生徒の姿勢もとても良く驚きました。</li> <li>・どの資質・能力を身に付けさせることを狙った授業なのかを生徒にも意識付けることが新鮮でした。それに対する評価もあれば良かったです。ICT を効果的に活用した指導をしておられました。準備が大変だったと思います。</li> </ul>
音 楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挑戦問題を提示する際の導入から、授業の流れがとてもスムーズで無駄なく流れていったことが印象的でした。ICT の活用やワークシート、発問、どれをとっても教材研究が深くされていることが分かり、「参考にさせていただきたい」と思うものばかりです。他教科と関わって、挑戦問題が設定されているところも素晴らしいと思いました。</li> <li>・ICT の活用は、生徒の意欲向上だけでなく、課題発見・解決学習において時間設定にも効果的であると実感しました。</li> <li>・挑戦問題では生徒の興味と課題意識を高ぶらせており、とてもスムーズに進まれていました。ICT を使われており、視覚支援はもちろん、時間短縮・テンポ良い授業展開が行われていました。比較聴取をたくさんされていたので、生徒も分かりやすかったと思います。先生の教材研究の素晴らしさを感じました。ありがとうございました。(自分も分かりやすかったです)</li> <li>・ICT を活用した授業、大変参考になりました。音楽を聴かせる場面も確保されており、すばらしい授業でした。</li> <li>・挑戦問題の具体例が分かり、大変参考になりました。ICT が充実されていていいなと思いました。授業の時間配分が綿密に考えられていて、TV の教養バラエティ番組みたいに展開されているように感じました。でも TV と違い、生徒は自分のワークシートに熱心に記入し、学びを深めていたと思います。</li> <li>・生徒が意欲的に取り組んでいた姿に日頃の指導を感じました。ICT の活用も効果的で参考になりました。先生の切り返し方などの確で、ゴールまで持っていけ、素晴らしかったです。ICT 活用等、大変勉強になり、とても充実した時間になりました。ありがとうございました。</li> </ul>

これらのアンケート結果から、ICT を有効活用した数学科と音楽科の授業が、呉市内外の同じ教科の教諭等からも高い評価を得たことが分かる。

研究会後、この成果を踏まえ、他教科での人材育成と ICT 機器の更なる充実を図ることとした。



【挑戦問題をアニメーションで提示し学習意欲を高めた数学科】



【鑑賞の映像やパワーポイントを効果的に活用した音楽科】

### 2 呉版「学びの変革」推進支援事業を活用したICT環境の充実

ICT 機器の更なる充実においては、呉版「学びの変革」推進支援事業の特別予算措置により、新たに高機能パソコンと電子黒板機能付きプロジェクター、映写対応ホワイトボードが購入でき、電子黒板機能付きプロジェクターの通常学級への据え置きや持ち出し用パソコンの自由利用等、ICT 環境のより一層の充実を図ることができた。本校の研究推進とその成果を認めていただいた呉市教育委員会のご配慮に心より感謝と敬意を表したい。



### 3 ICTの有効活用による授業改善実践事例

#### (1) 保健体育科における ICT 活用による学習意欲及び資質・能力の向上

○保健体育科では、第2学年の単元「日本チームから学ぶ～リレーは何をつなぐもの?～」において、リオ五輪日本男子 400m 日本代表リレーの臨場感溢れるビデオを生徒に視聴させ、単元への学習意欲の高揚を図った。さらに、短距離走において世界の強豪チームを相手に圧倒的に不利とされていた日本チームがなぜ銀メダルを取ることができたのかを、編集したビデオ視聴（スロー再生等の工夫による理想的なバトンパスの理解）を通して情報収集・分析させ、個人思考から集団思考の場面を設定し発表させることで、思考・表現力の向上を図った。



【保健体育科での ICT の有効活用】【リオ五輪の編集ビデオ視聴場面】

【生徒のバトンパスの視聴場面】



【生徒の振り返り】「リレーの学習で思考力・表現力がついたと思います。理由は日本代表選手のバトンパスを見て自分たちのバトンパスと何が違ったかを比較して考えました。例えば、「後ろを振り向かず走る」、「相手が「はい」といったら手を出す」、「バトンを渡す時にもう少し大きな声を出す」などです。

#### ○生徒のリレー練習のビデオ視聴による課題発見

生徒のバトンパスの練習場面をビデオ撮影・視聴することで、日本代表との違いを実感でき、挑戦問題を解決するためには何が必要かを考え、実践練習に向けても大いに役立った。



【生徒の振り返り】「リレーの学習で一番は育った資質・能力は情報収集力です。私たちが走ったリレーを先生にビデオに撮ってもらって、それを見て分析すると、バトンパスがうまくいっていませんでした。バトンを受けるときのスタートのタイミングを考える必要性を感じたのでそう思いました。

#### (2) 英語科におけるデジタルテキストの導入と実物投影機による授業改善

##### ○デジタル教科書による学習意欲・表現力の向上と学力の定着及び努力を要する生徒への視覚支援

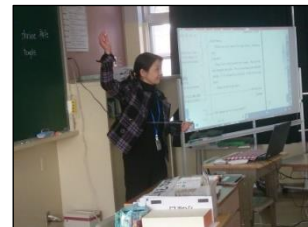
デジタルテキストの扉や本文の動画が、字幕もあり、とても効果的で幅広く活用できる。生徒の発表手本としたり、新しい表現を導入したりすることができる。また、単語等の記憶を確認する場合、瞬時に写したり隠したりすることができる。ゲーム的感覚の強い活動にも役立っている。さらに、口頭説明では指示している部分が見えない生徒の支援にもつながっている。



【英語教室の ICT 機器を活用した ALT への学校紹介】

##### ○授業時間の有効活用

デジタルテキストにおいては、一定の速度でフラッシュカードを変えられるので、テンポ良く口頭練習ができる。さらに、フラッシュカードやピクチャーカードの整理整頓の時間削減になっている。また、実物投影機の活用においては、問題を黒板に書き写す時間を省いたり、クロスワード等の答え合わせにも解答プリント一枚で済ませたりできる。さらに、生徒の解答や絵を提示し、効果的な指導が可能になった。



【デジタルテキストを活用した教授場面】

#### 4 今年度の総括と次年度に向けて

ICT の環境整備においては、平成27年度から2年間で、既述の呉市教育委員会の支援等もあり、通常学級及び特別学級ともにほぼ完了したと考えている。一方、人材育成においては、昨年の音楽科及び数学科に続き、本年度、体育科、英語科での ICT の有効活用を図ることができた。また、その有効性についても、公開研究会での他校の教員の視察や生徒の振り返り等から明白である。次年度は新たな教科での更なる人材育成を図るとともに、教科の特性に応じた活用方法の模索や新たなデジタルコンテンツの開発を行いとともに小学校での活用も推進していきたい。

# Ⅲ 「指導力」向上部会

コーチング

勇気づける

認める

ほめる

他律

自律

自立

ミッション

小中9年間を見通した児童生徒の指導体制の確立

H30 研究テーマ

児童・生徒の主体性(学びに向かう力・人間性)を育てる指導の工夫



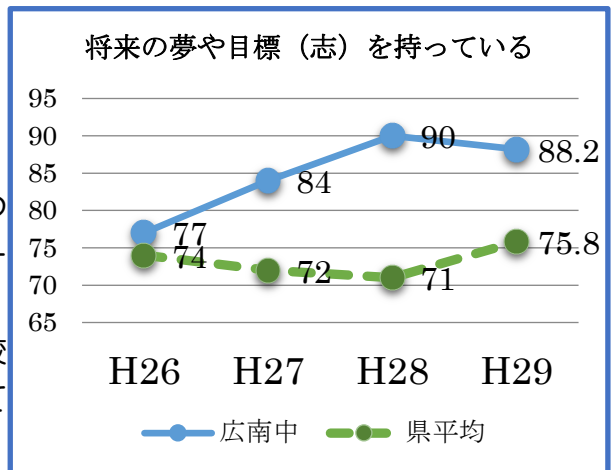
## 目 次

### Ⅲ「指導力向上」部会

広南中学校の生徒の生活面での成果と課題	Ⅲ－ 1
課題発見解決型指導力の向上を目指して	Ⅲ－ 2
広南学園生活ルーブリックの活用について	Ⅲ－21

# (1) 広南中学校の生徒の生活面での成果と課題

資質・能力の変容の客観的な指標としては、広島県の「基礎・基本」定着状況調査の生徒アンケート項目の内、課題発見・解決学習の項目を指標として活用しているが、「感謝・貢献」に適應できる項目がないので、これについては、全国学力学習状況調査の生徒アンケートの以下の2項目を指標とすることとした。また、本校では、次のような項目も加え、学校教育目標の達成度を見取る指標として活用している。



これらの項目をみると、おおむね、生活面でも、生徒の挑戦心や責任・使命、感謝・貢献の資質・能力が育つとともに、学校教育目標である「志を持って生活する生徒」が増えていることがわかる。

## <過去の4年間の広南中学校の生徒の意識の変化>

肯定的評価の割合	H26	H27	H28	H29	H29 全国 平均
学校へ行くのは楽しい。	84	75	88	92	81
広南中学校の生徒の誇りと自信をもち生活している。	84	81	95	92	
学校でよくあいさつをしている。	93	84	100	98	
失敗を恐れなくて新しいことに挑戦しようと思っている。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挑戦心</span>	69	70	91	92	
自分にはよいところや得意なことがある	74	69	79	89	71
将来の夢や目標 (志) を持っている	77	84	90	89	76
校則やルールを守って生活している。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">責任・使命</span>	99	94	98	94	95
自分は学校や学級のために役に立っていると思う。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">責任・使命</span>	67	55	78	78	
自分の良さは周りの人から認められていると思う。	55	48	76	81	63
人や社会のために役立つ人間になりたいと思っている。	93	97	97	100	91
ボランティア活動や地域の行事に積極的に参加している。	71	88	97	87	71
地域でよくあいさつをしている。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">感謝・貢献</span>	99	92	100	96	
「ありがとう」とよく声をかける。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">感謝・貢献</span>	88	78	93	98	
「ありがとう」とよく言われる。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">感謝・貢献</span>	73	67	88	91	
外国の人に積極的にコミュニケーションを図りたいです。		72	81	81	64

中学校生徒アンケート（全校生徒対象）より

人や社会のために役立つ人間になりたいと思っている。の項目の平均を本学園では、「感謝・貢献」の資質・能力の変容を客観的に見取る指標としている。

## (2) 資質・能力を育てる指導力の向上を目指して

研究をすすめる中で、児童生徒の主体的な学びは、一時間の授業の枠で成立するというより、教師のひとつひとつの声かけや指導によって生まれたり、壊されたりすることがわかってきた。その意味で、課題発見・解決学習は教材（単元開発）の問題ではなく、教師の指導技術の問題ともいえる。そこで、本校では生徒の主体性を育てる指導技術として「教育コーチング」や「アドラー心理学」などの研修を計画的に進め、その成果を日々の授業や生徒指導の中で生かす取組をすすめてきた。その中で、「これは資質・能力を育てることにつながる指導方法だ」と教師集団から評価を受けた指導方法を、みんなで共有しながら、指導力の向上に努めてきた。その結果、生徒会活動や行事の取組の中にまで課題発見・解決学習の考え方が活用され、生徒の主体的な活動が育ってきている。このことは、生徒指導の三機能を生かす、生徒指導の目標である「児童生徒が自ら判断し、行動し、その結果に責任をもつ自己指導能力の育成」にもつながっている。ここでは、このテーマに関わる本学園の教職員から提出されたレポートの事例の一部を紹介する。

### 事例1 自在ほうきのしまい方について指導したい

情報収集・判断

思考・表現

責任・使命

BEFORE



ほうきの先が痛むので、先を上にして置くようにしてください。

知識注入型指導？

生徒は何も思考しないので自分のものにならない。

AFTER



あなたはほうきをどのように置きますか？  
次のどちらか手を上げてみてください

課題を発見させる

では、このほうきをみてください。  
なぜ、先が痛んでいると思いますか？

思考させる

今気がついたことを、次からやってみてください。  
掃除道具箱を見てまわるのを楽しみにしています

解決策を実行させ評価する

事例2 朝のあいさつ指導をさぼった生徒を朝会でどう指導するか？

思考・表現 責任・使命

BEFORE



忘れた生徒は立ちなさい。(見せしめ)  
おまえたちは何をやっているんだ！(恫喝)  
無責任だろう！罰として〇〇しなさい(押しつけ)

AFTER

忘れずに参加した生徒ごくろんさん(承認)  
今日、忘れた生徒は、昼休憩に職員室に来なさい(指示)



君はどうしたい？



今日はすいませんでした(謝罪)

明日やっていいですか？(償いの方法の自己決定)

わかりました。君は  
明日、名誉挽回したいんですね。

失敗したときの課題解決の方法を自分で考え実行させる

事例3 面接の受け方の見本をみせにきてくれた先輩に対して評議委員に必要な対応を学ばせたい

感謝・貢献 思考・表現 責任・使命

BEFORE



はい、ではみなでお礼を言いましょう。起立！礼！ありがとうございました！  
評議委員さん、この会をしめてください

AFTER



今日はわざわざ、先輩がみなさんのためにこうして来ていただきました。  
評議委員さん、この会をしめてください

はい、お礼を言わせてください。  
今日は、ありがとうございました。

それでは、君個人のお礼になってしまいますね。評議委員さんとしてそれでいいですか？

あっ。わかりました。(考えて全員でのお礼の形に修正してお礼の気持ちを伝える)





<授業の中で>

事例4 情報収集・判断力を育てたい 情報収集・判断

BEFORE 教科書P234ページを開いて、図Iをみてください。これから、火山は、東北地方に多いことがわかりますね。

AFTER ところで火山はどんなところに分布しているのでしょうか。その情報を教科書から探して見付けてください。

はい、教科書P234ページの図1にその情報があります。

よく見付けましたね。火山の情報はそのあたりにあるみたいですね。他の人はどうですか？では、その図をみて、どんなことがわかりますか？火山の分布についてわかることを発表してください。

事例5 思考力・表現力を育てたい 思考・表現

BEFORE 1分間スピーチをします。内容はなんでもいいです。

AFTER 1分間スピーチをします。今、習っている故事成語をひとつ使うことが条件です。

事例6 授業をきちんと受けることの大切さを伝えたい 責任・使命

BEFORE ちゃんと授業を受けないと行く高校がなくなるぞ！

AFTER 先生には、みなさんの学力を付ける責任がある。だから今日の授業の準備を昨日、がんばってここに立っている。では、学ぶ側のみなさんの責任は何ですか？

事例7 協力・協働的な態度を育てたい 協力・協働

BEFORE では、班長さん、班の実験でわかったことを発表してください。

AFTER 班の実験でわかったことを今から五分後に、班のだれかに指名します。誰に指名してもよいように準備しておいてください。

事例8 知識・技能を生きた知識・技能として身に付けさせたい 知識・技能

BEFORE 市役所の組織は図のとおりです。まずは、…となっています。

AFTER 次の1～10の困りごとが生じました。これは、市役所に相談する内容でしょうか？またそうだとしたら、それぞれのどの窓口で相談すべきだと思いますか？市役所の組織図をみて答えなさい。

# 資質・能力を育て鍛える指導方法の改善レポート

広南中学校（ 岩城 祥子 ）

事例1 友だちの発言を聞いて、自分の意見と比較し、自分の意見をつなげて発言する。話形を活用する。 情報収集・判断 協力・協働

（ねらい）授業中の子どもの発言を、教師が一人一人指名するのではなく、子どもたち自身が発言をつなげていくことで、主体的で対話的な学びの姿になる。

## BEFORE

OOについてどう考えますか？

僕は、OOだと思います。理由は〜〜〜だからです。

同じ意見の人はいますか。

他の生徒の反応「わかりました。」

僕もOOだと思います。理由はだいたい一緒です。

違う意見の人はいますか。

僕は△△だと思います。理由は〜〜〜だからです。

他の人はどうですか。

僕は△△だと思います。理由は〜〜〜だからです。

## AFTER

OOについてどう考えますか？

僕は、OOだと思います。理由は〜〜〜だからです。

似ている場合  
ちょっと似ている、  
または違う場合

僕も、**似ている意見**で、OOだと思います。理由は〜〜〜だからです。

私は、**少し理由のところが違って**、僕は、理由は〜〜〜だと思います。

全く意見が違う場合

僕は誰とも**違って**いて、OOだと思います。理由は〜〜〜だからです。

自分の意見を持てなかつたが、友だちの発言を聞いて、納得した場合

私も・・・君と**同じ意見**で、OOだと思います。理由は〜〜〜だからです。

僕は・・・君と・・・君の意見を聴いて、どちらの意見にも、**なるほど**なと思いました。

ハイレベル 生徒同士で質問する

**どんなところがなるほど**なと思ったの？

教師の発言がなくても、議論が進み、方向性だけ助言

# 資質・能力を育て鍛える指導方法の改善レポート

広南中学校（ 浦上晋次 ）

**事例 1** 必要な情報をグループで判断し、自分たちの移動する力を鍛えたい。

情報収集・判断 協力・協働

（ねらい）今の生徒たちは、親や教師に連れられて移動することが多く、交通機関の情報を収集しながら、自分で判断し、行動する経験が不足している。そこで、1年生の校外学習では、次のような方法で、生徒の情報収集・判断力を引き出し、鍛える手立てとした。（学校行事にて）

**BEFORE**

校外学習などは安全性や所要時間に配慮して貸切バスなどを使うことが多く、生徒は教員についていくだけで、現地での活動をすればよかった。

**AFTER**

公共の交通機関を使い、現地に到着するまでに班別に課題を与え、その課題をこなすことで現地へは班ごとに自分たちの力で、到着しなければならないようにした。そのため、班ごとに事前に時間や降車駅などを調べるよう指示した。

**生徒の振り返りより**

○班の人で誰も（市内）電車に乗ったことがある人がいなかったのも、最初不安だったけど、班長が電車の時間や乗り場などを調べてきてくれたので、時間通りに着くことができました。

○どの時間の（市内）電車に乗れば何時に着くのかななどをちゃんと調べていたので、大丈夫と思っていたら、（市内）電車の乗り場が分からなかったり、降りた所から南区民文化センターまで行く方法を調べてなかったのも、歩いている人に聞いたりして、とても大変でしたが、先生から何かあっても宮島までしかいかないといわれていたので少し安心でした。今度は失敗しないようにもって調べようと思いました。

**事例 2** 予習課題を通して、必要な情報を集め選び出す力を鍛えたい。

情報収集・判断 思考・表現

（ねらい）予習に対する学習意欲を育てるためには、予習してきたことを発表する場面（活躍する場）を設定することが大切。そして、それを活用して生徒とやり取りをする場面を設け、対話を通してやりとりを行うことが、情報収集・判断力を育てるには重要であることに気がついた。（社会科）

**BEFORE**

〇〇について予習してきたことを発表しなさい

だらだらと調べてきたことを読み上げる

**AFTER**

〇〇について予習してきたことを発表しなさい

だらだらと調べてきたことを読み上げる

今、発表してくれた中で、結局、どれが一番、重要だと君は思いますか？

有用な情報を判断し、選ばせる

なるほど、では、▲▲については調べていませんか？

別の角度から、情報を抜き出させる

今のことに関わることは教科書のどこかに書いてないだろうか

# 資質・能力を育て鍛える指導方法の改善レポート

広南中学校（ 裏山 富美子 ）

**事例1** 義務教育9年間の算数・数学の授業で図形に関する知識・技能の集大成として問題を作成させたい。 **挑戦心** **感謝・貢献**

（ねらい）算額作成への挑戦を通して、数学という学問や先生方、さらには共に学んできた仲間への感謝の気持ちを形にすることによって、広南学園の後輩に意欲的に楽しく数学を学んで欲しいという願いとともにより良い問題を残し貢献しようとする姿勢を育てる。

## BEFORE

「三平方の定理」の単元で数学の図形の学習は終わりです。これまでの図形の学習の知識を使って問題を作りましょう。

…（課題だから仕方ないなあ。適当に作ろう。）

## AFTER

みなさん、算額を知っていますか？算額とは、主に江戸時代に神社などに奉納される数学の問題と答の額です。これは、これまでの感謝とこれからの決意を形にしたものです。三平方の定理は図形の最後の学習です。義務教育9年間の集大成として、これまで学習してきたことを一つの形として算額を作成し感謝の気持ちを形にしましょう。また、これは広南学園への貢献です。この算額は代々後輩へ引き継がれ

どんな問題にしたら後輩に楽んでもらえるかな！

これまで学んだことを全部使ってみよう！

こうすればもっと良くなるよ！

### 【生徒の振り返りより】

- ★最初はこんなのできないと思っていたけど、最初の問題から改良を重ねて、自分の中ではとても満足のできる問題を作ることができました。この問題が役立ってくれたら本望です。
- ★1人で考えるのではなくみんなで考えることによって良い問題を作ることができたと思いました。後輩にも解って欲しい問題がたくさんあるので解いて欲しいです。
- ★いつも良いアイデアが出ず、センスもないし、数学が苦手でした。でも先生がすごいって言ってくださったり、みんなが解きたいって思ってくれて、すごうれしかったです。
- ★友達の作った算額を自力で考え解くことができ、学習をみんなで共有することができて楽しかったです。
- ★算額を作るまでに必要な情報を集め、どの図形にして何センチにするか工夫しているうちにとっても時間がかかってしまいました。でも自分が納得できるような算額ができたので良かったです。
- ★算額作りで、数学のこれまで学んだことを全て使って問題を作ろうと頑張った。こんなにいろんなことを学んできたんだなと思って、感謝の気持ちを込めることができた。みんなが解きたいと思えるような問題にしようと工夫して作ることができた！



# 資質・能力を育て鍛える指導方法の改善レポート

広南中学校（海切 健次）

**事例1** 未知の物質が何であるかを特定するため、試合感覚で授業を行い、生徒の挑戦心を高め、活用できる知識・技能を身に付けさせたい。

**挑戦心** **知識・技能**

（ねらい）生徒の挑戦意欲を喚起することで、学習意欲を高め、知識・技能を活用して  
いこうとする姿勢を身に付ける。

## BEFORE

これからの「物質」についての単元では、いくつかの名前の分からない物質の性質を調べて、物質名を当ててもらいます。

生徒は、ある程度楽しみながら、授業を行っていく。

## AFTER

これからの「物質」についての単元では、先生からの挑戦を受けてもらいます。いくつかの名前の分からない物質の性質を調べて、物質名を当ててもらいます。全部で5回の試合になります。みなさん、何勝できるか！ さあ、先生と勝負です！

### チャレンジ5

- ①「A～Cの金属の見分け方」
- ②「A～Cの白い粉末の見分け方（燃焼）」
- ③「A～Cのプラスチックの見分け方」
- ④「A～Dの気体の見分け方」
- ⑤「A～Cの白い粉末の見分け方（融点）」

### 留意点

チャレンジ①は、全員が勝つくらいの難易度にしめます。②から④までは、徐々に難易度を高めていき、⑤では、難易度を下げます。予想を立てさせた後、物質が何であるかを調べる方法や調べる順番も班で話し合わせ

## 【生徒の振り返り】

4回目のチャレンジで、A、B、C、Dの内、B以外違っていたので、気体について復習しておきたいと思いました。  
今日も海と先生にあけてしまって... 炭酸くんも休みだったけど、山田さんと協力しなきゃ実験が進められなかったです。

今日は、2連敗をして、とても悔しいです。おやつなしにします。でも、いろいろ班長と協力して、解くことができましたし、楽しかったです。

負けたけど、班で協力して楽しくできた

今までの分からないことを生かしてやると、全問正解でした。今までの実験の中で一番楽しかったです。  
次からは実験が楽しいです。

自分たちで実験が出来たので良かったです。チャレンジ4回目で1敗したけどそれなりに自分たちで考えて観察が出来て良かったです。次回もがんばりたいです。

知識を活用する喜び

石少米唐と食塩の見分けが然々分が  
なくてびっくりしました。  
予想は違っていたけど、実験をする  
と分かったのが良かったです。

海切先生と勝負して3回目PEとPP  
で迷った結果PEにして負けてしま  
いました。でも、どれがPETなのかPEなのか  
など実験をすることで分かるということが  
分かりました。

プラスチックの性質が分かったのでよかったです。また、PETをX線やして引きのばすと、糸状繊維が出てきたので、おどろきました。次は先生に勝ちたいです。

今日海切先生には負けてしまったけどあと2試合あるので次は全部勝ちたいです。そのためにちゃんとよく習したいと思います。

先生に勝ちたい

先生に負けて、くやしいです。最後の気体が「ちっ素だ」と思ったけど、水素だったので、「もう1本もらさなければ」と思いました。次のチャレンジで勝ちたいです。

A~Dの気体はそれぞれ試験管1本しか内が、「もう1本くださいカード」を使えば、全部正解でも引き分け。担任似のガンブラー生徒たちで、どの班もカードは使いませんでした。

Dの時、まちがえたけど2  
勝負2敗で、チャレンジ的  
にはおもしろくなってま  
たと思えます。そして次は勝ちたい

勝負(授業)を  
楽しむ生徒の姿  
が見られます



今日は白い粉を見分けることができました。前回調べた性質を使って、説明までできたのでよかったです。説明(考察)では、しっかりとできてきたのでよかったです。



遊び感覚だけでなく、本来の理科の授業のねらいもちゃんと意識させています。

今日は、「?」のプラスチックが何かを調べました。それぞれプラスチックには特徴があるので、その特徴をしっかりと考えると何かが分かって、それが正解だったのでよかったです。

プラスチックはPPとPEが似ていてと迷ったけど、しっかりと見分けることができました。しかも、生活の中に使われているプラスチックのふしを調べたいです。

1つの物だけも実験するとおもしろいことか分かったし海切先生に勝てたし、実験だけがではなく考察もかけて、おもしろい発表できるように頑張りたいです。

今日は、ふしを見分けることができました。班のみかたで協力してチャレンジで勝てました。けれど、説明が言えなかったのが「A」にしました。次も勝つためにがんばりたいと思います。



# 資質・能力を育て鍛える指導方法の改善レポート

広南中学校（澤井 一郎）

**事例** 二酸化炭素中で物質が燃える現象を原子・分子の見方、考え方を活用して課題解決の達成感を味わうことで、こらからも学習した知識・技能を活用して課題解決に挑戦していこうとする姿勢を身に付ける。**挑戦心** **知識・技能**

（ねらい）既習事項とのギャップを体験することで、学習意欲を高め、課題解決の達成感を味わうことで、教科で学習した知識・技能を活用して課題解決していこうとする姿勢を身に付ける。

そんなことできるの？

（生徒は、とりあえず関心を持ちながら授業を受ける。）

**BEFORE**

マグネシウムを二酸化炭素の中で燃やしてみよう！

**AFTER**

消えるに決まってる！

この容器の中には二酸化炭素が入っています。ここに火のついた物質 X を入れるとどのようになるでしょう？

どうなりましたか？

消えずに燃え続けている！なぜだ？

これから学習することで、この謎が解明できるよ！

よし、この謎をといてやるぞ！

【生徒の振り返り】

今日は二酸化炭素の中でも燃えるものがあるんだということを知りました。木炭がスチールウールは燃え

物質 X はすごい物質なのか？と思ったりしました。二酸化炭素の中で物質が燃えたのは、物質 X が燃えると酸素が発生したからなのかなと思いました。

【初発の振り返り：疑問を見いだすことができた】

この授業の中で何となくつきた分子モデルは見て移動させて考えることができて、色々分かりました。最後のほうはなれて、化学反応がどうなっているか考えられるようになって、分かるようになったので嬉しかった。分かるようになるまでは大変だったけど、分かったからは楽しくて、面白いと感じる単元だったと思う。

【単元終了時：達成感を得ることができた】

根拠をもって説明することができた。途中全然わからなかったけれど、モデルを組み立てながら考えいき、最後には今まで習ったことを使って、根拠をもって説明することができた。協力・協働では、実際に班のみんな

そんな考えもあるのだよと考えました。そして、いろいろな考えをこいつらせることができて、いいです。それから、ちといろいろな考えを知れていいし、また、色々な化学式を予想するのも楽しくなってきた。またやりたいです。

ました。そして、酸化物から酸を取り出す方法を考えたときに、自分の予想がきちんとあっていたことが、いいって自信がとてきました。自分の考えをきちんと根拠を持って考えることが、何回も大切

【単元終了時：自分の成長を実感できた】

# 資質・能力を育て鍛える指導方法の改善レポート

広南中学校（堀江 幸子）

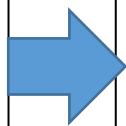
**事例1** 合唱において一人一人がパートの役割に責任を持ち、思考・表現する力を育てたい。

責任・使命 協力・協働 思考・表現

（ねらい）合唱では、人数調整や声の質で歌いたいパートを担当することができない場合がある。また、しっかり歌える生徒に任せてあまり声を出さずに歌う生徒もいる。そこで、合唱の時間では小グループを作り、創意工夫することで、協力・協働、責任・使命を育む手立てとした。（学校行事にて）

## BEFORE

- 各パートで音取り
  - ・ソプラノ
  - ・アルト
  - ・男声
- 合唱（教師が指示）



## AFTER

- 各パートの音取り
- 小グループA（ソプラノ、アルト、男声）各2名ずつ
- 各小グループでハーモニー、歌い方等の確認
- 合唱

## BEFORE

各パートで音取りをして、その後合唱します。

## AFTER

今からソプラノ、アルト、男声が混じった5、6人のグループを作ります。

各グループで、〇〇～の所をどのように歌ったらいいかみんなで意見を出し合  
って、歌いながら試してみましょう。

ちょっとハーモニーを確認しよう。  
ここ f がついてるから大きく歌おう。  
やってみよう！



事例1 マラソン大会本番で、いい走りをするために、考えて走る力を鍛えたい。 思考・表現 知識・技能

速い人だけがいいのではない。自分の体力に見合った最大限の力を出すことの大切さを理解させる

BEFORE

今日から練習をします。常に全力で走りましょう。  
ゴールのタイムを毎回記録しましょう。タイムが速いほど得点が高いです。(全力で走ることだけを指示)

AFTER

タイムが速いことは大切です。でも、苦手な人もそれぞれの目標タイムをクリアしていきましょう。毎回タイムを更新していくと得点が高くなります。(自己記録更新をねらわせる)

呉市の新体カテストの1年生、2年生、3年生の平均タイムも意識することが大切です、これらの記録より速いと得点が高くなります。(新体カテストを利用する)

そして自分のペースをつかむことが大切です。1週ごとのラップタイムを確認しながら走りましょう。1周を平均的に走ることで得点が高くなります。(走り方を考えさせる。)

事例2 ICTを使って走り方を分析する能力を鍛えたい。 情報収集・判断

見本の走りだけを見るのではなく、自分の走りをビデオで見て、比較して技能の向上に結び付ける

BEFORE

男子100m走の桐生選手の走りを見て、フォームを分析しなさい。

AFTER

自分の走り方と男子100m走の桐生選手の走りを見て、フォームを分析しなさい。

事例3 運動会のリレーで、観客を魅了したいという気持ちをもたせ、バトンパスの技術を鍛えたい。 知識・技能 感謝 挑戦

発表の場をつくることでモチベーションを上げる。観客に見に来てよかったと思えるリレーができることは自然とバトンパスの技術が向上につながる。

BEFORE

リレーの授業をします。リレーではバトンパスが重要なポイントです。アンダーハンドパスをします。後ろを見ない、減速しないようにバトンパスをしましょう。

AFTER

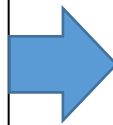
リレーの授業をします。運動会の日が最終テストです。観客の人が魅了されるようなアンダーハンドパスをしましょう。バトンパスのポイントはノールック・減速無しです。

資質・能力を育て鍛える指導方法の改善レポート  
広南中学校（ 廣澤 良美 ）

事例1 さまざまな文化やその背景についての情報を収集し、共有して理解を深める。  
情報収集・判断 協力・協働

（ねらい）情報を一人一人の知識として留めることなく、まとめて人のものと比較しながら主体的・対話的に情報を確認することで、より深い学びと表現力の向上につなげる。

資料プリントを配付し、全体で読んで教師の質疑に応答して内容を確認する。

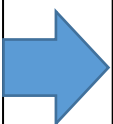


資料プリントを個人で読んでまとめる課題を提出させ、グループで人のまとめたものを比較して良いところを挙げていく過程で資料内容を再度確認するとともに理解を深め、自分の意見を述べる力を育成する。

事例2 本文中の英文や会話から情報を収集し、複合的に判断する力を身に付ける。  
情報収集・判断 知識・技能

（ねらい）英文和訳の活動ではなく、英文全体を理解したうえで必要な情報を取捨選択し、実際に表現されていない内容について根拠に基づいて状況を判断する力を養う。

英文の中に書いてあることについて教師が質疑し、生徒が応答して内容を理解する。



英文の内容にある情報をいくつか適切に選択して、英文に書かれていない答えを導き出す情報収集力と判断力を培う。

BEFORE

書かれていることについて質問する。

その書かれている内容を理解して答えることで終わる。

AFTER

書かれていない内容について「どう思いますか」と英文を複合的に理解したうえで判断される意見を尋ねる。

～と思います。

どうしてそう判断しましたか？

有用な情報を判断し、根拠を説明させる

ここに～と書いてあるからです。

他の生徒から、別の根拠が挙げられる

ここには～と書いています。

# 資質・能力を育て鍛える指導方法の改善レポート

広南小学校（越智 しのぶ）

事例1 してもらったことについて感謝の気持ちを持ち、心から「ありがとう。」と言える児童の育成。

感謝・貢献

協力・協力

責任・使命

（ねらい）嬉しいと感じたことについて話し合い、感謝の気持ちを意識し、言葉や態度で表す。

## BEFORE

給食の準備をしてくれた6年生さんに、お礼を言いましょう。

（指示されて初めて）ありがとうございました。

学校行事で異学年と交流するたびにしてもらって嬉しかったことについて話し合い感謝を意識する時間を持つ

## AFTER

明日から みんながお世話になっている6年生さんは、修学旅行です。

そうなんだ。雨が心配なのでてるてるぼうずを作らない？（主体的な発言）

事例2 ふるさと「広南」のよさに気付き愛着をもつ。

情報収集・判断

思考・表現

（ねらい）自分たちが住み、生活している「広南」の自然や地域に触れる活動を通して、故郷を知る。（生活科）

ふるさとしてなに？

みんなが生まれ育った場所だよ。

住所のこと???

## BEFORE

「なつみつけ」「あきみつけ」でワークシートに見つけたものを記録していく際、「広南の〇〇」（広南のどんぐり、広南の神社など）と見つけたものに名前をつけさせる。

## AFTER

見つけたものには、名前をつけてワークシートに書こうね。

広南のどんぐりさんって、かわいい！（愛着）

入り江神社にきたら、家に帰ってきたみたいな気分になるよ。（ふるさと意識の芽生え）

# 資質・能力を育て鍛える指導方法の改善レポート

広南小学校（吉野 剛二）

**事例1** どうすればうまく跳ぶことができるかが分かり、目標回数を跳ぶことにチャレンジする。

挑戦・探究 協力・協働

（ねらい）長縄を跳ぶ楽しさを知り、記録に挑戦することを通して、みんなで一つのことをやり遂げる達成感を味わうことができる。（体育科 くれチャレンジマッチ）

## BEFORE

「全員が跳べるようになろう」とめあてを設定した。

跳べない児童が数名いた。集中していなくて流れに乗り遅れたり、遊んだりしている児童や上手く跳べないので長縄をあまりしたがない児童もいた。記録は2分間で40回程度だった。

また、「縄を回したい人」と尋ねると、回したい人が多すぎて困った。

## AFTER

めあてを「100回跳べるようになろう」に設定した。上手な児童を見付け、「上手なところはどこか。」と問いかけ、上手く跳ぶコツを見付けさせた。跳べる児童の前に跳べない児童を並ばせ、児童どうしが自然にアドバイスし合えるようにした。

回し手は、日を決めて順番にした。

全員が跳べるようになった。回し手もじょうずになり、跳ぶことに集中できるようになった。

長縄の楽しさが分かり、長縄が大好きな児童が増えた。最高記録2分間で100回、連続跳びで148回跳ぶことができた。



前の人の背中を押して、教えてあげている。

どの児童も前を見て、長縄に夢中になっている。

回し手を児童だけでできるようになってきた。





# 資質・能力を育て鍛える指導方法の改善レポート

広南小学校（ 平田 千晶 ）

**事例 1** 時間を守って行動させたい。

挑戦・探究 責任・使命 協力・協働

（ねらい）ルブリックをより具体的な姿で提示することで、児童自身で評価し、現状を把握できるようにする。そして次に目指すべき姿を児童自身にもたせることで、めあてに向かって意欲的に取り組んでいこうとする意欲をもたせる。

**BEFORE**

生活目標の振り返りをしましょう。

時間を守るってどういうこと？

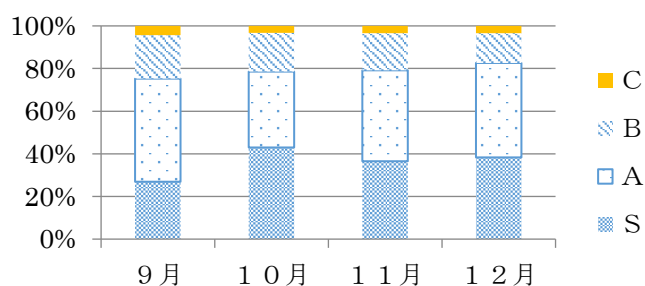
ぼくって、ルブリック S なの？ A なの？

**AFTER**

ルブリックをより具体的な姿で提示。

評価規準	
<b>S</b>	次の準備をすませ、チャイムが鳴る前に席に着くことができる。
<b>A</b>	チャイムまでに次の準備をすませ、チャイムを聞いてから席に着くことができる。
<b>B</b>	チャイムを聞いて、席に着き、準備をすることができる。
<b>C</b>	チャイムが鳴り終わっても、準備をしたり席に着いたりすることができない。

時間を守って行動した時と時間を守って行動することができていない時がありました。時間を守って行動できた時は、チャイムが鳴る前に座れました。行動できなかった時は、チャイムが鳴ってからすわっていました。だから直したいです。（3年生）



全校				
	9月	10月	11月	12月
<b>S</b>	26.9	43.0	36.5	37.9
<b>A</b>	48.4	35.5	42.6	44.0
<b>B</b>	20.4	18.3	17.4	13.8
<b>C</b>	4.3	3.2	3.5	3.4

9月と10月は、チャイムが鳴ってからせきについてじゅんぴをしていました。でも、11月からは、じゅんぴをすませてチャイムを聞いてから、せきに着くことができたのでよかったです。三学期はチャイムが鳴る前にせきに着くことができるようになりたいです。（3年生）

# 資質・能力を育て鍛える指導方法の改善レポート

広南小学校（末長 直子）

【事例1】児童に興味・関心をもたせ、単元での学習に対して意欲をもち、考え、表現する力を身に付けさせたい。 **思考・表現** **挑戦・探究**

（ねらい）単元の学習に意欲をもって取り組み、学習で身に付けた力を活用できるようにする。

## BEFORE

・「式と計算の順じょ」の学習にあたり、教科書の発展問題を導入に提示する。

## AFTER

・児童の身近な生活と関わる事案を挑戦問題「クイズ王にチャレンジ！ナンバー10」を解き明かせ！」として提示する。  
教師の車のナンバーをいくつか提示し、4桁の数字を使い10を作るよう投げかけた。どの児童も興味をもち取り組んだが、なかなか解けず、四則計算や（ ）を使った計算の順序の学習への意欲付けとなった。単元の学習を終えて再挑戦したところ、解けるようになった児童がかなり見られた。

【事例2】先人の伝記を読むことを通して、自分の将来に関わって必要なことを見付け、夢に向かい学んでいこうとする力を身に付けさせたい。

**情報収集・判断** **挑戦・探究**

（ねらい）自分の将来の夢を漠然とした思いでもつのではなく、先人の生き方から学んだことを根拠に、今できること、今からやっていきたいことを明確にし、将来の夢に向かい、努力や挑戦をしていく姿勢を身に付ける。

## BEFORE

～ 将来の夢 ～

将来の夢は何ですか。それぞれが思っていることを書いてみましょう。

パティシエになって、みんなを笑顔にしたい。自分が作ったケーキを食べてみたい。

カッコいいからドクターになりたい。

自分の夢に向かって、頑張っていきたい。

## AFTER

先人の伝記を読んで、将来の夢について考えましょう。

二宮金次郎は、子どもの頃は、とても苦勞をしたそうです。大人になると農民たちを救って喜ばれました。わたしも努力をして、みんなに喜ばれるケーキを作りたいです。これからも二宮金次郎のように、勉強熱心になり努力をして、人を助けたり喜ばせたりできる人になりたいです。

毛利元就の三人の子を三本の矢に例え、「一本なら簡単に折れてしまう矢も三本の束にすると容易には折れない。」という言葉聞いて、一人ではどうにもならないことも、みんな協力することにより、できるようになることが分かりました。わたしも、みんなでいろいろ協力しながら勉強を頑張っていき、夢をあきらめず医者になりたいと思います。

わたしは、先人から自分が好きなものを見付け、熱中するすばらしさ、それをずっと続けていくことの大切さを教えてもらいました。いつも高いところを目指して努力を続けていたそうです。わたしも、夢に向かってあきらめずに、高いところを目指して努力していきたいと思います。

# 資質・能力を育て鍛える指導方法の改善レポート

## 広南小学校（川口 淳）

**事例1** どうすれば広南地区を災害から守ることができるのか考え、実践できる能力を育てたい。

情報収集・判断 協力・協働

（ねらい）いろいろな災害について理解し、広南地区を災害から守るためにはどうしたらよいか考え、みんなで協力して実践することができる。（総合的な学習の時間）

### BEFORE

広島市の土砂災害を教訓に、いろいろな自然災害について調べた。児童は、いろいろな自然災害があることは分かったが、自分たちが何かをしようという意識まではもつことができなかった。

### AFTER

地域のゲストティーチャーに来ていただき、広南地区の過去の災害や被害について話を聞くことで、防災に関する意識が高まってきた。また、地域での防災活動を思い起こしたり、避難訓練などの活動を振り返ったりすることで、自分たちにも何かできるのではないかという意識が芽生えてきた。

### BEFORE

災害について調べましょう。

いろいろな自然災害があるんだなあ。

自然災害ってこわいよねえ。

### AFTER

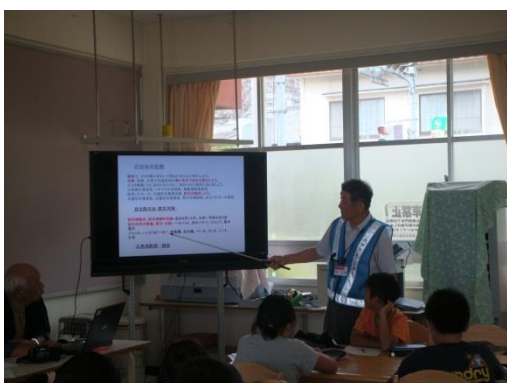
ゲストティーチャーのお話を聞いて、思ったことは？

広南地区でも昔は大きな災害が起こったんだねえ。

ぼくたちにできることはないかなあ。

学習発表会でみんなに呼びかけようよ。

ポスターを作って貼ろうよ。



## 資質・能力を育て鍛える指導方法の改善レポート

広南小学校（西河内 千代美）

**事例1** 修学旅行において、どのような活動ができるのか見通しをもち、児童が自主的に活動し、協力し合う力を身に付けさせたい。また、5年生に見学して分かったことを、どのような内容にしたらより分かりやすく伝えることができるのか考え、表現を工夫する力を高めさせたい。

挑戦・探究

協力・協働

思考・表現

（ねらい）修学旅行の日程を学習し、それぞれの活動において、自分がどのように動いたり係活動ができるのかを考えたりすることで、自主的に活動し、友達と協力し合ってやり遂げる力を身に付けさせる。また、5年生への発表に向けて、伝えたい内容を分かりやすく表現する方法を身に付けさせる。

BEFORE

修学旅行で出発式をします。児童代表の言葉を言ってね。保健係は健康観察をしてください。

教師の指示に従って係活動を考える。

AFTER

修学旅行で出発式をします。それぞれの係でどんな活動ができそうか話し合しましょう。

自分の係では、修学旅行の出発式にできる活動は何があるかを話し合う。

BEFORE

5年生に修学旅行について分かりやすく説明しよう。

AFTER

分かったことや楽しかったことを発表する。

5年生に修学旅行について分かりやすく説明する方法を考えよう。

内容に合ったイラストや写真を入れよう。

覚えてほしい内容だからクイズにして出そう。



## 資質・能力を育て鍛える指導方法の改善レポート

**事例 1** 情報を読み取り、実験に必要な器具や設置の仕方を考え、正しく安全な方法で調べる力を育てたい。

情報収集・判断

協力・協力

知識・技能

(ねらい)教師に言われたままをするのではなく、自ら写真や説明を読むことによって、正しく安全な実験方法を考えて準備をすることで、主体的に学ぶ態度を養うとともに、実験についての知識や理解を身に付け、今後の実験にも生かせるようにする。

### BEFORE

今から実験をします。〇〇を取りに来てください。まず最初に・・・・・・を置きましょう。・・・・・・

言われたとおりにすればいいんだな。

誰かがしてくれるから大丈夫。

### AFTER

今から実験をします。〇ページをよく見て、安全に実験ができるよう準備をしましょう。困ったときには手を挙げましょう。

何が必要なんだろう。どう置けばいいかよく見なくっちゃ。

ここはこれでいいと思う？

沸騰石を入れると書いてあるよ。

では確認します。温度計の液だめは、水の中に浸かっていますか。(安全確認をする。)

毎回行うには時間がかかるので難しいが、教科書から情報をしっかり読み取り、自分たちで実験準備をすることができ、自信をつけることができた。また、一人では不安なことも、グループの人と相談し協力しながら取り組もうとする姿が見られた。

### (3) 広南学園生活ルーブリックの活用について

(ねらい) これまで広南学園では、「時を守り，場を清め，礼を正し，学びを求める」をめざすこども像とし，中学校では，それを「生徒の心得」の中で示すとともに，その中で共通に取り組む礼節指導，たとえば，「心を込めた深い礼」や「立腰指導」を「広南しぐさ」ということばで子供に伝えることで，意識付けを図ってきた。

しかしながら，児童生徒が自分の状態を見取り，また，教師から，その評価を返すことはしていなかった。このたび，ルーブリックの研究を進める中で，生活の振り返りにおいてもルーブリックを活用し，学期ごとに，児童生徒の自己評価に合わせ，教師の評価を加え，学期を振り返る機会をもつこととした。このルーブリックについては，元警固屋中学校長 芦谷先生がつくられたものをもとに作成した。また，そのことを生徒・保護者・教職員で共有する方法として「5つの合い言葉，2つの約束」を作成した。なお，これは，三次市立塩町中学校区のものをもとに作成した。

#### ◇生徒心得◇

呉市立広南中学校

自立に向かって主体的に生きるとともに社会に貢献できる自分と仲間をつくるため，広南中学校の生徒の一員としての自覚と誇りを持ち，次の4箇条を心に置いて，ルールを守り，みんなが楽しく生活できる学校づくりに貢献することを誓います。

1. 「ノーチャイム」の意味を理解し「時を守る」ことを大切にします。
1. 「清潔」「整理整頓」を心に「場を清める」ことを大切にします。
1. 「礼節と思いやり」の伝統を守り，「礼を正す」ことを大切にします。
1. 校訓「不かく尋ね高く志す」を胸に「学びを求める」ことを大切にします。



広南学園 生活目標「時を守り，場を清め，礼を正し，学びを求める」ルーブリック

年 組 氏名 ( )

	<時を守る人> 時を大切にすることができる	1学期		2学期		3学期	
		自己評価	評価	自己評価	評価	自己評価	評価
S	授業開始時間の前に授業の準備を終え，授業の予習・復習をしながら待つことができる						
A	授業開始時間には授業の準備を終えて座ることができる						
B	授業開始時間には着席することができる						
C	授業開始時間に時々，遅刻することがある						

	<場を清める人> まわりを美しく整えることができる。	1学期		2学期		3学期	
		自己評価	評価	自己評価	評価	自己評価	評価
S	学び生活する場所を美しくすることで自分の心も磨かれるので，掃除が苦にならない						
A	担当の場所でなくてもゴミが落ちていたら自分で拾い，環境を整えることができる						
B	そうじ場所を少しでも美しくするために，誠実にそうじに取り組んでいる						
C	そうじの場所に行くが，しかたなくそうじに取り組んでいる						

	<礼を正す人> 相手を大切にする礼節が身についている人	1学期		2学期		3学期	
		自己評価	評価	自己評価	評価	自己評価	評価
S	時と場に応じた相手を大切にする礼節を身に付けている						
A	礼儀正しくあいさつができ，敬語がきちんと言える						
B	自分から目上の人や友達にあいさつができる						
C	自分から目上の人や友達にあいさつができない						

	<学びを求める> 学び続ける大切を理解し，求め続ける人	1学期		2学期		3学期	
		自己評価	評価	自己評価	評価	自己評価	評価
S	興味を持ったことには自主的に調べたりすることで学びを深めたりすることができる						
A	誠実な態度で授業に取り組み，学習内容を理解するためによく努力している						
B	先生の指示に従って学習（授業・提出物等）に取り組んでいる						
C	学習道具を整えて授業に取り組むことができない						

広南学園 5つの合言葉・2つの約束

5つの合言葉

- 「時間を大切にす」子ども
- 「整理整頓ができる」子ども
- 「あいさつをする」子ども

「時を守り、場を清め、礼を正し、学びを求め人になろう」

2つの約束

- 「話をよく聞く」子ども
- 「自分の思いを伝える」子ども
- 「家庭学習を毎日する」子ども
- 「テレビ・ゲーム・SNS利用のルールを守る」子ども

広南学園 ほめる・認める・勇気づける「5つの言葉・2つの約束」

携 5つの合言葉	低学年			中学年			高学年			中学校		
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	中1	中2	中3
	初期			前期			中期			後期		
5つの言葉	① 時間を大切にす	きめたじかんにねるおきる・食する	時計を見て次のじゆんびをする	使ったものをあつたところにきれいに	決めた時間を守り時間内にやりきる	決めた時間を守り時間内にやりきる	次の予定に応じて計画的に行動する					
	② 整理整頓できる	つかったものをあつたところ	使ったものをあつたところにきれいに	自分から進んで顔をみて	必要なものを取り出しやすく	必要なものを取り出しやすく	周辺のもの进行分类し使いやすく					
	③ あいさつをする	じぶんからげんきよく	自分から進んで顔をみて	自分から進んで顔をみて	自分から進んで相手に雇くように	自分から進んで相手に雇くように	自分から進んで相手に雇くように	時と場に応じてさわやかに				
	④ 話をよく聞く	はなす人からだをむけてさいごまで	うなずいたり質問したりできるように	うなずいたり質問したりできるように	メモをとり相手と自分の考えを比較して	メモをとり相手と自分の考えを比較して	メモをとり相手と自分の考えを比較して	自分を知り相手を理解しようとして				
	⑤ 自分の思いを伝える	あいてのかおをみながら	けつろんを先に理由をつけて	けつろんを先に理由をつけて	根拠に基づき明確に	根拠に基づき明確に	根拠に基づき明確に	伝える内容と声・表現を豊かに				
2つの約束	⑥ 家庭学習を毎日する	じかきをきめてやりきる(よみ・かき・計さん)	復習・予習の習慣	復習・予習・自主学習を計画的に	復習・予習・自主学習を計画的に	復習・予習・自主学習を計画的に	復習・予習・自主学習を計画的に					
	⑦ テレビ・ゲームSNS利用のルールを守る	親子で話し、使うルールを守る	復習・予習の習慣	復習・予習・自主学習を計画的に	復習・予習・自主学習を計画的に	復習・予習・自主学習を計画的に	復習・予習・自主学習を計画的に					
		30分	40分	50分	60分	70分	80分	90分	100分	120分		
		(例) 時間を決める・食事中はしない・9時以降はしない・使わない日を決める等(一日2時間以上のSNSの使用は2時間の学習成果を0にするばかりではなく、脳の発達に悪影響があることが研究機関の調査で明らかになっていきます。裏参照)										



## 「**脳の解析データを**見て**絶句し**、**自分の子どもにスマホを与えたことを後悔しま**した。」

(脳科学者 川島隆太) 『2時間の学習効果が消える！やっつけてはいけない脳の習慣』(青春出版社) 前書きより

テレビやゲーム、あるいはスマホが脳に与える影響について、小中高生7万人のデータを集め、解析するとともに実際に脳にどのような影響を与えるのか医学的に研究している脳科学者がいます。ここでは、その本の中で紹介されている内容の一部を紹介いたします。詳しくは、上に紹介した本に書いてあるので、ぜひ読んでみてください。

(スマホ・LINEを長時間使用していると、) **家庭で平均2時間以上も勉強している子が、ほとんど勉強していない子より成績が悪い**という衝撃的な結果。」(P18)

「LINEを長時間、習慣的に使用することで、**脳の形が変わってしまい、集中力や注意力の低下**につながったと考えられる。」(P40)

「**どんなに長時間勉強してもゲームをしてしまうと、勉強した効果が打ち消されてしまう。**」(P66)

「**ゲームプレイ時間が長い子どもの脳は、脳内の各組織の発達に遅れが見られる。**」(P72)

「テレビを見る時間が長い子どもほど**言語性知能が低く**、3年後の変化量も小さいことから、**その後の言語能力の発達が遅くなってしまう**」(P80)

『二時間の学習効果が消える！やっつけてはいけない脳の習慣 小中高生7万人の実証データによる衝撃レポート』

川島隆太【監修】横田晋務【著】

青春出版社 出版 2016年 発行

注・・・太字、( )は筆者

# IV 付録

○平成29年度開発単元の紹介

○平成30年度「資質・能力」の育成に係る  
年間指導計画

学習指導案やワークシートは、広南中学校HP (<http://www.kure-city.jp/~hirmc/>) に掲載しています。ダウンロードできますので、多くの方に活用して頂き、ご意見等頂けますと幸いです。

## 目 次

### 開発した教科の単元

国語科	「反対意見を想定して意見文を書く」	IV- 1
数学科	「平方根」	IV- 2
理科	「光の世界」	IV- 3
理科	「ものが燃えるしくみを解明しよう」	IV- 4
保健体育科	「陸上競技（リレー走）」	IV- 5
技術・家庭科	「子どもの成長と環境」	IV- 6
外国語科	「新しいA L Tの先生に日本文化を紹介しよう」	IV- 7

### リニューアルした総合的な学習の時間の単元

第1学年	「魅力的な生き方探し」	IV- 8
第1学年	「伝統文化を受け継ごう」	IV-11
第2学年	「運命の仕事に出会うために」	IV-14
第2学年	「広南起業PROJECT」	IV-17
第3学年	「FOR THE NEXT STEP」	IV-20
第3学年	「未来貢献PROJECT」	IV-23

### 平成30年度「資質・能力」の育成に係る年間指導計画

第1学年	IV-26
第2学年	IV-27
第3学年	IV-28

# 「反対意見を想定して意見文を書く」

挑戦問題 『相手の意見を変える, ポスターセッションに挑戦しよう。』

本単元で育成する資質・能力

知識・技能 情報収集・判断 思考・表現 挑戦・探究 責任・使命 協力・協働

## 期待される生徒の変容

2種類の説明文を読むことにより、「反対意見を想定した意見文」の書き方について情報収集し、反対意見を想定すること、小見出しを付けること、ことわざや故事成語を用いることをまとめ、1学年で作った意見文を作成するための「虎の巻」第2弾を追記する。その中で、自分たちの興味のある社会的問題についてのポスターセッションのポスターを完成するために、上記の工夫点を取り入れ、どのような言葉を用いると、聞き手の意見を変えるようなポスターになるか、協働しながら試行錯誤する。

## 平成29年度の取組より

### Before 【生徒の振り返りシートより】

- ・自分の必要な資料を集めることができたが、ここから取捨選択することが難しい。相談して決めていきたい。
- ・ことわざをいくつか調べたが、どのように使えば効果的か、よく分からない。
- ・資料を集めた。どのように配置するかも分かったので、実際に配置してみたい。
- ・インタビューしたら、反対意見と賛成意見と半々だった。自分たちの考えの根拠となる資料を集める必要がある。
- ・自分たちの主張の柱になるところに、どのような故事成語が入るか、辞書を使って調べることができた。



### After 【振り返り】

- ・「救急車は有料化すべきか」について、インターネットでは資料が膨大にあって、他の人を説得できるような資料を探すのがとても大変でした。言葉や資料を効果的に使うことで、人の考えを変えられるということを実感できました。
- ・1年生にポスターセッションをしたので、分かりやすくするために、どうしたら分かりやすくなるか、どうしたら興味を持ってもらえるかを考えてしっかり練ることができました。途中で他の班の人に見てもらって、課題や改善点を見つけられたので、よかったです。
- ・他の班の発表を聞いてとてもびっくりしました。ポスターに付箋を貼っておく等の工夫もテレビみた
- いでおもしろかったし、英語の先生に実際にインタビューして説得力を増している発表もあって納得することができました。自分たちの班は、故事成語を考えるのがとても大変でした。
- ・「高齢者の運転」について、自分たちは「賛成」の立場だったけど、途中で「反対」の意見の方が分かりやすいのではないかと考えるようになりました。でも、「賛成」と決めて、みんなに納得してもらうための工夫を班で話し合いながら進めることができたと思います。
- ・人を説得させるためには、「話し方」だけではなく、ポスターで使う図表や、タイトル、使っている言葉も重要だということがわかりました。途中で他の班の人から意見をもらったとき、自分たちだけでは気づかない改善点を指摘してもらったので、そこからもっと分かりやすくするために改善することができました。
- ・私はよく「語彙力がない」と言われますが、今回のポスターセッションを通して、表現や言葉の一つ一つにこだわって作ることができました。どうしたら分かりやすくなるかという視点で、表現方法を考えました。完成したときは、達成感がありました。他の班のポスターもいろいろ工夫してあって、すごいと思いました。

班練習の様子



## 平成30年度指導計画・ワークシートの改善のポイント

- ・主体的な学びになるよう、身近な社会的問題を自分たちで探し、その課題についての発表にする必要がある。
- ・今回はポスターセッションの実際の様子を動画で見せることは効果的だったが、1年生は今回、聴衆として参加できたので、来年度の実践の時はイメージしやすくなった。



## 「平方根」

## 挑戦問題 『掛け軸の謎を解こう！～さしがねの秘密～』

本単元で育成する資質・能力

知識・技能 情報収集・判断 思考・表現 挑戦・探究 責任・使命 協力・協働 感謝・貢献

## 期待される生徒の変容

単元で学ぶ平方根に関する知識や技能を活用し、掛け軸の中のさしがねの角目の仕組を協働して解明することができる姿

## 平成29年度の取組より

課題解決学習として1年次より同じキャラクターが登場するシリーズとして学習を進めており、今回は最後の単元と言うことで生徒も非常に意欲的な雰囲気でのスタートとなった。掛け軸の聖徳太子が持つさしがねについて調べ、普段使っているものさしと違うことや、さしがねを使うことによって瞬時に解決できる技などから、さしがねに疑問を持たせ解明したいという志を抱かせた。そこでこれまで使っていた数では表せない数である数の平方根があることに気付かせ、その新しい数にも大きさがあることや計算できること発見させ、続けて計算の習熟を図った。また生活の中にも多く存在し、必要不可欠なものであることに具体的な場面から見出させた。最後に、挑戦問題を解かせることで解決を図るとともに技術科へのつながりを示した。



班で協働してさしがねを詳しく調べる様子

## Before 【生徒の振り返りより】・

- ・さしがねともものさしでは全然違っていたのでびっくりしました。じっくり見るとこんなに違いがあることに気付きました。なぜこんなに違うのだろう。
- ・目盛の間隔が全然違っていることがわかりました。さしがねに色々な使い方があることにも驚きました。
- ・漢字が書いてあって意味が全くわからなかった。何で書いてあるのか、どういう意味があるのか早く知りたい。

## After 【生徒の振り返りより】

- ・平方根を初めて見たときはどんな数があったかわからなかったけれど、学習していくと、自分の身近にたくさん使われていることがわかりました。他にも平方根は昔から使われていることもわかってとてもびっくりしました。他にも使われているところがあるか探してみたい。
- ・なぜ平方根の勉強なのにさしがねや聖徳太子が出てくるか疑問でいっぱいでした。疑問が増えるからもっと知りたくなりました。グループのみんなと協働して問題を解いたり、たくさん発見をしたりして、新しい数について楽しく学習できました。
- ・面積が2や3の正方形なんて絶対にかけないと思っていたけど、かけたので驚いた。数はもう全部知っているつもりだったのに、新しい数があるなんて驚いた。もっと数について知りたい。

## 平成30年度指導計画・ワークシートの改善のポイント

- ・挑戦課題の解決を目標にするだけでなく、さらに挑戦・探究できるような課題を設定させ、取り組ませる活動を行いたい。また、他の単元で行っている算額作成へと繋げたい。

## 「光の世界」

- 挑戦問題1 『直進するはずの光が水流にそって曲がるのはなぜだろうか？』  
 挑戦問題2 『望遠鏡を使うと、なぜ遠くの小さなものが大きく見えるのだろうか？』

本単元で育成する資質・能力

知識・技能 情報収集・判断 思考・表現 挑戦・探究 協力・協働

## 期待される生徒の変容

直進するはずの光が曲がるという現象について疑問を持ち、問題解決のために、光に関わる情報を収集し、整理・分析する中で、光の反射や屈折の規則性を見つけ出し、凸レンズの性質を活用して、問題を解決していこうとする生徒の姿が期待できる。

## 平成29年度取組より

## Before 【生徒の振り返りシートより】

- ・小学校では光は直進するというふうに習ったけど、動画を見ると曲がっていた。なぜ光は曲がっていたのかについて、これから調べていきたい。
- ・レーザーの光が水の流れて沿って曲がっていた。どういしくみなのだろうか。
- ・万華鏡、とてもきれいだった。どんなしくみなんだろう。
- ・虫眼鏡で遠くの景色を見ると、逆さまに見えた。しかも、小さかった。でも、望遠鏡を使ったら、大きく見えた。
- ・望遠鏡は、レンズを2つ使っていることが分かった。でも、どうしてレンズを2つ使うと大きく見えるのだろうか。知りたい。



光の屈折について調べている実験のようす

## After 【振り返りシートより】

- ・光がガラスから空気中に進むとき、角度が45度以上になったら、全反射することが分かった。
- ・全反射を使えば、水の流れて沿って光が曲がって見える現象を説明できそう。
- ・レーザーの光は、水の中を全反射しながら進んでいると思った。動画を見てみると、かすかに光が全反射しているのが見えたから、間違いはないと思う。解明できてうれしい。
- ・望遠鏡のしくみが分かった。なにげなく見ている望遠鏡だけど、ちゃんとそのしくみが説明できてうれしい。
- ・光の作図が難しかったけど、挑戦問題を解くのは、おもしろかった。



天体望遠鏡のしくみを班で話し合っているところ

## 平成30年度指導計画・ワークシートの改善のポイント

1つ目の挑戦問題である光の全反射については、かなり分かりやすく、生徒が全反射の存在に気づいた後、再び動画を視聴させると、水の流れて沿ってレーザー光が全反射しているのが再発見でき、生徒のレポートもほとんど正しく書けていた。しかし、2つ目の挑戦問題である望遠鏡のしくみについては、まず、凸レンズによってできる像を作図するということが、まず大きな壁となった。その部分が十分でなかったことにより、望遠鏡のしくみの作図が正確に書けていない生徒がいた。さらに、作図はできていても、作図の説明文が書けない生徒はかなり多かった。まずは、凸レンズの実験と作図を照らし合わせて考えさせることを十分に行っておいた上で、作図練習を十分に行っていくことが必要と考える。個人レポートを書く前に、班で望遠鏡のしくみの作図について十分に考えさせてからレポートを書かせていきたい。

# 「ものが燃えるしくみを解明しよう」

## 挑戦問題 『二酸化炭素中でもものが燃えるしくみを解明しよう!』

本単元で育成する資質・能力

挑戦・探究 知識・技能 情報収集・判断 思考・表現 協力・協働 感謝・貢献

### 期待される生徒の変容

物質の酸化や還元の実験を行い、酸化や還元が酸素の関係する反応であることを見出すとともに、原子や分子の見方、考え方を活用して、二酸化炭素中でもものが燃えるしくみを解明できる姿。

### 平成29年度の取組より

最初に、燃焼しているマグネシウムが二酸化炭素で充満させた集気瓶中でも継続して燃焼する事実に向き合わせ、その謎を解きたいという志を抱かせた。そこで「なぜ、酸素が無い状況下で燃焼を続けるのか」等、いろいろな疑問を発見させながら、挑戦問題「二酸化炭素中でもものが燃えるしくみを解明しよう!」を提示した。挑戦問題を受け、この問題を解決するためには、物質が燃えるときにどのような化学変化が生じているかを見出し、それらの変化を原子や分子の見方、考え方で予測することができるようになる力が、問題解決に必要な準備であることに気付かせた(課題発見)。そして、金属の酸化物から酸素をとって純粋な金属を取り出すには、その金属よりも酸素と結びつきやすい別の物質と酸素を反応させ、酸化物を還元することを見出させた。さらに、このときの化学変化では「酸化」と「還元」が同時に行われていることを見出させ、問題解決の力を育てた。最後に挑戦問題を解かせることで問題解決を図り、発展問題として、アルミニウムを使って酸化鉄を還元するテルミット反応の化学反応の解明に挑戦した。



原子・分子モデルを思考ツールとし、協働して問題解決を行う。

### Before 【生徒の振り返りより】

- ・今日は二酸化炭素の中でも燃えるものもあるんだということを知りました。
- ・二酸化炭素中で燃えた物質Xは、今までの知識では分からないような物質なのかもしれない。
- ・反応後の物質が黒色から白色に変わっていたので、ロウか酸化銀が関係していると思った。
- ・反応後に黒い物質があって、鉛筆に似ていたので黒鉛が関係しているのかなと思った。
- ・物質Xの燃え方が、教科書の載っていたダイヤモンドの燃え方に似ていたから、たぶん鉱石が関係しているのだと思う。

【既有知識とのズレから、疑問を見出すことができた】

### After 【生徒の振り返りより】

- ・途中全然わからなかったりしたけど、モデルを組合せながら考えていき、最後には今まで習ったことを使って、根拠を持って説明することができた。
- ・班員といろいろな考えを交換させることができうれいす。また、色々な化学式を予想するのも楽しくなってきました。またやりたいです。

根拠をもって説明するこじができました。途中全然わからなかったりしてけど、モデルを組合せながら考えていき、最後には今まで習ったことを使って、根拠を持って説明することができました。協力・協働では、実験で班のこじ

【達成感を得ることができた】

### 平成30年度指導計画・ワークシートの改善のポイント

- ・本単元の資質・能力ループリックのうち、「責任・使命」「協力・協働」「感謝・貢献」のS基準を、可能な限り単元に落とし込んだ具体的に改訂することで、本単元の完成度の向上を図る。



# 「陸上競技(リレー走)」

挑戦問題

『目指せ世界一のリレー!』

本単元で育成する資質・能力

挑戦・探究 協力・協働 思考・表現 情報収集・判断 知識・技能

## 期待される生徒の変容

リオ五輪男子400mリレーでの日本代表チームの活躍をみて、銀メダルを獲得した日本代表チームを誇りとし、お家芸であるバトンパスの向上に挑戦する。リオ五輪や自分達のリレーのビデオを見て、情報を収集しながら、バトンパスについて思考力・表現力の育成をはかる。その中で意見を交わし仲間と協力・協働することでチーム力、バトンパス技能を磨き、助け合いながら全員で挑戦問題クリアに向けて取り組む挑戦・探求力を育成していく。

## 平成29年度の取組より

### Before 【生徒の振り返りシートより】

- ・ 挑戦問題「目指せ世界一のリレー」を聞いて、無理でしょ。
- ・ リレーは好きじゃないので、遅くなくても仕方ないかなという感じにしか思いません。
- ・ 1人1人の短距離走のベストタイムの合計より、リレーはバトンパスがあるので遅くなります。
- ・ リレーはチーム全員が全力を出さないといけないから大変だなと思います。
- ・ チームワークを大切にしながら、タイムを伸ばしていきたい。



### After 【振り返り】

- ・ 練習でどのくらいにきたら走り出すのかというタイミングを発見でき、バトンを渡す時に「ハイ」と大きな声伝えることができるようになった。
- ・ 日本代表のバトンパスをみてアンダーハンドパスに挑戦することができた。やってみると意外にできてオーバーハンドパスより簡単だということが分かった。
- ・ ノールックでバトンを受けることは初めは難しかった。スタートのタイミングを計ること、声を出すことでそれも少しずつできるようになった。
- ・ 仲間と教え合いながらすることで、自分で分かっていた課題も発見することができ、それを解消することで、チームに貢献できたと思う。
- ・ どうすればバトンパスが上手にできるようになるか、自分で考えたり、うまい人の見た入りして取り組むことができた。そのおかげで上達することができた。



## 平成30年度指導計画・ワークシートの改善のポイント

- ・ 平成29年度は、リレーのタイムを上げるためにバトンパスの受け渡し、技術向上だけにこだわらず、人が見て美しく、そして少しでも速くバトンパスができることを目指して取り組んだ。平成28年度の反省からオーバーハンドパスは減速する可能性が高いことが分かっていたので、アンダーハンドパスを紹介してみた。すると生徒はアンダーハンドパスを取り入れる生徒が多かった。実際に取り組んでみても、減速しないで渡すことを考えるとアンダーハンドパスの方が有効であり、見た目にリレー走をしている感じが実感できた。日本代表を実感する意味でもアンダーハンドパスの実践が好ましいと感じた。そのことを考慮し来年度はワークシートを作成していく。
- ・ 「ノールック」、「走り出し・受け渡しのタイミング」、「声」がバトンパスには大切なことであると生徒は気づくことができている。これを視点としてループリックを再考したい。
- ・ 小規模校の利点を生かして、発表の場を運動会にすることで、モチベーションが上がり、技術の向上につながると考えられる。そのため平成29年度の年度末からの学年の枠を超えて上級生から下級生へ伝える体制を作っていく。
- ・ 今年は挑戦問題の達成が昨年より達成度が高かった。日本代表のタイム的な部分ではなく、見て美しいパスの方に技能面は視点を置いたからである。これを継続していきつつ、タイム的に上げるような仕組みを作っていく。



## 「子どもの成長と環境」

## 挑戦問題

『こどもたちを自分たちの力で笑顔にしよう!』

本単元で育成する資質・能力

知識・技能 情報収集 思考・表現 挑戦・探究 責任・使命  
協力・協働 感謝・貢献

## 期待される生徒の変容

- ・思春期の生徒たちは自我の芽生えから大人に反抗的な態度をとることがよくあるが、幼児期の事を思い出しながら、幼児期の生活や成長の特徴を学習することで、自分一人で、自分の力だけで成長したわけではないことを再認識し、自分を支えてくれている人々への感謝の気持ちを持ち、自分が子どもを支える立場で何ができるかを考え、行動できるようになる。

## 平成29年度の取組より

## Before【生徒の発言シートより】

〈家族は自分にとってどんな存在か〉

- ・「親はいちいちうるさい。」
- ・「親が面倒くさいから早く一人暮らししたい。」
- ・「お母さんは悩み事の相談に乗ってくれる。」
- ・「お兄ちゃんに小さい頃はいろいろ教えてもらった。」
- ・「妹が面倒くさい。」
- ・「(年の離れた)妹はかわいい。」



保育体験学習の様子

## After【振り返りシートより】

- ・私はどちらかと言えば小さい子があまり好きではなく、自分から関わったりしたことがありませんでした。笑顔で話しかけてくれたり、喜んでくれる純粋な姿を見て、保育士になるのも良いなと思えました。
- ・子どもたちがかわいくて、私も元気をいっぱいもらいました。
- ・両親や祖父母、たくさんの人に愛情こめて育ててもらったことがわかりました。感謝しながら生活したいです。
- ・赤ちゃんを育てるのは自分のことより優先することが多くて大変だとわかりました。ボクの親にも感謝をしないといけないと思いました。
- ・周囲から手助けすることで、お母さんも少し余裕ができると思うので、町で見かけたら積極的に手伝ってあげたい。



## 平成30年度指導計画・ワークシートの改善のポイント

保育の分野は視聴覚教材を使いながら、「自分の小さい頃の事を振り返らせ」たり、「家族に小さかった頃の事を聞いてくる」などの活動を通して、幼児への理解を深める事が多い。でも実際は思春期の親子が幼児期の頃を振り返って会話できる場面は少ない。今回、キャリアスタートでお世話になった保育所に保育体験に行ったり、育児休業中の先生や子育て中の保護者にゲストティーチャーとして話をしてもらったり、乳幼児とのふれあいの時間を作る等の体験的な活動を取り入れることで、自分と家族の関係を改めて考えることができた。体験的な活動はできるだけ工夫しながら取り入れたいと考える。



# 「新しいALTの先生に日本文化を紹介しよう！」

## 挑戦問題 「新しいALTの先生にインタビューをしよう！」

本単元で育成する資質・能力

情報収集・判断 思考・表現 挑戦・探究 知識・技能 協力・協働 責任・使命 感謝・貢献

### 期待される生徒の変容

日本の伝統文化およびそれを世界に発信することに関心を高めるとともに、自分たちの学んだことを活用し、外国人の関心・興味に合わせて会話を広げながら日本の文化を紹介する力が身に付くことが期待できる。

### 平成29年度の取組より

#### Before 【生徒の振り返りシートより】

- ・ どうしたら分かりやすく伝えられ、楽しんで聞いてくれるのかを優先的に考えて発表したいと思います。文章に合わせた写真の張り付けや質問されると思うことを予想しようと思っています。
- ・ 今まででは自分で調べず人に聞いたり、わからないからといって諦めることが多かったが、今回は自分の力で最後まで英文を調べようと思う。



#### After 【振り返りシートより】

- ・ この活動をする前は自分の伝えたいことを伝えるのが苦手でしたが、説明する機会が増えていくにつれて、少しずつ伝えられるようになった。
- ・ ALTの先生にわかってもらえるような発音や英語文章を考えるのは楽しいものということがわかりました。そしてALTの先生との絆も深まったような気がします。
- ・ ALTの先生以外にも宮島観光の外国の人といろいろ話すことができ良い経験になりました。
- ・ 始めて学校外で外国の人と話し、今までに学習した単語でもかなり外国の人と話すことができることがわかった。
- ・ これまでの活動の失敗を生かし、ただ説明するだけでなく、相手と会話をするように発表を進めるように準備することが大切だと知った。
- ・ 英語の説明だけでは伝わりにくいと思い、写真をプレゼンの資料として準備し、体験してもらうのが一番だと感じたので実際に浴衣を着せてあげると喜んでくれて嬉しかったです。
- ・ みんなの説明を聞いて、自分の説明を工夫したり参考にしたりすることができました。
- ・ 日本文化について調べると、自分の知識も増え、たくさんの単語を知り、わかりやすく伝えるコツも身に付けることができた。意外と日本文化について知らないことに気づき、他の人の発表も勉強になった。



2年生にALTを紹介する



ALTに宮島を案内する



日本の伝統文化を紹介する

### 3年間の指導計画・ワークシートの成果と課題

1年生次から系統的に計画的に進めてきた取組のため、前年度の先輩たちの姿を参考に要領よく工夫して行うことができるようになっていく。また、これまでに総合的な学習の時間等で身に付けたことを生かすことで、さらに他のグループとの切磋琢磨や生徒の協力・協働の姿がよく見られるようになった。



## 「魅力的な生き方がし」～落語に挑戦～

挑戦問題 『あなたはいくつの人生を知っていますか』

本単元で育成する資質・能力

感謝・貢献 責任・使命 挑戦・探究 協力・協働 思考・表現 情報収集・判断 知識・技能

## 期待される生徒の変容

生徒の出会い「運命の本」は、あえて生徒の興味を持ったことのない人物に関する本とし、その中の登場人物の生き方を深く読み取らせる。読み取った情報を、クラスの仲間に紹介することによって、表現力の向上を意識させ発表することによって、参考にした先輩のDVDや友達の発表と自分の発表内容を比較し、自分の表現力の向上を実感させる効果が期待される。

中学校入学後の最初の総合の単元として、「ビブリオトーク」で出会ったさまざまな生き方や、あきらめず挑戦することのすばらしさの価値を学び、自分の生き方につなげて考えようとする態度を育てる。

## 平成29年度の取組より

## Before【生徒の振り返りシートより】

- ・先輩のDVDを見て、最初にクイズを入れているところや、フリップにしかけがあるところが、とても興味を引くポイントになるなと思いました。
- ・「運命の本」なんていやだなと思ったけど、読み進めていくうちに、采谷さんの生き方が、自分とまったく違ってすごいなと思うようになりました。
- ・「運命の本」が野球選手の本でびっくりしました。自分の人生に生かしていけるような発表になればいいなと思いました。
- ・自分の読んだ本で、何をまとめられるか、何が伝えられるか、を考えながら読み、工夫して発表したいです。
- ・「運命の本」はすごくドキドキしながらもらいました。がんばって読みたいです。みんなに伝わるよう、工夫して発表したいです。



「運命の本」を手にとって

## After【振り返り】

- ・私はこれから、自信を持って、人に伝えることができるようになり、自分の役割や使命を考えて自分の目標を設定できるようになりたいと思いました。
- ・僕は小学生の頃は何でもあきらめていたけど、この人のようにあきらめず、努力できる人になりたいと思います。フリップ4のところを、家族やクラスの人に伝えられるように、感謝の気持ちを持って読むことができました。
- ・どのようにすれば伝わるか考え、工夫して練習しました。先輩の仕方を参考にしたり、友達の発表を見て、そのいいところを取り入れたり、自分の悪いところを見直しながら練習することができました。人のいいところを盗むことができたと思います。
- ・読むだけだったら、「ふ～ん」という感じで終わっていたけど、発表しないといけなかったんで、みんなに伝えることを意識したので、いろんな発想ができて良かったと思います。地域貢献のためにいろんな人と仲良くした主人公のことをみんなに紹介することができたと思います。
- ・みんなと練習したので、協力・協働が身につく、いい発表ができたと思います。このルーブリックを生活のいろんな場面で使っていきたいと思いました。
- ・班で練習するとみんながアドバイスをくれてよかったです。一人で練習すると自分の悪いところも勝手に判断して、いいと思ってしまうけど、みんなからきちんとアドバイスしてもらえてとても参考になりました。友達のいいところも見つけることができ、協力・協働の力がついたと思います。今回の力を次の落語で完璧にしたいと思いました。

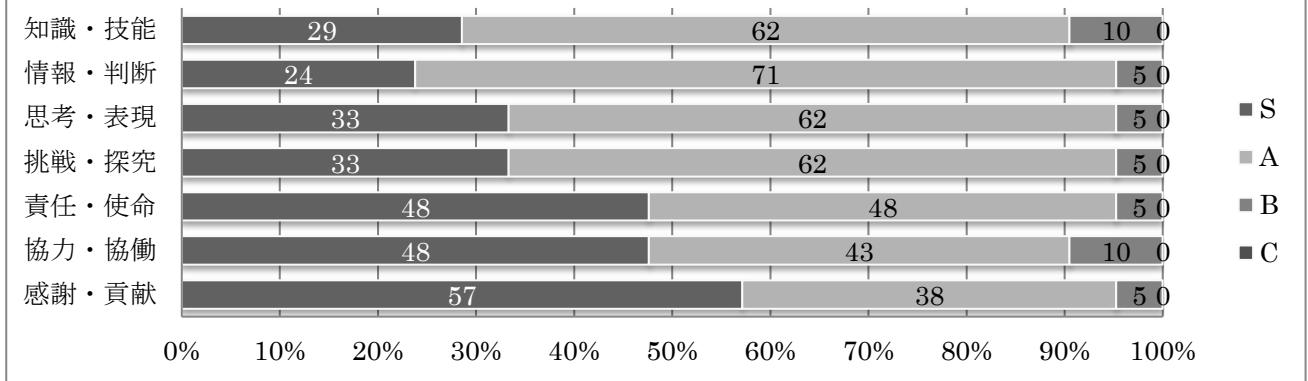


班練習の様子

## 平成30年度指導計画・ワークシートの改善のポイント

- ・本の選定の段階から、生徒の実態把握を行い、運命の本を準備したのが効果的だった。
- ・時間制限があるため、他の資料をあたる時間がほとんど取れていないので、情報収集を書籍からのみにして、フリップ制作や発表練習に時間を割いた。発表練習では、班での練習に意欲を持って取り組む生徒が多く見られたので、次の単元の落語の練習でも班練習を取り入れていくことが効果があると考えられる。

### 単元末自己評価（生徒）



### 単元で使ったルーブリック

	資質・能力	評価	評価基準
技能・知識	生き方や故里に係る知識・技能	S	学んだ知識や技能を、誇りや自信を持って、人に伝えることができる。
		A	学んだ知識や技能の良さを人に伝えることができる。
		B	学んだ知識や技能を人に伝えることができる
		C	学んだ知識や技能を人に説明することができない。
実社会における横断的・総合的な問題解決の能力	情報収集	S	尋ねたり、調べたり、試したりして、もの見方や考え方を広げ深めることができる。
		A	尋ねたり、調べたり、試したりして、必要なものを見付け、選び出すことができる。
		B	尋ねたり、調べたり、試したりして、関係ありそうなものを見付けることができる。
		C	尋ねたり、調べたり、試したりすることができない。
	判断	S	問題解決へむけてのアイデアや方法を考え、自分のことばと行動で表現することができる。
		A	問題解決へむけてのアイデアや方法を考え、自分のことばで表現することができる。
		B	問題解決へむけてのアイデアや方法を考え、表現することができる。
		C	問題解決へむけてのアイデアや方法を考えることができない。
	思考・表現	S	夢や疑問、できないことを大切に、新しい自分やものを創り出すことができる。
		A	夢や疑問、できないことを大切に、見通しを持って粘り強く学び続けることができる。
		B	夢や疑問、できないことを大切に、学び続けようと努力することができる。
		C	できないことやわからないことをあきらめている。
挑戦・探究	S	自分の役割や使命を考え、生き方の目標を見付け出すことができる	
	A	自分の役割や使命を考え、すべきことを行うことができる。	
	B	自分の役割や使命を理解し、果たそうと努力することができる。	
	C	自分の役割や使命を理解していない。	
責任・使命	S	他の人と協力し、いろいろな意見やそれぞれの力を生かして問題を解決することができる。	
	A	他の人と協力し、いろいろな意見やそれぞれの力を生かすことができる。	
	B	他の人と協力しようと努力することができる。	
	C	他の人と協力しようとしていない。	
協力・協働	S	感謝・貢献することを重ねることで絆を深めることができる。	
	A	感謝の気持ちを持って、自分なりに貢献することができる。	
	B	感謝の気持ちを持って、自分なりに貢献しようと努力することができる。	
	C	感謝の気持ちを持っていない。	
感謝・貢献	S	感謝の気持ちを持っていない。	
	A	感謝の気持ちを持っていない。	
	B	感謝の気持ちを持っていない。	
	C	感謝の気持ちを持っていない。	



班で練習をすると、みんながたくさん「ハイ」をしてくれて、一人だと自分悪いところが自分でいいと思ってしまうので、班練習はとてもよかったです。

今日の「発表会」を通して、また、私は、「笑顔で発表することと「声を大きくする」ということができてよかったので、本番では、気をつけようと思いました。

先生から

自信をもってビブリオトークにのぞむことができました。  
音量もしっかりあったので目標の半分は達成できました。

班の仲間のお意見を取り入れて、練習を積むことができました。

その効果はあつた発表に表れました

この学習を通してこのからの生活で自分が頑張りたいことは、わからないうことかあつたから自分で決まらなくてやめないうことを頑張るていまたいです。また、小書及 4又集めてまたあつてたことともとんとんと学んでいまたいいて

12日は人に伝えることです。運命の本について説明する時に、どのようにすれば伝わるか考え工夫し、練習して本番でみんなに伝えることができました。

## 「伝統文化を受け継ごう」～落語に挑戦～

挑戦問題 『たくさんの人を笑顔にできる新しい自分づくりに挑戦しよう!』

本単元で育成する資質・能力

感謝・貢献 責任・使命 挑戦・探究 協力・協働 思考・表現 情報収集・判断 知識・技能

## 期待される生徒の変容

日本の伝統芸能である落語に挑戦し、日本の伝統文化を理解するとともに、表現力の育成をはかり、「笑い」や「人を楽しませる」ことの価値に気づくこと、稽古を通して友達と切磋琢磨しながら、人を楽しませることのできる自分の成長を感じる中で、主体性を育成する。

最後に、落語で習得した技能を使い、お世話になっている家族や友人、地域の人の前で、感謝の気持ちを込め、落語を中心に日本の伝統文化（なぞかけ、大喜利等）を披露して楽しんでもらうことで、表現活動の醍醐味を味わうとともに、後期の様々な表現活動へ主体的に取り組むためのさらなる挑戦心を育む。

## 平成29年度取組より

## Before【生徒の振り返りシートより】

- ・「長くてめんどうくさそう」と思ったけど、落語には悲しんでいる人笑わせる力があると分かったので、みんなのために、ということをお忘れず、丁寧に取り組んでいきたい。
- ・「落語」は苦しんでいる人も笑わせることができることを知った。誰かのためになるなら、がんばってみたいと思う。
- ・「笑い」は誰にでもできるように、難しいと思った。クラスも笑顔にしていきたいので、「本当の笑い」について考え、みんなを笑わせたいと思いました。
- ・この活動を通して、人を笑わせることができる自分になりたい。どんな表現をすれば相手が笑ってくれるのかを考えながら練習したいと思いました。
- ・表現するのが得意ではないので、自分をしっかり表現し、相手意識をしっかりとって取り組みたい。



## After【振り返り】

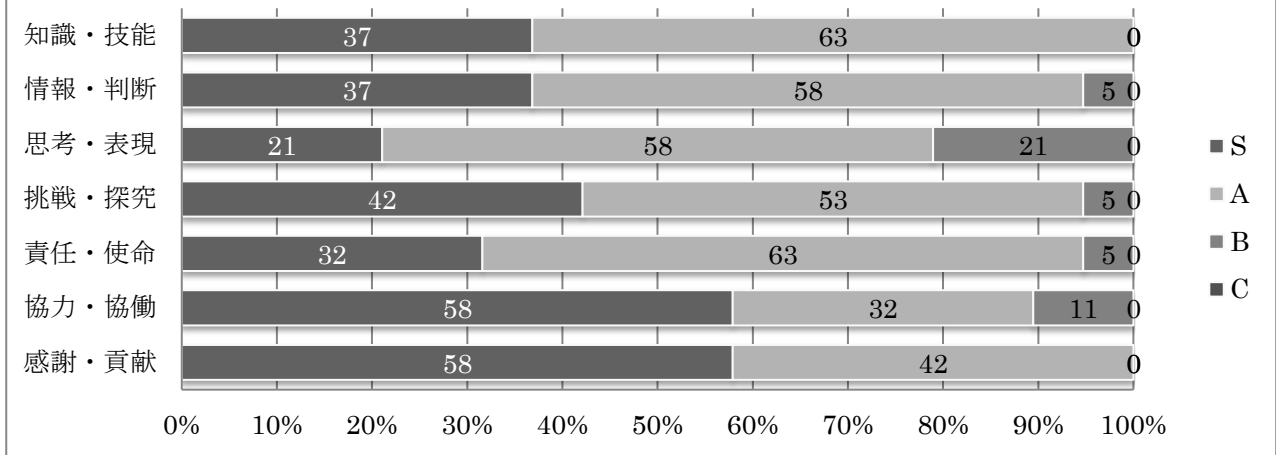
- ・台詞を覚えるのが難しく、なかなか覚えられなかった。小学校のときはすぐに諦めていたが、家でも何度も何度も練習して覚えられるようになったことに、自分でも驚いた。難しくても挑戦しようという気持ちを持つことができるようになったと思います。
- ・落語を覚えてから、皆の前で発表するときは、緊張して頭が真っ白になることがありました。でも、何度も皆の前で発表したら、6年生の前で発表するときはすらすら言えるようになりました。落語のときも、「なぞかけ」の練習をするときも、みんなでアドバイスをし合うことで、どうしたらみんなを笑わせることができるか、協働して考えることが出来ました。最後までやり遂げる力は、これから先もいろんな場面で必要になってくるので、日ごろから掃除や班活動もしっかりやっていきたいと思います。
- ・地域の「ふれあいサロン」で発表できました。たくさんの方が笑ってくれたので、緊張がなくなり、楽しく発表することができました。以前は笑われるのが大嫌いでしたが、笑われることや人が笑顔になることがとても楽しかったです。これからもたくさんの人を笑顔にしたいと思いました。来年の1年生にも落語のおもしろさや魅力を伝えていきたいと思いました。
- ・「責任・使命」の力を成長させることができた。クラスから選ばれたので、責任を持って披露しようと思ってがんばった。地域の人を笑顔にすることが自分の使命だと思ったので、一生懸命頑張った。地域の方が笑ってくれたので、とてもうれしかったです。文化祭での大喜利は、一人一人の役割は小さくなったが、みんなが責任を持って演じてくれた。「新しい自分づくりに挑戦」という大きなめあてを、達成できたと思った。周りの人を楽しませることで、自分も楽しくなれるんだと分かった。



## 平成30年度指導計画・ワークシートの改善のポイント

- ・平成29年度取組では、「新しい自分づくりに挑戦」というめあてに従って取り組んだので、成果が得られた。計画では全員が落語を披露することになっていたが、今回はクラスの実態に合わせ、落語で学んだ技能を生かして、なぞかけ、大喜利等を含めた日本の伝統文化を披露し、笑いや伝統文化の良さを伝える活動に幅を広げた。落語での取組に倣って、協働的に意見を出しながら工夫して練習できた。また一人一人に発表できる舞台を用意したため、自信をつけた生徒が多く見られた。

### 単元末自己評価（生徒）



### 単元で使ったルーブリック

	資質・能力	評価	評価基準
知識・技能	落語に係る知識・技能	S	落語を披露して、落語の楽しさや魅力を伝えることができる。
		A	落語における話し方のコツや視線の技も覚えることができる。
		B	落語のことをいろいろと理解することができる。
		C	落語を覚えることができない。
横断的・総合的な問題解決の能力	情報収集判断	S	落語のおもしろさだけでなく、落語の奥深さを感じることができる。
		A	落語のおもしろさのポイントを見付け出すことができる。
		B	落語のおもしろさのポイントを見付けることができる。
		C	落語のおもしろさのポイントを見付けることができない。
	思考表現	S	登場人物の性格やしぐさなどが目に浮かぶように表現できる。
		A	登場人物の性格やしぐさが表現できる
		B	登場人物を意識した表現ができる。
		C	登場人物を意識した表現ができない。
実社会における横断的・総合的な問題解決に取組む態度 学びに向かう力・人間性	挑戦探究	S	落語をマスターし、人を楽しませる新しい自分を創り出すことができる。
		A	落語をマスターしようと、見通しを持って粘り強く学び続けることができる。
		B	落語をマスターしようと、最後まで学び続けようと努力できる。
		C	落語をマスターすることを途中であきらめた。
	責任使命	S	発表に向け、自分に与えられた責任や使命を考えることで、自分の生き方を考えるきっかけにもできる。
		A	発表に向け、自分に与えられた責任や使命を考え、すべきことを行うことができる。
		B	発表に向け、自分に与えられた責任や使命を理解し、果たそうと努力することができる。
		C	発表の場で自分に与えられた責任を果たそうとしない。
	協力協働	S	他の人と協働して、お互いの表現力を高め合い、心をひとつにして最高の舞台をつくりあげることができる。
		A	他の人とアドバイスをし合い、また競い合うことで、お互いの落語などの発表をよりよいものにする事ができる。
		B	他の人と協力しようと努力することができる。
		C	他の人と協力することができない。
感謝貢献	S	今回の取組を通して、自分なりに感謝の気持ちを伝え、貢献することで、いろいろな人と絆を深めることができる。	
	A	今回の取組を通して、自分なりに感謝の気持ちを伝え、自分なりに貢献することができる。	
	B	今回の取組を通して、自分なりに感謝の気持ちを伝え、自分なりに貢献しようとする事ができる。	
	C	今回の取組を通して、自分なりに感謝の気持ちを伝え、貢献しようという気持ちになれない。	



7つの資質・能力を評価した内容について、具体的に書いてみよう。

（自分が成長したと思うこと、課題と思うこと など）

僕は、協力・協働で最初は覚えることもめん  
どくさく思っていたけど、他の人のを見て、自分も  
上手になりたいようにと思い、友達の良いところ  
など、とり入れて、友達と協力・協働をし、友達  
から、分からないところなどをあそわって、最高  
の舞台にすることができたからです。

緊張して頭の中が真白になったけど、何度もみんなの前で練習  
すると、六年生の前で発表したときには、すらすらと言えました。小学生の  
ときは、人前を出て何かをすることがとてもはかしくて苦手でした。けど  
落語をしたことで、人前にも少しは平気になるようになりました。  
また、文化祭のなぞかけでも、自分から司会になり、とうとうと発表する  
ことができました。見ている人が笑ってくれたときは、とてもうれしかったです。

先生から

人前で発表することが苦手だったが、落語をみている人楽しさを  
伝えるという責任を果たすことで、恥ずかしさを払拭する  
ことができました。

落語を練習した成果を生かし、文化活動発表会でも積極的  
挑戦の姿勢が見られました。 - 22 -

文化祭ではやらなからたけれど、ふれあいサロンで落語を  
しました。その時に、地域の人々にたくさん笑ってもらって、地  
域の人々に落語の楽しさや魅力を伝えることができたし、自分  
も笑ってもらって、落語が楽しい、と思いました。  
他にも同じグループの人に「そこ大きくしたほうがいいよ、などのア  
ドバイスをしてもらったり、逆に自分もグループの人にアドバイス  
をすることができました。



## 「運命の仕事に出会うために」

挑戦問題 「仕事の魅力を伝えるプレゼンに挑戦しよう」

本単元で育成する資質・能力

知識・技能 情報収集・判断 思考・表現 挑戦・探究 責任・使命 協力・協働 感謝・貢献

## 期待される生徒の変容

生徒たちは、仕事について多くを知らず、知っていたとしても自分の興味のある範囲の仕事や単なる憧れで留まっている場合が少なくない。本単元では、まず「運命の本」として、あえて生徒の興味の対象外の本とも向き合わせる。その本の中の人物の生き方を仕事という視点で深く読み取らせ、自分の仕事観や人生観と比較させることで、働くことの意義やこれから自分たちが地域へ貢献する姿を見通す上での深い学びが期待される。

また、第1学年でのビブリオトーク及び落語への挑戦で身に付けた表現力を生かしながら、パワーポイントを活用したプレゼンという手法での表現活動で交流させる。そのことで、表現力のさらなる向上を図るとともに、それぞれの仕事の魅力について、より思考を深めあうことが期待される。そして、この学習をきっかけに、生徒が日常生活においても将来の仕事について関心を持ち、職業の視野を拓けようとする意図的な読書などを通して、主体的に情報収集したり、家族や友人同士で語り合ったりすることで夏季休業中の「職場体験学習」や2学期の「起業企画PROJECT」への主体的な学びにつながることを期待される。

## 平成29年度の取組より

## Before 【初発の生徒の振り返りより】

- ・これからの将来のためにも選択肢が広がるように色んな職業を知れたらいいなと思います。いざ職業をあげてみると、まだまだ知らないことがあることに気付きました。
- ・どんな仕事があるのか、その魅力について考えましたが、それぞれの仕事の魅力はたくさんあると思うので調べていきたい。
- ・職業の魅力を聞かれてもよくわかりませんでした。なので、今日渡された本をしっかり読んで魅力を知ろうと思います。



運命の仕事との出会い？

## After 【生徒の振り返りより】

- ・今回の学習で学んだことは情報収集と表現です。本からたくさんの情報を収集し、友達からの意見をどう活用し、プレゼンで言葉をどう表現したらよいかよくわかりました。
- ・リハーサルも参観日も多くの人前でとても緊張したけれど、自分の持ち味である大きな声で話すということができて良かったと思います。
- ・みんなのプレゼンをみると様々な仕事があり、そのことで苦労したこと、嬉しかったことがわかり仕事の魅力を感じることができました。
- ・職場体験や起業企画で活用できたらいいなと思いました。

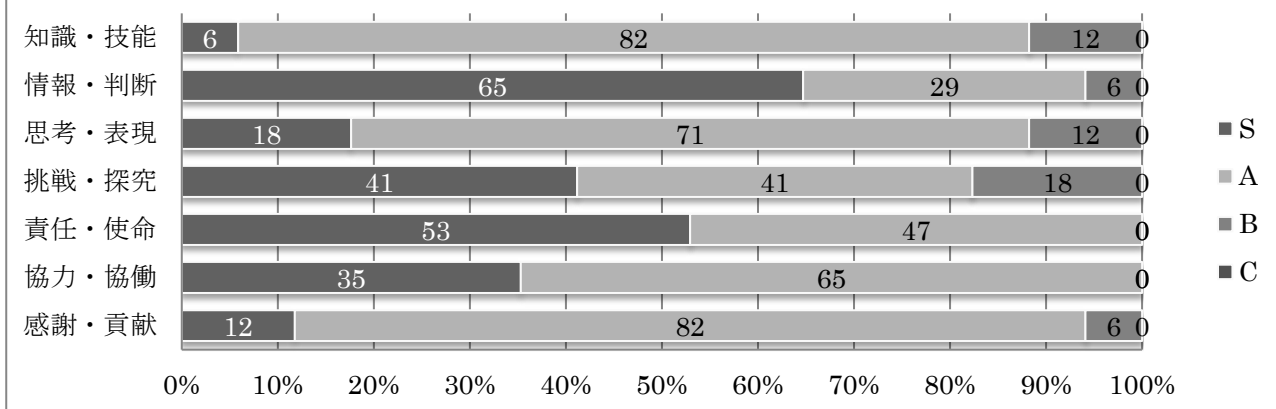


落語で学んだ表現力を生かしていきいきとプレゼンする生徒

## 平成30年度指導計画・ワークシートの改善のポイント

- ・平成29年度は、技術科で身に付けたプレゼンテーションソフトウェアの活用し、「仕事の魅力を伝えるプレゼンテーション」という挑戦問題を提示した。また、夏季休業中の職場体験や2学期の広南起業PROJECTにつなげることを意識した図書を選択を行い、一定の成果を上げることができた。
- ・次年度は、第1学年時で習得した「落語」での表現力を活用した取組を意図的に仕組み、全体のプレゼンテーション力の向上を行いたい。

## 単元末自己評価（生徒）



## 単元で使用したルーブリック

資質・能力	評価	評価基準 ※「何ができるようになったか」で評価	
生き方や故里に関する知識・技能	S	運命の本から学んだ仕事につきたいと人に思わせることができる。	
	A	運命の本から学んだ仕事の良さを人に伝えることができる。	
	B	運命の本から学んだ仕事のことを人に伝えることができる。	
	C	運命の本から学んだ仕事のことを人に伝えることができない。	
総合的な問題解決の能力・ 実社会における横断的・ 社会的な問題解決の能力	情報収集 判断	S	取組を通して仕事に対する自分の見方や考え方を広げ深めることができる。
		A	仕事の魅力に関わる情報を本やプレゼンから見付け、選び出すことができる。
		B	仕事の魅力に関わる情報を本やプレゼンから見付けることができる。
		C	仕事の魅力について本から読み取ることができない。
	思考 表現	S	プレゼンの3要素（パワーポイント、スピーチ原稿、話し方）すべてにおいて魅力を感じるプレゼンを行うことができる。
		A	プレゼンの3要素（パワーポイント、スピーチ原稿、話し方）の中で2つの要素に魅力を感じるプレゼンを行うことができる。
		B	プレゼンの3要素（パワーポイント、スピーチ原稿、話し方）の中で1つの要素に魅力を感じるプレゼンを行うことができる。
		C	プレゼンの中に相手に伝えるための魅力がない。
実社会における横断的・総合的な問題解決に取組む態度 学びに向かう力・人間性	挑戦 探究	S	自分だけでなく相手にも満足してもらえるプレゼンになるまで練り直すことができる。
		A	自分が納得いくまでプレゼンを何度も練り直すことができる。
		B	プレゼンを何度も練り直すことができる。
		C	プレゼンを練り直したりすることができない。
	責任 使命	S	将来、仕事を通して社会人として役に立ちたいと思うことができる。
		A	社会人としての責任や使命を考え、将来、何かの仕事をしようと思うことができる。
		B	社会人としての責任を理解し、将来、仕事はしないといけないと思うことができる。
		C	将来、仕事はしたくてもよいならしたくないと思っている。
	協力 協働	S	意見交流を通してお互いの発表を改善することで学びを深めることができる。
		A	意見交流を通して、お互いの発表を改善することができる。
		B	お互いの発表をよりよくするために意見を言うことができる。
		C	お互いの発表をよりよくする意見を出し合うことができない。
	感謝 貢献	S	学校生活でのいろいろな仕事を通して感謝・貢献を重ねることで、絆を深めることができる。
		A	仕事をする人に感謝の気持ちを持ち、学校生活のいろいろな仕事を通して、自分なりに貢献することができる。
		B	仕事をする人に感謝の気持ちを持ち、学校生活のいろいろな仕事の中で、自分なりに貢献しようと努力することができる。
		C	仕事をする人に感謝の気持ちを持っていない。

単元末の生徒の振り返り及び自己評価（一部抜粋）

この取り組みを通しての感想（学んだこと・友だちの新しい面を発見したことなど）

最初、原稿の完成が遅くれてしまい、パワーポイントをちゃんと完成できるか不安だったが、自分の中では満足の結果なのでよかったです。今回学んだことは情報収集と表現です。本からたくさん情報を収集し、友達からの意見をどう活用するか、そしてプレゼンで言葉をどう表現したいかがよく分かりました。特に仕事は職場体験や起業企画で活用できたらいいなと思いました。

僕はこの取り組みを通して「自分はヤメばでまる！」ということが分かった。佐伯先生にアドバイスを求め、「やり直し」と言われて放課後に一生懸命やって、改めて見せたら、「すいぶん良くなったね」と言われて、気がついた。来年は最後の運動会で団長をやろうと思うので、「ヤメばでまる」と本のことを生かして、元気で思い出しはの最高の運動会にしたい。

去年と違って今年は読みやすい本でした。しかし、文にまとめることがあまり出来なかった気がします。リハーサルも参観日も多くの人の前でとても緊張したけれど、自分の持ち味である大きな声で話すということができて良かったと思います。友達の人からメッセージをもらったり、時々の人から、本と将来の夢の共通点を発表して良かったと言ってもらってうれしかったです。

チェックしよう

	項目	自己評価	先生から
①	知識・技能	A	最後まで粘り強くプレゼン資料の作成に取り組むことができた。 言ってみると、ことを理解して伝えることの難しさを感心する。最後まで、身振り手振りを。 何度もプレゼンを変え、本の良さを伝えようと努力していた。
②	情報収集・判断	S	
③	思考・表現	A	
④	挑戦・探究	S	
⑤	責任・使命	S	
⑥	協力・協働	S	
⑦	感謝・貢献	A	



## 「広南起業PROJECT」

挑戦問題 『地域社会に貢献する起業に挑戦しよう』

本単元で育成する資質・能力

知識・技能 情報収集力 思考力・表現力 協働的な態度 挑戦心・探究心 感謝・貢献 責任感・使命感

## 期待される生徒の変容

「起業して社会貢献すること」を題材にした「広南起業 PROJECT」を通して、自己の能力や適性を活かしながら、将来を自らの力で協働して創造的に切り開こうとする志（こころの力）を身に付けるとともに、資金集めや商品開発、広報宣伝販売活動等、実際の起業活動に挑戦することで、志を叶える力を身に付ける姿。

また、探究の過程で、職場体験学習等において地域の人・もの・ことと関わることにより、地域への愛着や地域の一員としての自覚が深まり、プロジェクトで得た利益をクラウドファンディングや日本赤十字社等に全額寄付することで、社会における仕事の存在意義に気付き、社会貢献する喜びを実感する姿。

## 平成 29 年度 の 取組 より

## 【H29年度の初発の生徒の振り返りより】

- ・会社を起業することは、いろいろと手続きが面倒くさそうだし、私達にはできそうにない。
- ・実感が無く、だいたいのことしか分からない。
- ・仕事や職業について調べたが、まだ、ぼんやりとしか考えられない。

## 【H29年度の起業プロジェクト終了後の生徒の振り返りより】

- ・仕事は今まで「ただ忙しい」くらいにしか思っていなかったけど、職場体験学習やゲストティーチャーによる講演などを通して「ただ単に忙しいだけで無く、楽しかったり苦労したりする中で自分が発見したり、与えられた課題があって初めて仕事をしている」という感情がわいたり、続けたいという気持ちがわくののだと思った。
- ・これまで仕事と言えば「大人がやっている遠いもの」だと思っていましたが、いずれ近い将来、自分たちが行く身近なものになりました。
- ・どんな人もしっかりと働いて、世の中に貢献しているので、すごく格好いいと思いました。



夏季休業中に重役会議を開催



プレゼンをし、出資金のお願いをしました。

## 平成 30 年度 指導計画・ワークシートの改善のポイント

- ・職場体験学習と広南起業PROJECTの時期が重なるので、早期から取り組む必要がある。具体的には4月の段階から商品開発を行い、「起業に役立ちそうなこと」「商品販売で役立ちそうなこと」などを1学期から意識しながら行わせると効果が上がる。
- ・本年度からクラウドファンディングを用いたので、どのような「地域社会貢献」を行えたのかが分かりやすくなった。反面、どこへ出資するかを生徒全員で熟考する取組を充実させる必要がある。



商品製造場面



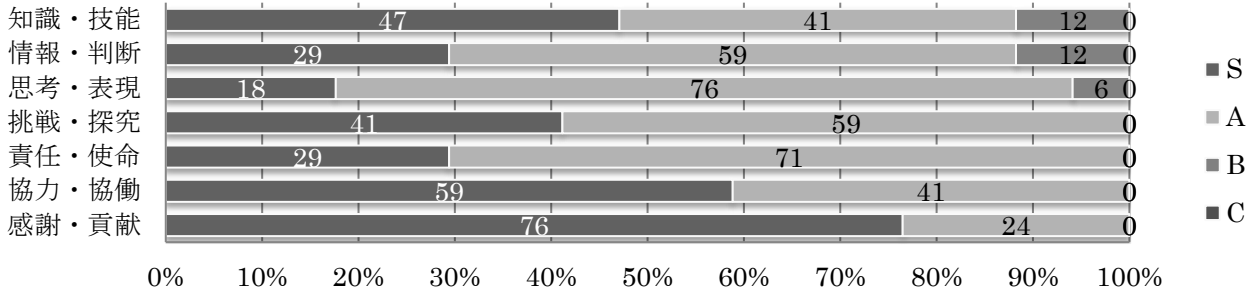
TV取材



販売当日の様子



## 単元末自己評価（生徒）



## 単元で使用したルーブリック

資質・能力		評価	評価基準
知識・技能	起業に係る知識・技能	S	職業には、生計を維持するだけでなく、それを通して自己の能力・適性を発揮し、社会の一員としての役割を果たすという意義があり、そのための知識や技能を高めていくことの重要性を理解することができる。
		A	職業には、生計を維持するだけでなく、それを通して自己の能力・適性を発揮し、社会の一員としての役割を果たすという意義があることが理解できる。
		B	職業には、生計を維持するだけでなく、社会の一員としての役割を果たすという意義があることが理解できる。
		C	職業には、社会の一員としての役割を果たすという意義があることが理解できない。
横断的・総合的な問題解決の能力	情報収集判断	S	プロジェクトで生じる課題の解決に向けて、様々な方法で情報を収集し、整理・分析する中で、必要な情報を活用することができる。
		A	プロジェクトで生じる課題の解決に向けて、起業家の方の話から情報を収集し、整理・分析する中で、必要な情報を活用することができる。
		B	プロジェクトで生じる課題の解決に向けて、情報を収集することができる。
		C	課題の解決に向けて、情報を収集することができない。
	思考表現	S	起業に向けて集めた情報からそれぞれの部門の目的に沿って整理・分析を行い、問題解決の要点をおさえた上で、自分の考えをまとめ、分かりやすく表現することができる。
		A	起業に向けて集めた情報からそれぞれの部門の目的に沿って整理・分析を行い、自分の考えをまとめ、分かりやすく表現することができる。
		B	起業に向けて集めた情報から自分の考えをまとめ、分かりやすく表現することができる。
		C	自分の考えをまとめ、表現することができない。
実社会における横断的・総合的な問題解決に取り組む態度	挑戦探究	S	プロジェクトに見通しを持ち、企画段階から自分の考えを示し、メンバーの中心となり、積極的に関わろうとすることができる。
		A	プロジェクトの企画段階から自分の考えを示し、積極的に関わろうとすることができる。
		B	プロジェクトの企画の段階から積極的に関わろうとすることができる。
		C	プロジェクトに積極的に関わろうとしない。
	責任使命	S	社会の一員として、プロジェクトから学んだことを生かし、未来の担い手としての自覚と高い志を持ち、行動していくことができる。
		A	社会の一員として、プロジェクトから学んだことを生かし、未来の担い手としての自覚と高い志を持つことができる。
		B	社会の一員として、プロジェクトから学んだことを生かし、未来の担い手としての自覚を持つことができる。
		C	未来の担い手としての自覚が持てない。
	協力協働	S	課題解決に向け、他者の意見を取り入れたり、地域の人と連携を図ったりする中で、誰もが達成感を持つようなプロジェクトを進めることができる。
		A	課題解決に向け、他者の意見と取り入れたり、地域の人と連携を図ったりしながら、プロジェクトを進めることができる。
		B	課題解決に向け、他者とともに協力しながら、プロジェクトを進めることができる。
		C	他者と協力しながらプロジェクトを進めることができない。
感謝貢献	S	プロジェクトを通じて、地域の多くの人に支えられていることに感謝し、家族・地域・社会に貢献することを通して、絆を深めることができる。	
	A	プロジェクトを通じて、地域の多くの人に支えられていることに感謝し、家族・地域・社会に貢献することができる。	
	B	プロジェクトを通じて、地域の多くの人に支えられていることに感謝することができる。	
	C	多くの人に支えられていることに気づかず、感謝することができない。	

私は起業企画をする前、自分たちが「やりたい、作りたい」と思  
た物が「売れる」のは、とても楽しいし嬉しかったらうなと思い  
ては、却って不思議な世界だ」と考えていた。でも今回行ってみて、  
重役の人のおかげで自分たちの作りたいものが、売れること、とても  
嬉しかったし、達成した達成感を味わうことができた。また、その商  
品が売れたのでその何倍も達成感を味わえた。今まで、自分の  
やりたいと思ったり、考えていたりしたことを私は行動に移すことが  
あまりできていなかった。今回は本当に有言実行、そのものなので、  
目標につながった。重役の人たちを見直し、そして感謝して、  
これから生活したい。

起業企画で学んだことを、楽しかったということは「ただで」終わら  
ず、これらのことを生かしてしっかりと行動したい!

先生より 「重役の人に感謝」「楽しかっただけでは終われない」という言葉が印象的です。  
今後につなぐと悪い例 Good (佐)  
計画をしっかり作成してくれたからこそ、みんなの力を発揮できましたね! 良いことぞろ  
ぞろでした。(ウ)  
8月の職場体験学習の時から、今回の起業のことを充分意識して取り組んで  
くれたね! (澤)

白をまとめる・指示する商品開発部長になってみて、改めて  
皆をまとめる・指示することの難しさを知りました。でも、夏休み  
から重役4人と先生で「どんな商品を売るか」「どんな方法で  
宣伝するか」をまとめた。皆と一緒に商品デザインを考えて  
商品をつくらしたりする時間はとても楽しかったです。あと2年前に  
売っていたロマンクッキーを復活し、パッケージデザインを担当  
したり、もくりんグッズのデザインが採用されたりで嬉しかったです。  
デザインを考えているときはもくりんさんをどういう人位置  
にしたら、買いたくなるか何日も悩みました。自分の持っているもの  
を参考にしたものもあります。商品より良いものにはどういう部長  
としての責任感を感じました。でも、仕入れ数など頭に入っていない  
ので、情報収集力をまたえたいです。

先生より うれいこと、大変なこといろいろと経験できたことは自分の財産になりますね(佐)  
今回の取組で、責任や使命について、とても成長したな...と思います。以前たまた  
まの任せにしていたところを、「...とふんばっていた」と思います。よく頑張りました。(澤)  
あとひとふり、みんなの力を合わせるように、声かけお返しのぞろ。(ウ)



## 「FOR THE NEXT STEP」

**挑戦問題** 『みんなによるみんなのための道探し』

本単元で育成する資質・能力

情報収集力 思考力・表現力 協働的な態度 挑戦心・探究心 感謝・貢献 責任感・使命感

## 期待される生徒の変容

よりよい生き方探しに向け、仲間と協働して情報収集・整理分析することを通して進路に対する視野を広げることが期待できる。また、得られた情報を保護者やクラスメートへの報告会を催し、プレゼンテーションやスピーチを通して思考力・表現力を向上することができる。それぞれの進路選択に向けての自立的な態度と支援的環境を向上させる効果も期待できる。

## 平成29年度取組より

## Before【初発の生徒の振り返りより】

- ・広島県内にこんなにたくさんの高校があることを知りませんでした。それぞれの高校を調べるのは大変そうだと思います。
- ・進路を決定するためには、自分で調べる事が大事だと思います。
- ・どの高校も同じでは無いので選ぶのが大変です。よく調べて決めたいと思います



高校の先生方による  
高校説明会の様子



## After【生徒の振り返りより】

- ・情報を集めて、うまく伝えるために考えるのはやりがいがあるなと思うことができました。
- ・(高校の先生の説明はとても分かりやすかったので参考にして) グラフや言葉を自分なりに工夫して高校の魅力を伝えることができました。
- ・(事前に収集した情報を元に) オープンスクールに行き、進路についてよく考えたいと思います。
- ・ペアの人と打ち合わせをして、発表とパワーポイントのタイミングを協力して練習を繰り返ししました。
- ・クラス全員で一つの発表会を創り上げることができたので、成功することができたと思います。

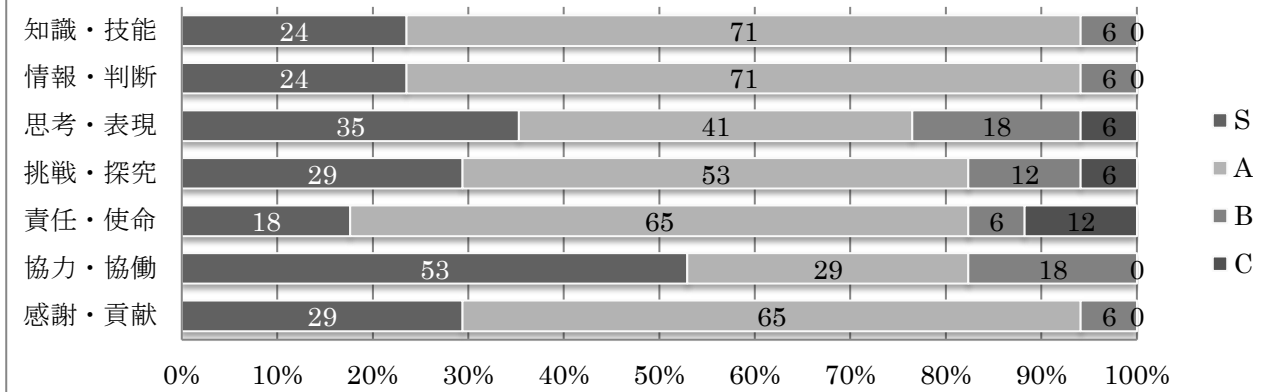
## 平成30年度指導計画・ワークシート改善のポイント

- ・生徒たちが自ら企画、実行する機会として捉え、高校説明会の企画の時間数を確保し、説明会の時間数を調整する。
- ・企画、準備では送迎、司会、挨拶、質問等の分担をし、その係毎に原稿や動きを確認、練習する等の時間が必要である。
- ・それぞれの学校の紹介をするためのキーワードなどを提示するなど、まとめて発表する上での視点を提示しておく。



保護者に向けて行う高校説明会の様子。

### 単元末評価（生徒）



### 単元で使用したルーブリック

		資質・能力	評価	評価基準
技能・知識	生活や故郷に係る知識・技能		S	調べたり学んだりした事を、誇りと自信を持って、人に伝えることができる。
			A	調べたり学んだりした事の良さを人に伝えることができる。
			B	調べたり学んだりした事を人に伝えることができる。
			C	調べたり学んだりした事を人に説明することができない。
実社会的・総合的な問題解決の能力	情報収集判断		S	高校説明会を聞いて、様々な学校の特徴を、資料だけではわからなかったことも情報収集できる。
			A	知りたいことをパソコンで調べたりして、必要な情報を収集することができる。
			B	進路に関する資料をみて、関係ありそうなものを見付けることができる。
			C	尋ねたり、調べたり、試したりすることができない。
	思考表現		S	相手を意識して、アイデアや方法を考え、自分のことばと資料で表現することができる。
			A	調べた内容に、アイデアや方法を考え、自分のことばで表現することができる。
			B	調べた内容はしっかり、表現することができる。
			C	表現するためのアイデアや方法を考えることができない。
実社会における横断的・総合的な問題解決に取り組む態度	挑戦探究		S	夢や疑問、できないことを大切に、新しい自分やものを創り出すことができる。
			A	夢や疑問、できないことを大切に、見通しを持って粘り強く学び続けることができる。
			B	夢や疑問、できないことを大切に、学び続けようと努力することができる。
			C	できないことやわからないことをあきらめている。
	責任使命		S	自分の役割や使命を考え、生活の目標を見付け出すことができる。
			A	自分の役割や使命を考え、すべきことを行うことができる。
			B	自分の役割や使命を理解し、果たそうと努力することができる。
			C	自分の役割や使命を理解していない。
	協力協働		S	他の人と協力し、いろいろな意見やそれぞれの力を生かして発表会を成功させることができる。
			A	他の人と協力し、いろいろな意見を取り入れることができる。
			B	他の人と協力しようとして努力することができる。
			C	他の人と協力しようとしていない。
	感謝貢献		S	この単元の活動を通して、感謝・貢献する気持ちを持ち、仲間や家族との絆を深めることができる。
			A	この単元の活動を通して、感謝の気持ちを持って、自分なりに貢献することができる。
			B	この単元の活動を通して、感謝の気持ちを持って、自分なりに貢献しようとして努力することができる。
			C	感謝の気持ちを持っていない。



説明を元にして、一から自分もわかり、相手も分かりやすいような資料を  
くねるように頑張りました。 高校の先生の説明を短く、分かりやすく説明  
するのは、とても難しかったです。 でも、高校説明会の発表では、  
分かりやすく、早口にならないうように気を付けました。ず、と読んで  
ばかりで、相手の顔を見ることが出来ませんでした。 なので、次にする  
時はしっかりと、相手の顔を見て、説明したいなと思いました。 good!

→ しっかりと、相手のことを考えて資料作りができていましたね。  
多くの情報の中からポイントをしぼるのはとても大変な作業ですが、

又、高校の先生からの説明が分かりやすく、この学  
校いいな、と思った所があって、第一しぼうをど  
こにしようか考えている所なので、オープンスクール  
に行ってから決めていきたいと思います。

しっかりと見てきてくださいね!

も、作って、発表することはできました。前の僕で  
は、なかなか発表となるとできないときが多いの  
で、大変でした。なので、そこは成長していると思  
います。次にこんなときがあったら、今できていな  
い所が少しでもできるようにしていきたいと思  
いました。

人の良いところをたくさん見つけていて素晴らしいです!!  
できなかったことができるようになる....大きな成長ですね!!と、励まされています。  
そして、その挑戦の代で、できることを増やしていきましょう!!

# 「未来貢献PROJECT」

**挑戦問題** 『未来に貢献するためのメッセージを創作劇で伝えよう』

本単元で育成する資質・能力

知識・技能 情報収集・判断 思考・表現 挑戦・探究 責任・使命 協力・協働 感謝・貢献

## 期待される生徒の変容

文化活動発表会の創作劇において、自分たちが育ってきたふるさとの未来に貢献するための課題を設定し、課題解決へむけたメッセージを創作劇という総合的な表現活動を通して地域に発信することで、故里への社会貢献に向けた自分たちの志を確かなものにする。また、総合芸術と呼ばれる演劇による表現活動に取り組むことを通して、これまでに習得した言語能力と情報活用能力を基盤として各教科で学んだ知識・技能を総合的に発揮し、協働してひとつのものを造っていく経験を通して、実社会における協働的な問題解決が能力を鍛えられることが期待できる。

## 平成 29 年度 の 取組 より

### Before 【初発の生徒の振り返りより】

- ・ やることや覚えることが多く全てやり切れるか不安です。
- ・ 人数が少なく、掛け持ちをしている人が多いので大変そうだなあと感じました。
- ・ 戦争の悲惨さや、今平和だということはすごく有り難いんだということ、今の当たり前は昔では当たり前ではないことなどを伝えることの出来る劇にしたい。

### After 【生徒の振り返りより】

- ・ 最初は、不安や心配ばかりで、失敗してしまうのではと自信がもてませんでした。沢山練習をし準備していくなかで、自信をもって演技することができ成長したと感じました。
- ・ この劇を通して、私自身も今まで知らなかった呉空襲について沢山学ぶことができました。戦時中の大変さや辛さが今までより分かり、学んだことを後輩たちにも伝えていき地域に貢献していきたいと思いました。
- ・ 映像を担当し、劇で使えるような写真、音、映像などを探し、それをどの場面で使えば効果的か、見てくださる方のことを考え責任をもって役割を果たすことができました。
- ・ この劇を作り上げていくうえで、映像、音響、照明、衣装、役者、地域の方々、色々な方の協力で作り上げることができたと思います。クラスで一人ひとりが役割をまっとうし、やりきったからこそできたものだと思います。一人でも欠けたらできなかつたので、クラス全員が協力・協働できたと思います。
- ・ 道具作りでは、主に防空頭巾やもんぺなどを作りました。普段作らないような物ばかりですごく難しかったです。小物作り以外の人も手伝ってくれたり、何回も何回も先生に教えてもらったりして、作ることができました。



地域の方から話を伺う

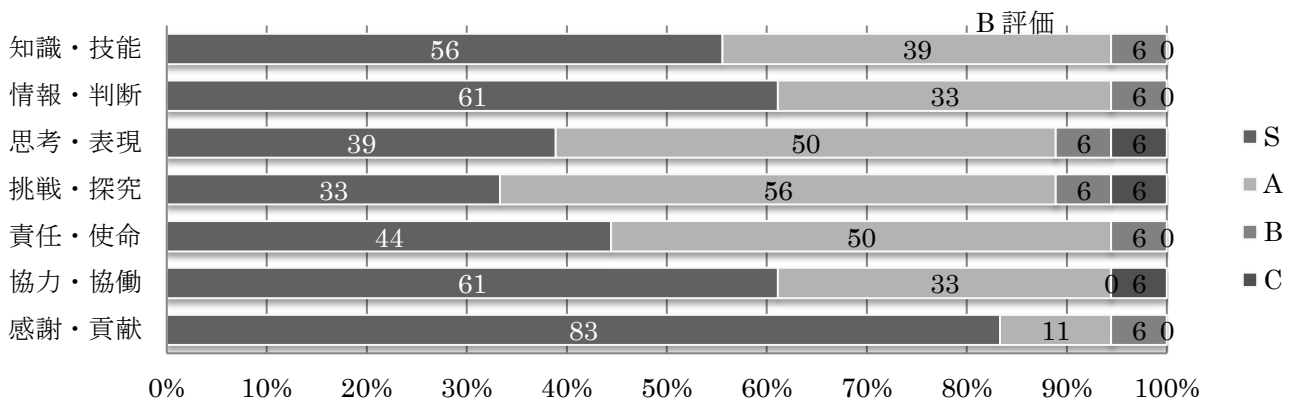
文化活動発表会の本番



## 平成 30 年度 指導計画・ワークシート改善のポイント

- ・ 来年度も3学期の特別授業からはじまる貫きカリキュラムをデザインした。3学期での問題提起を受け、しっかり1学期から準備を行うことでよりよい取組にしていきたい。

### 単元末評価（生徒）



### 単元で使用したルーブリック

資質・能力	評価	評価基準 ※「何ができるようになったか」で評価
生き方や故郷に係る知識・技能	S	呉空襲について学んだ知識や創作劇での知識や技能について、誇りや自信を持って、人に伝えることができる。
	A	呉空襲について学んだ知識や創作劇での知識や技能の良さを人に伝えることができる。
	B	呉空襲について学んだ知識や技能を人に伝えることができる。
	C	呉空襲について学んだ知識や技能を人に説明することができない。
総合的な問題解決の能力・ 社会的な問題における横断的・ 情報収集 判断 思考 表現	S	呉空襲について、尋ねたり、調べたり、試したりして、平和についての考え方を広げ深めることができる。
	A	呉空襲について、尋ねたり、調べたり、試したりして、必要なものを見付け、選び出すことができる。
	B	呉空襲について、尋ねたり、調べたり、試したりして、関係ありそうなものを見付けることができる。
	C	尋ねたり、調べたり、試したりすることができない。
	S	創作劇において、相手に思いが伝わるようなアイデアや方法を考え、自分の思いを表現することができる。
	A	創作劇において、問題解決へむけてのアイデアや方法を考え、自分のことばで表現することができる。
	B	問題解決へむけてのアイデアや方法を考え、表現することができる。
	C	問題解決へむけてのアイデアや方法を考えることができない。
挑戦 探究	S	夢や疑問、できないことを大切にし、新しい自分やものを創り出すことができる。
	A	夢や疑問、できないことを大切にし、見通しを持って粘り強く学び続けることができる。
	B	夢や疑問、できないことを大切にし、学び続けようと努力することができる。
	C	できないことやわからないことをあきらめている。
責任 使命	S	呉空襲を学んだ者として、自分の使命を自覚し、自分のこれからの生き方の目標を見付け出すことができる。
	A	呉空襲を学んだ者として、これからの平和について、使命感をもって考えていこうとすることができる。
	B	呉空襲を学んだ者として、自分の使命を理解し、果たそうと努力することができる。
	C	自分の役割や使命を理解していない。
協力 協働	S	他の人と協力し、いろいろな意見やそれぞれの力を生かして全員が納得できる劇を作っていくことができる。
	A	創作劇を進める中で、他の人と協力し、いろいろな意見やそれぞれの力を生かすことができる。
	B	創作劇を進める中で、他の人と協力しようとして努力することができる。
	C	他の人と協力しようとしていない。
感謝 貢献	S	文化活動発表会で劇を披露することで、地域の方や保護者に感謝・貢献の気持ちを表し、仲間や地域との絆を深めることができる。
	A	文化活動発表会で劇を披露することで、感謝の気持ちを持って、自分なりに貢献することができる。
	B	文化活動発表会で劇を披露することで、感謝の気持ちを持って、自分なりに貢献しようとして努力することができる。
	C	感謝の気持ちを持っていない。



呉空襲についての劇をして、私も知らない事を知ることができました。

空襲について考えた事がなかった人にも伝えたと思います。事実から学ぶことはここから多くあります。生かしていきましょう!!

地域の人にも、実際に空襲にあった人もいると思うので、今回の劇だけでなく、これから先も今の1年生・2年生にもたくさんの人に広めてもらいたいし、自分も地域の人に聞いたりを調べたりしたいです。

呉空襲について 沢山 学ぶことが出来ました。

おかげで、戦争の大変さやつらさが今更に分かる。今度は私たちがまた下の人たちに教える

いけたらいいなと思います。二からの人たちに伝えるべき大切な課題をみんなで考える機会になったのではありませんか? 感動した。

「考えさせられた」などの意見ももらえ、頑張ったよ、と褒められました。

私は、この劇をしていくうえで感謝貢献と責任使命を一番大切にしました。

感謝貢献では、この劇は地域の人たちのおかげでできた作品で、協力してもらった作品ができたので

よかったです。責任使命では、自分の役の場面ではどのような感じかなどいろいろなことを考えたけど、正しい目的に自分の役をえんじることができたのでよかったです。

協力協力イ動は、みんなが協力して一人一人の役を

せいじは、いやってみんながその役をえんじることがで

きたし、場面ごとにてんかいかかわった、スポーツやえいぞうを

ながして、役の人ともいまが、みんなが協力したか

らここに素晴らしい作品が作れたんだと思います。

私もそう思います。一人でも「まあいいか」と思う人がいたら、こんなに素晴らしい作品にはなっていないからだよ。



平成30年度 資質・能力の育成に係る年間指導計画 呉市立広南中学校 第1学年

育てようとする資質・能力 【知識・技能】①知識・技能 【思考力・判断力・表現力】②情報収集・表現力 【学びに向かう力・人間性】④挑戦・探究 ⑤責任・使命 ⑥協力・協働 ⑦感謝・貢献

Table with columns for month (月), activity (行事), unit name (単元名), learning course (学習課程), main content (主な内容), and various skills/abilities (資質・能力). The table is organized into sections for '総合的な学習の時間' and '育てようとする資質・能力と各教科との関連'.

平成30年度 資質・能力の育成に係る年間指導計画 第2学年

育てようとする資質・能力 【知識・技能】①知識・技能 【思考力・判断力・表現力】②情報収集・判断 ③思考・表現 【学びに向かう力・人間性】④挑戦・探究 ⑤責任・使命 ⑥協力・協働 ⑦感謝・貢献

Table with columns for month (月), activities (行事), unit names (単元名), learning courses (学習課程), main content (主な内容), and various subject areas (国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健, 体育, 技術, 家庭, 外国語, 道徳, 特別活動). Each cell contains detailed lesson plans and activities.

総合的な学習の時間

育てようとする資質・能力と各教科との関連

平成30年度 資質・能力の育成に係る年間指導計画 第3学年 呉市立広南中学校

育てようとする資質・能力 【知識・技能】①知識・技能 【思考力・判断力・表現力】②情報収集・判断 ③思考・表現 【学びに向かう力・人間性】④挑戦・探究 ⑤責任・使命 ⑥協力・協働 ⑦感謝・貢献

Table with columns for month (月), activities (行事), units (単元名), and learning content (学習課程). It details the curriculum for the 3rd grade, including subjects like Japanese, Social Studies, Math, Science, and Physical Education, with specific learning objectives and activities for each unit.



【研究同人】（平成28～平成29年）

呉市立広南中学校

若本 正	福田 眞二	岩城 祥子	浦上 晋次	裏山 富美子
海切 健次	澤井 一郎	今田 真由子	佐伯 育伸	廣澤 良美
佐々木 祐介	塚本 千都世	堀江 幸子	荒井 朋美	内田 麻弥
佐々木 孝之	杉山 佳子	湊 里香		



選抜 I 合格



トリプル3 (検定試験 3 種 3 級以上)  
達成者 H 29 年度 3 名

検定試験挑戦者のべ人数  
H 29 年度 8 2 名 (全校生徒 60 名)

自主学習



キャリア教育優良校として  
「文部科学大臣賞」受賞



科学研究 4 年連続で  
県科学賞「特選」(H26~29)

総合的な学習の時間 (中)



Sの滴

社会に開かれた教育課程



五色百人一首広島県大会  
橙の部 優勝 (H 2 9)

広南学園「百人一首大会」



統計コンクール「中国新聞社賞」  
「特選」(H 2 9)

総合的な学習の時間 (小)

教師や学校は、子供たちに上質イメージを持たせることや、子供たち自身が上質イメージを持つことができるように、日々の教育活動の中で子供たちと真剣に向き合い「～って面白い」「～ができるようになる」とこんな良いことがある」「自分でも努力すればできるようになる」ということを体感させ、それを認める。こういった経験を積み重ねることにより、子供たちは自信を回復し、「こうなりたい」「こうありたい」とさらに上質なイメージをもつことができる。(「広島県教育資料より」)